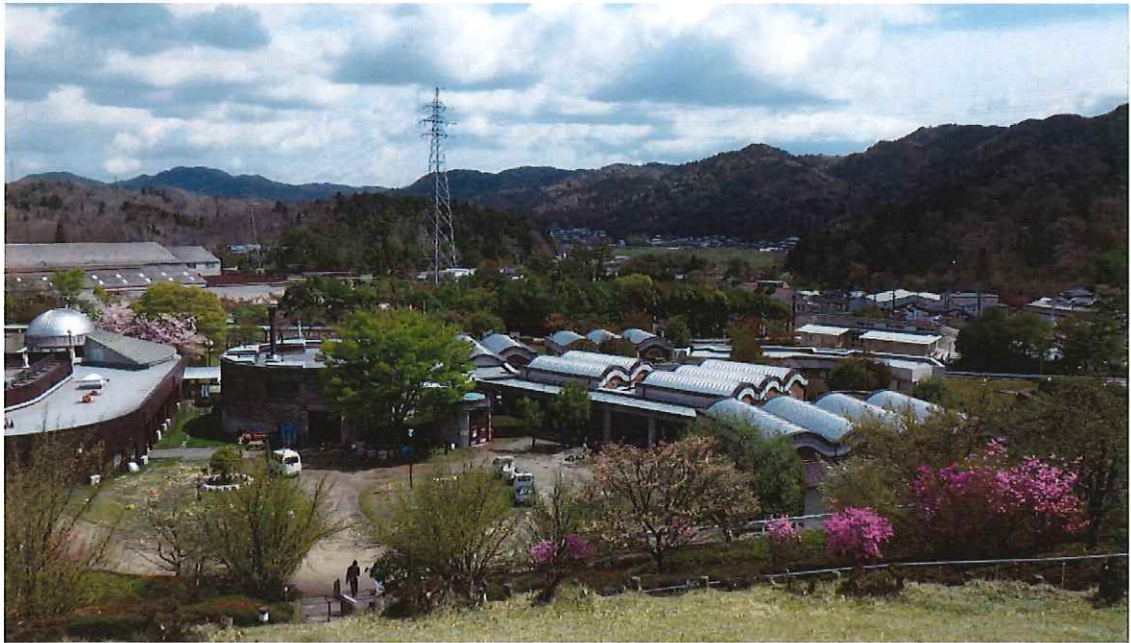


# 令和5年度 滋賀県立陶芸の森 年報

The Shigaraki Ceramic Cultural Park  
Annual Report 2023



公益財団法人 滋賀県立陶芸の森



# 目 次

## 県民に親しまれる施設運営に関する事業

### 公園機能の充実

公園機能の充実・陶芸作品の野外設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

陶芸の森ボランティアの活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

### 地域の観光拠点としての集客促進事業

しがらき学ノススメ！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

### イベントの開催・誘致

第17回 信楽作家市 in 陶芸の森の誘致・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

第28回 信楽セラミック・アート・マーケット in 陶芸の森の開催・・・・・・・・ 5

2023 しがらきの森のクラフトフェスタの誘致・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

2023 わくわくウォーキング in 陶芸の森の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

財団所有作品の貸し出し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

利用者拡大に向けた情報の発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

地域拠点活用事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

施設の管理・・ 8

陶芸の森やきもの振興基金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

## 陶芸文化の発信事業

### 展覧会開催事業

特別企画展「湯呑茶碗—日本人がこよなく愛したやきもの」・・・・・・・・・・・・ 10

特別展「岡本太郎 アートの夢～陶壁・陶板・21世紀フィギュア造形」・・ 22

「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界  
—クラシックな名作とともに」・・・・・・・・・・・・ 47

### 陶芸館ギャラリー企画展

夏休み企画 夏休み特別企画「子どもたちの土の造形 2023 展」・・・・・・・・ 60

特別展「岡本太郎 アートの夢」Part2 シーン4  
川田知志「太郎の色とカタチ×パブリック」・・・・・・・・・・・・ 62

コレクション展 Part 1  
「華開く近代京都の陶芸—宇野三吾と河井寛次郎」展・・・・・・・・・・・・ 67

陶芸の森「SNS 広告の運用」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70

陶芸の森「陶芸館 3D デジタルアーカイブ」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71

収蔵品収集・管理事業・博物館実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73

陶磁ネットワーク会議の開催調査研究活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74

収蔵品貸出実績・特別観覧実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76

## 創作事業

アーティスト・イン・レジデンス事業	79
スタジオ・アーティストの受け入れ	79
ゲスト・アーティストの招へい	83
オープンスタジオ、陶芸館ギャラリー展覧会の開催	84
国内外のレジデンス機関との連携	85
国別・年度別アーティスト滞在回数	86
種別・年度別アーティスト滞在回数	87

## つちっこプログラムー子どもやきもの交流事業ー

本物と出会うー総合学習プログラム	88
世界にひとつの宝物づくり	88

## 産業の振興に関する事業

信楽窯業技術試験場との連携事業	90
人材育成事業	90
滋賀県立信楽高等学校への支援事業	90
若手陶器産業後継者への支援事業（デザイン活性化事業）	92

## 信楽産業展示館運営事業

展覧会の開催	93
企画展　ギャラリー展示	93

## その他の事業

陶芸の森ミュージアムショップ6センス	94
--------------------	----

## 資料

収蔵品収集実績	95
2023（令和5）年度　収蔵作品一覧	96
施設利用実績	
陶芸の森　年度別・月別入園者数	97
陶芸館　年度別・月別観覧者数	97
陶芸館展覧会別観覧者数	98
収蔵品展・特別企画展など	
信楽産業展示館　年度別・月別観覧者数	101
信楽ホール・会議室利用件数	

沿革と記録	102
組織・名簿	105
組織	105
公益財団法人滋賀県陶芸の森評議員名簿	106
公益財団法人滋賀県陶芸の森理事および監事名簿	107



## 県民に親しまれる施設運営に関する事業

### 公園機能の充実

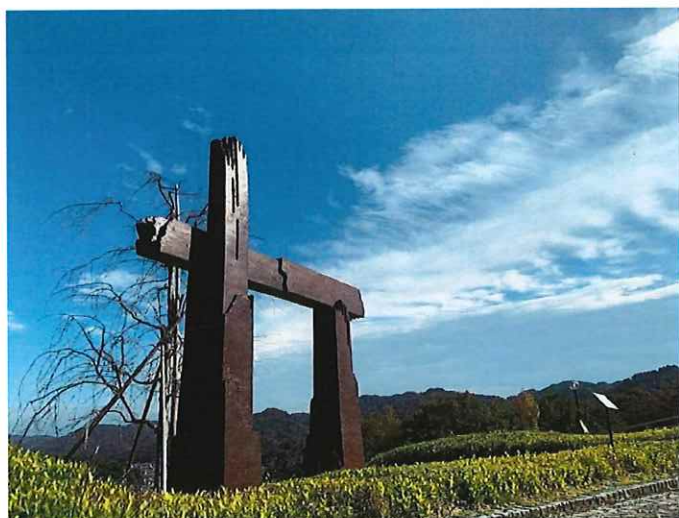
令和5年度から、県が部局横断で新たに取り組を進めている「THEシガパーク」プロジェクトを踏まえて、太陽の広場や星の広場など人々が自由に憩い楽しめるよう公園機能の充実を図り、来園者に快適な空間の提供とサービスの向上に努めました。

そうした中で、令和5年度の入園者数は、コロナ禍前に回復し、企画展の「岡本太郎アートの夢展」が好評で、さらに3月から「リサ・ラーソン展」が始まったこともあり、目標値の35万人を大きく上回り、382,274人となりました。(令和4年度：346,154人)



### 陶芸作品の野外設置

レジデンス作家の作品を野外展示し、陶芸の森という名にふさわしい自然の中で鑑賞を楽しむことができる空間づくりの一環として、現在設置されている作品の洗浄作業を実施するとともに、一部劣化が激しいものを撤去しました。



## 陶芸の森ボランティアの活動

来園者に対するサービス向上と陶芸文化の普及活動のため、連携授業補助、園内の案内およびPR活動、園内園芸作業など、ボランティアによる活動を推進し、利用者へのきめ細やかなサービスを提供しました。

・令和5年度登録者数 5人（令和5年3月31日現在）

延べ活動人数 5人（3回）

## 地域の観光拠点としての集客促進事業

陶芸の森は滋賀県南部地域の観光拠点として、地域資源を活かしながら新規来園者やリピーターをつくることを目的とし、やきものファンに信楽をより知ってもらうために、陶芸体験講座として「しがらき学ノススメ」や一般参加型のイベントを甲賀市やびわこビジターズビューロー、観光協会等と連携し、陶芸の森の魅力発信をおこない、誘客促進に努めました。

### しがらき学ノススメ！

陶芸初心者から経験者まで、多くの方々に陶芸の魅力を体感していただくことを目的にした事業です。地元信楽の陶芸家を講師に迎え、薪窯の魅力に触れる「穴窯・登り窯講座」や個別技法を専門的に学ぶ「技法別講座」を開講。講師の行き届いた指導とニーズに即した幅広いメニューで参加者の作陶をサポートしました。

#### ① 技法別講座

やきものについて広く学ぶことができるよう手びねりによる器づくりや、ミニ窯づくりなど、初心者向けの講座から、一步踏み込んだ高度な技術を伴う講座まで開催しました。

開催日	テーマ	講師	参加者数
5月21日（日）	練り込みのうつわをつくる	村田 彩	14人
5月28日（日）	ラク焼の茶碗をつくる	奥田 英山	15人
6月11日（日）	七輪で粘土を焼いてみよう！	当館職員	11人
6月25日（日）	食卓を彩るうつわをつくる	細川 政巳	11人
3月10日（日）	ラク焼の茶碗をつくる	奥田 英山	14人
3月17日（日）	ミニ窯をつくる	越沼 信介	13人

#### ② 穴窯講座

中世古窯信楽の伝統技術・穴窯焼成を学ぶ講座。参加者の習熟度に合わせて、初級・中級・上級・焼成の4クラスに分けて実施しました。

初級講座：2kgの粘土を使用、下記のテーマで制作

中級講座：5kgの粘土を使用、下記のテーマで制作



上級講座：10kgの粘土で大壺を制作

焼成講座：30kgの粘土で自由制作、窯詰から焼成、窯出しまでを体験

開催日	講座種別	テーマ	講師	参加者数
10月21日(土) 22日(日)	上級	信楽大壺をつくる	神崎 継春	8人
10月29日(日)	中級	信楽壺、蹲をつくる	藤本 秀	15人
11月12日(日)	初級	信楽焼のうつわをつくる	五代 高橋楽斎	15人
11月26日(日)	初級	信楽焼の干支をつくる	八幡 満	15人

焼成クラス 参加者15人

焼成日：令和6年3月13日(水)～3月17日(日)

### ③ 登り窯講座

近世から近代における信楽焼の伝統技術のひとつ、登り窯焼成を学ぶ講座。火袋で作品を焼成しました。習熟度に合わせて、初級、中級、上級の3クラスに分けて実施しました。

初級講座：2kgの粘土を使用、自由制作

中級講座：5kgの粘土を使用、下記のテーマで制作

上級講座：10kgの粘土で大壺を制作

開催日	講座種別	テーマ	講師	参加者数
9月3日(日)	初級	信楽焼のうつわをつくる	大西 左朗	16人
9月9日(土) 10日(日)	上級	信楽大壺をつくる	篠原 希	8人
10月1日(日)	中級	信楽水指、茶碗をつくる	六代 上田直方	6人





## イベントの開催・誘致

やきものをテーマにした展示即売会を開催・誘致し、県内各地で活躍する陶芸家の個性豊かな陶芸作品を広く県内外の人々に紹介するとともに、来園者と陶芸作家・窯元の交流や消費を結びつける機会を創出することにより、作家活動を支援しました。

### 第17回 信楽作家市 in 陶芸の森の誘致

■内容 5月の連休に実行委員会形式で開催。

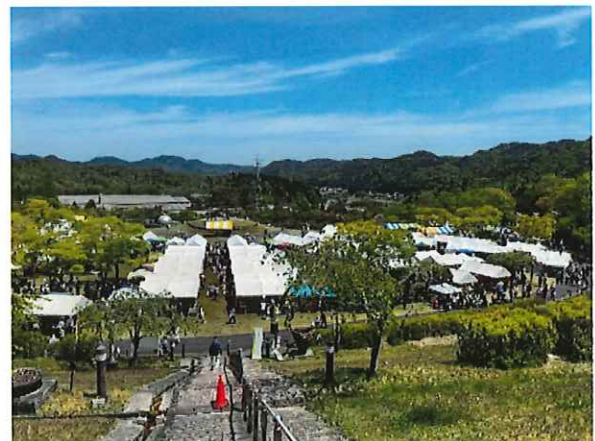
陶芸関係者に陶芸作品販売の機会を、また来園者には「市」のにぎわいと雰囲気を提供することができ、好評を得ました。

■日時 5月2日(火)～5日(金・祝)(4日間) 9時～17時

■主催 信楽作家市実行委員会

■出展者 陶芸家出展者 122件 飲食 17件

■来園者数 45,296人



## 第28回 信楽セラミック・アート・マーケット in 陶芸の森の開催

- 内容 「作品に触れ作家に触れる」をテーマに滋賀県内の陶芸を中心とする工芸家が自ら制作した作品を販売する場を提供しました。
- 日時 9月16日(金)～18日(月祝)(3日間) 9時～17時30分(最終日は16時30分)
- 主催 陶芸の森
- 出展者 物販ブース133ブース 98件 飲食ブース9件
- 来園者数 19,541人



## 2023 しがらき森のクラフトフェスタの誘致

- 内容 信楽にゆかりのある女性クリエイター達による3回目のフェスティバルを誘致。作家自らが制作した作品の販売を通じ、作り手と使い手の交流が行われました。
- 日時 11月4日(土)、5日(日) (2日間) 9時～16時
- 主催 しがらき森のクラフトフェスタ実行委員会
- 出展者 物販ブース49件 飲食17件
- 来園者数 11,000人



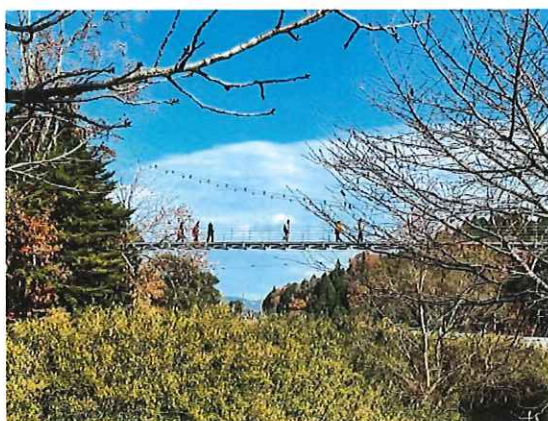
## コズミック・マウンテン・マーケットの誘致

- 内容 high vibes low impact(気分は高く、環境負荷は低く)をコンセプトに、自然のなかで楽しく、心も体も喜ぶecoマーケットを開催。オーガニックの野菜、手づくりのアクセサリ、洋服、陶器などを販売する場を提供。
- 日時 5月20日(土)、6月17日(土)、9月30日(土)、11月18日(土)、12月16日(土)、3月16日(土)  
10時～15時
- 主催 コズミック・マウンテン・マーケット実行委員会



## 2023 わくわくウォーキング in 陶芸の森の開催

- 内容 陶芸の森園内および周辺散策路でのウォーキングや ニュースポーツ体験を通して、陶芸の森の豊かな自然を満喫していただきました。玉桂寺駅方面へと園外の散策路を歩くコースを設定し、多数の方々に参加いただきました。
- 日時 12月3日(日) 9時～12時30分
- 主催 公益財団法人滋賀県陶芸の森
- 協力 ぼぼんた倶楽部(総合型地域スポーツクラブ)・甲賀市スポーツ推進員
- 参加者 37人



## 財団所有作品の貸し出し

県民に気軽に陶芸に親しんでもらえるよう、創作研修館で制作されたスタジオ・アーティストの研修作品やゲスト・アーティストの作品(財団所蔵作品)を、公共施設等に貸出しを行い、陶芸文化の普及向上に努めました。令和5年度は新規の貸し出し作品はありません。契約の更新を行いました。

貸出実績 7箇所 計 29作品

## 利用者拡大に向けた情報の発信

新聞広告等の有料媒体を始め、ウェブを中心とした無料媒体への情報提供や、パブリシティ、ホームページの充実を通じて積極的な情報発信を行いました。

### ○主な掲載・放送実績

- ・TV・ラジオ 12件 「滋賀プラスワン《岡本太郎展》」(BBC、アイコム甲賀、YouTube) 他
- ・新聞 22件 「京都新聞」「毎日新聞」「読売新聞」「中日新聞」他
- ・雑誌 26件 「美術の窓」「関西ウォーカー 秋・2024冬」「ぴあMook」他
- ・Webサイト 15件 「るるぶKids」「陶芸ネット」「スカulptアーツ・ラボ」「週刊じゃらん」「J R西日本こどもおでかけ応援ポータルミライ」他

### ○バーチャルミュージアムの充実

今年度開催した岡本太郎展の出品作品、岡本太郎「犬の植木鉢」(当館蔵)とフィギュア造形の大島雅人「お化けごっこ」の3D映像を「陶芸館3Dデジタルアーカイブ」に追加、会期後半に広報用映像としても活用。また同展のパート2【シーン4】川田知志「太郎の色とカタチ×パブリック」(陶芸館ギャラリー)の展示空間のVR映像を、会期終了後に同アーカイブに追加更新しました。(詳細は、展覧会開催事業にて紹介)

## 地域拠点活用事業

陶芸の森地域連携拠点となる、まちなかギャラリーFUJIKI(旧藤喜陶苑)の運営を「FUJIKI運営委員会」に委託し、地域に根差した施設運営・活用に努めました。アーティスト・イン・レジデンス事業も滞在作家による作品展示は、下記のとおり。

### (1) 三貴子

<開催日>令和5年8月16日(水)~8月18日(金) 3日間

<出品者>ソニア・コチナ Sonia Kochina (ロシア連邦/R5年度スタジオ・アーティスト)

### (2) 傾奇者

<開催日>令和5年6月20日(火)~6月27日(火) 8日間

<出品者>ピーター・フロップ Peter Fulop (ハンガリー/R5年度スタジオ・アーティスト)

### (3) 安之若素

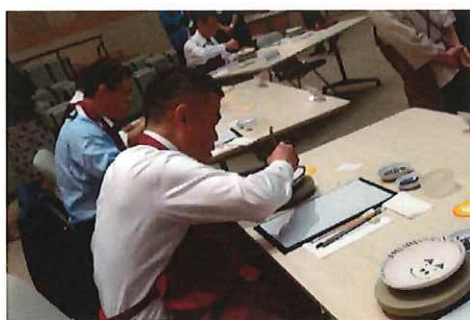
<開催日>令和5年12月11日(月)～12月15日(金) 5日間

<出品者>葉 晴恩 Yeh Ching En (台湾/R5年度スタジオ・アーティスト)

## 信楽産業展示館多目的ホールの活用

県民の陶芸に対する理解と親しみを深めてもらい、陶芸に関する交流の場とするため、講演会や講座の開催など、各種事業を通じて多目的ホールの活用を図りました。

5年度は、「中部圏知事会議」の視察先として、陶芸の森に来園。ホールで、当館の概要説明と絵付け体験が行われ、「つちっこ体験」を見学されました。



## 施設の管理

地域の産業振興や文化・観光の拠点として、また、来園者にとってくつろぎの場となるよう、公園内の適時樹木剪定や草刈り、落葉清掃、びわ湖材活用丸太ベンチの新規設置など、適切な施設の維持管理に努めました。

なお、台風接近時等には災害警戒と来園者の安全性を考慮し、臨時休園措置をとりました。

・台風接近休園 令和5年 8月15日(火)

## 花咲く公園整備

公益財団法人滋賀県緑化推進協会様を通じて、「ゴルフ緑化協力金事業」により、シダレザクラ2本の寄贈を受け、園内2箇所(管理棟入口付近並びに泉の広場)に植樹していただきました。

来園される方々の目につくところで、楽しんでいただけるよう景観維持に努めました。



### 施設の維持修繕

県の長期保全計画に基づく建物や設備の保全工事を県および事業者と調整して実施するとともに、園内および各建物にかかる所用の修繕を行い、長期的な機能確保に努めました。

### 陶芸の森やきもの振興基金

陶芸の森がより一層充実した事業展開が図れるよう、「陶芸の森やきもの振興基金」への寄付について、各種事業実施時やホームページなどを通じて周知した。併せて、招待券の配布や内覧会への招待など、税控除制度以外の独自の特典を設けた「陶芸の森サポーター制度」を広くアピールし、企業、団体、個人からの幅広い支援に繋げました。

# 陶芸文化の発信事業

## 展覧会開催事業

ちょっと昔の日本を旅しよう！  
特別企画展 湯呑茶碗—日本人がこよなく愛したやきもの

### ■趣 旨

お茶でほっと一息つきたいそんな時に手にする「湯呑茶碗」は、私たち日本人に最も親しみのある〈やきもの〉のひとつです。とくに個人用として楽しまれてきた「湯呑茶碗」や「夫婦茶碗」の存在は、日本人独特の生活文化を象徴するモノといえるでしょう。

「湯呑茶碗」のはじまりは江戸時代後期、文化年間（1804-1818）末頃と考えられています。当時の風俗を記した『守貞謾稿』によれば、飯茶碗などほかの茶碗と区別するため、お茶を飲むやや小振りで縦長の個人専用の茶碗を、「湯飲（ゆのみ）」と呼び分けたようです。その後、昭和時代前期にかけて飲茶や行楽の大衆化とともに定着してゆきました。

なかでも日本各地の名勝や旧蹟を意匠にした、地域性豊かな「湯呑茶碗」は土産物として好評を博したようです。本展では明治時代末から昭和時代前期に蒐集された〈坂口恭逸湯呑コレクション〉から、旅の思い出として愛用されてきた「湯呑茶碗」を各地の銘菓や近江特産のお茶とともに紹介、ちょっと昔の旅気分をお楽しみ戴きました。

- 内 容 明治時代末期から昭和時代前期の湯呑茶碗、265 件を展示
- 会 期 令和 5 年（2023 年）4 月 1 日（土）～6 月 25 日（日）74 日間  
（令和 4 年度から継続） \* 休館日 毎週月曜日
- 主 催 滋賀県立陶芸の森
- 後 援 滋賀県教育委員会 甲賀市 NHK 大津放送局 京都新聞
- 協 力 一般社団法人滋賀県茶業会議所 信楽 窯元散策路 Wa 京セラ株式会社
- 観覧料 一 般 550 円（440 円）、高大生 410 円（330 円）、中学生以下無料  
\*（ ）内は 20 人以上の団体料金
- 入場者数 5,981 人（1 日平均 65 人）
- 展覧会図録

『THE YUNOMI 湯呑茶碗—ちょっと昔の、日本縦断旅』

〔サイズ〕縦 20×横 22（cm） 252 項

〔内 容〕坂口湯呑茶碗コレクションについて／目次／ごあいさつ／

湯呑茶碗で日本縦断旅—大正・昭和の湯呑から見えること（大槻倫子）／

図版・解説／作品リスト／参考文献／索引

### ■関連企画&連携事業

(1) ギャラリートーク—学芸員による展示解説

〔日 時〕4 月 23 日（日）、5 月 21 日（日） 13:30 ～ 14:30



〔参加者〕60人(4/24 10人、5/21 50人)

(2) 近江の銘茶を楽しむ(滋賀県茶業会議所との連携)

近江茶の歴史・種類・産地・製法・美味しい淹れ方を解説パネルや動画で紹介。

(3) 訪ねてみよう!信楽の窯元―第16回ぶらり窯元めぐり(信楽窯元散策路との連携)

会期中、窯元散策路の見所をビデオやパネル、湯呑茶碗(協賛出品)で紹介。

(4) ショップ企画販売

会期中、近江の名茶「極煎茶比叡」「琵琶湖かぶせ」、県産丹波黒豆使用菓子販売。

■ 団体案内

4月4日(火) 信楽窯業技術試験場コトづくり勉強会(レクチャー&鑑賞会)35人

5月21日(金) 京都芸術大学通信教育部収穫祭40人

6月7日(水) 信楽窯業技術試験場研修生(レクチャー&鑑賞会)8人

■ 紹介番組・掲載記事

(1) 放送関係

3月15日(水) あいコムこうか「まちかどKOKA」-3月17日(金)まで随時

4月18日(火) BBCびわ湖放送「知ったかぶりかいつぶりニュース」

4月27日(木) ラジオ西日本「CHIT CHAT RADIO-ぶらり美術館の旅」

\*すべて取材対応

(2) 新聞関係

3月14日(火)

「朝日新聞夕刊 美術館・博物館」朝日新聞メディアプロダクション

4月15日(土) 「催しもの案内」産経新聞

5月1日(月) 「美の探訪」陶業時報社

\*5月10日(水) 「はるかなり湯呑の旅路」毎日新聞(滋賀版)

\*5月14日(日) 「日本人が愛した湯呑茶碗」中日新聞(滋賀版)

5月19日(金) 「情報プラザ」聖教新聞

5月 「しが県民情報」読売新聞

6月2日(金) 「くらしインフォ」京都新聞夕刊

\*印は現地取材対応

(3) 専門誌・雑誌など

\*4月1日(土) 「陶説4月号(No.837)」日本陶磁協会

\*6月1日(木) 「小原流挿花6月号」一般財団法人小原流

2月25日(土) 観光ガイド「電車&ウォーク3月号」JR西日本(陸風社)

3月1日(水) 「おうみの風62号」全国滋賀県人会連合会

3月25日(火) 「甲賀フリモ3月号 EVENT NEWS」株式会社中広

\*印は依頼による寄稿記事

(4) インターネット-抜粋

陶芸館展覧会(陶芸の森)/陶芸の森ツイッター/陶芸の森フェイスブック/JR西日本おでかけガイド/株式会社リクルートじゃらんnet/Leaf最新号WEBマガジン

MKYOTO (リーフ・パブリケーションズ) / 食のうつわジャーナル (あまから手帖 watobi) / Tokyo Art Beat (株式会社アートビート) / zakzak (産経デジタル) / ウォーカープラス (KADOKAWA) / CERAPHIC (京セラ株式会社) / アイエム (株式会社丹青社) / 京都発大龍堂通信 (大龍堂書店) / 全国のおすすめ展覧会 100 (ケイティコム) / ニコニコニュース (ドワンゴ) / 骨董品・古美術ネット (骨董品・古美術ネット) / MusCa (株式会社 B#) / エンカレッジ・クラブ (個人ブログ) / 個展なび (株式会社 個展なび) / ライブドアニュース (株式会社ライブドア)



■ 作品リスト (別紙)

■ アンケート集計結果 (別紙)

<Section 1> 北海道

No.	産地・窯号等	作品名	制作年代	寸法 (cm)	画像	数量	備考 (銘・付属資料ほか)	所在地
1	石狩焼   石狩陶園 (石狩窯園)	鉄胎鉄繪松葉文共蓋清香茶碗	昭和前期制作	総高9.3×口径6.8×底径3.9×最大径7.4		1	鉄絵銘「石狩古代」	北海道江別市
2	石狩焼   石狩陶園 (石狩窯園)	白泥鉄繪山水文共蓋清香茶碗	昭和前期制作	総高9.0×口径6.8×底径3.6×最大径7.2		1	鉄絵銘「石狩古代」	北海道江別市
3	石狩焼   石狩陶園 (石狩窯園)	染付鉄繪文共蓋清香茶碗	昭和前期制作	総高10.8×口径7.1×底径4.6×最大径7.7		1	染付銘「石狩」、共箱	北海道江別市
4	石狩焼   石狩陶園 (石狩窯園)	染付鉄繪文共蓋清香茶碗	昭和前期制作	総高9.6×口径7.0×底径4.7×最大径7.2		1	印刷銘「石狩」	北海道江別市
5	余別焼   余別窯	鉄絵匂入り清香茶碗	1925-1926/ 大正14-昭和元	総高5.7×口径6.0×底径3.4		1	染付銘「余別茶やき」	北海道釧路市

<Section 2> 東北地方









No.	産地・窯号等	作品名	制作年代	寸法 (cm)	画像	数量	備考 (銘・付属資料ほか)	所在地
6	岩手焼   岩手焼合資会社	朱泥色繪岩石山図清香茶碗	c.1929/昭和4年頃	総高6.7×口径6.4×底径4.4		1	印刷銘「岩手焼」	岩手県盛岡市
7	岩手焼   岩手焼合資会社	朱泥繪刻山水図共蓋清香茶碗	c.1929/昭和4年頃	総高7.6×口径7.2×底径4.8		1	印刷銘「岩手焼」	岩手県盛岡市
8	台焼   杉村良介	染付風景図共蓋清香茶碗	1937-1945/ 昭和12-昭和20	総高8.2×口径6.5×底径3.5×最大径6.7		1	染付銘「臺」	岩手県花巻市
9	大正切込焼   制作者不明	染付雄鷹草文字入り清香茶碗	1920-1922/ 大正9-大正11	総高7.7×口径6.8×底径4.7		1	染付銘「切込」	宮城県加美郡加美町
10	秋田焼   初代または二代 奥田道徳	白泥彫刻萬葉文清香茶碗	大正-昭和前期	総高6.8口径7.0×底径4.0		1	印刷銘「秋田焼」「道徳」	秋田県秋田市
11	平清水焼 (千歳焼)   清隆堂・丹羽程之介	鉄繪清香茶碗	大正-昭和初期	総高6.9×口径7.9×底径4.8		1	印刷銘「程」	山形県山形市
12	平清水焼 (千歳焼)   清隆堂・丹羽程之介	掻雪清香茶碗	大正-昭和初期	総高6.8×口径7.1 ×底径4.0		1	印刷銘「程」	山形県山形市
13	相馬鉄焼   十三代 田代清右衛門	鉄繪鉄器清香茶碗	昭和前期	総高6.7×口径7.1 ×底径4.8		1	印刷銘「田代」「法橋」、共箱、ラベル「相馬鉄焼」	福島県相馬市
14	相馬鉄焼   十三代 田代清右衛門	鉄繪鉄器清香茶碗	昭和前期	総高7.3×口径7.4×底径4.8		1	印刷銘「田代」「法橋」	福島県相馬市
15	会津本郷焼   耕山窯・田代耕一	染付雄鷹草文清香茶碗	大正-昭和前期	総高6.5×口径6.9×底径4.0		1	染付銘「耕山」	福島県大沼郡会津美里町

<Section 3> 関東地方










No.	産地・窯号等	作品名	制作年代	寸法 (cm)	画像	数量	備考 (銘・付属資料ほか)	所在地
16	越前焼	鉄繪文清香茶碗	1947-1964/ 昭和22-昭和39	総高8.7×口径7.9×底径4.7		1	無銘、ラベル	栃木県芳賀郡益子町
17	越前焼   濱田庄司	煤繪繪刻山図清香茶碗	昭和前期	総高8.8×口径8.0×底径5.0		1	無銘	栃木県芳賀郡益子町
18	越前焼 (さやど焼)   長谷陶苑・長田善一郎	鉄胎白泥掛付清香茶碗	昭和前期	総高7.5×口径7.7×底径4.7		1	無銘、器蓋にさやど焼シール	栃木県芳賀郡益子町
19	清花焼   福屋東洲	白泥模山水文清香茶碗	大正-昭和前期	総高5.4×口径5.8×底径3.3		1	金彩銘「いかり」	群馬県渋川市
20	水戸御朱焼	障子掛茶仕丹文匂入り清香茶碗	大正-昭和前期	総高7.2×口径6.5×底径5.0		1	印刷銘「御朱」、色絵銘「御朱焼」	茨城県水戸市
21	水戸御朱焼	象嵌匂入り清香茶碗	大正-昭和前期	総高6.5×口径6.1×5.7×底径3.3		1	印刷銘「御朱」、色絵銘「御朱」	茨城県水戸市
22	大野 純阿	信楽写割高台清香茶碗	1917-1934/ 大正6-昭和9	総高8.1×口径7.9×7.1×底径5.6		1	印刷銘「純」、共箱	東京都目黒区
23	隅田川焼 (百花園焼)	翠花文染付清香茶碗	1912-1939/ 大正元-昭和13	総高7.1×口径6.9×底径4.4		1	印刷銘「百花園」	東京都墨田区
24	奥田窯   三代 井上良斎	象嵌仁清繪清香茶碗	大正3-昭和前期	総高8.0×口径8.1×底径5.3		1	印刷銘「良斎」	神奈川県横浜市中区
25	眞葛焼   眞葛窯・二代または三代 宮川香山	青翠山水図大湯清香茶碗	大正-昭和前期	大→総高8.2×口径7.5×底径4.5 小→総高7.3×口径6.9×底径4.2		2	染付銘「眞葛香山作」	神奈川県横浜市中区
26	眞葛焼   眞葛窯・二代または三代 宮川香山	船下福三編入図清香茶碗	大正-昭和前期	総高8.0×口径7.7×底径4.5		1	染付銘「眞葛」、共箱	神奈川県横浜市中区
27	花月園焼   制作者不明	松絵染付清香茶碗	1914-1946/ 大正3-昭和21	総高5.9×口径6.8×底径4.2		1	上絵銘「泰平楽」「つるひ花月園」	神奈川県横浜市中区
28	ゆいきょう堂   古仙	染付松葉大雄鷹草文清香茶碗	大正-昭和前期	総高7.3×口径7.9×底径3.8		1	印刷銘「古仙」	神奈川県南足柄市

<Section 4> 信越地方

No.	産地・窯号等	作品名	制作年代	寸法 (cm)	画像	数量	備考 (銘・付属資料ほか)	所在地
29	無名窯焼   常山窯・三代 三浦常山	朱泥繪刻山水図清香茶碗	1912-1929/ 大正元-昭和4	総高6.6×口径6.5×底径4.6		1	刻銘「翠雨軒常山」	新潟県佐渡市
30	無名窯焼   常山窯・三代 三浦常山	朱泥繪刻梅花図清香茶碗	1912-1929/ 大正元-昭和4	総高6.7×口径6.3×底径4.4		1	印刷銘「三世常山」、共箱	新潟県佐渡市
31	無名窯焼   赤水窯・三代 伊藤赤水	朱泥繪刻梅花図清香茶碗	c.1931/昭和6年頃	総高6.5×口径6.5×底径4.9		1	印刷銘「佐渡金銀山無名窯作」「赤水」	新潟県佐渡市
32	大室焼   坂本次郎松	染付老松文清香茶碗	1913-1925/ 大正2-大正14	総高6.2×口径6.5×底径3.4		1	印刷銘「大室」	新潟県新潟市


33	大正焼	染付寿字文清香茶碗	1870-1892/ 明治3-明治25	髙6.7×口径7.6×底径4.8		1	印刷銘「大正」	新潟市北区
34	尾林焼   清水信堂	篆刻文字入共蓋清香茶碗	大正-昭和前期	髙8.6×口径6.8×底径3.4×最大径7.0		1	篆刻銘「信堂？」	長野県飯田市
35	天竜峡焼   木下卓斎	田象群文入共蓋清香茶碗	1929/昭和4	髙8.4×口径6.5×底径3.5×最大径6.7		1	田象群銘「己巳秋天龍峡谷卓斎銀欠刀」、印刷銘「吾水？」	長野県飯田市
36	天竜峡焼   中村昇堂	篆刻天龍峡文字入共蓋清香茶碗	大正-昭和前期	髙9.0×口径6.5×底径3.7×最大径7.0		1	篆刻銘あり(判読不能)	長野県飯田市
37	白泥焼   白泥焼寛元	白泥篆刻文字入り清香茶碗	大正-昭和前期	髙6.7×口径6.8×底径3.5		1	刻銘あり	長野県長野市
38	女鳥羽焼   藤田秋石	陸刻金泥常念品文清香茶碗	昭和前期	髙6.3×口径5.9×底径3.4		1	印刷銘「清霞」	長野県松本市
39	應永	陸刻蓮華田清香茶碗	大正-昭和前期	髙7.2×口径7.1×底径3.4		1	刻銘「應永作之、ラベル」	長野県伊豆市
40	上高地焼	上高地風景染清香茶碗	昭和前期	髙6.6×口径6.5×底径4.2		1	印刷銘「上高地」	長野県松本市

<Section 5> 北陸地方

No.	産地・窯号等	作品名	制作年代	寸法 (cm)	画像	数量	備考 (銘・付属資料ほか)	所在地
41	大越焼   九代 大越長左衛門	黄染清香茶碗	大正-昭和前期	髙7.2×口径9.9×底径4.6		1	印刷銘「大越」、共箱	石川県金沢市
42	大越焼   昌兵衛、二代 加藤良秀	赤染清香茶碗	大正-昭和前期	髙6.6×口径6.1×底径4.0		1	印刷銘「良秀」、共箱	石川県金沢市
43	大越焼   昌兵衛、松村翠山	陸刻山水図清香茶碗	大正-昭和前期	髙6.8×口径6.3×底径3.8		1	印刷銘「大越」	石川県金沢市
44	初代鶴島文七	黄染清香茶碗	大正-昭和前期	髙9.1×口径7.9×底径4.9		1	印刷銘「春日山」	石川県金沢市
45	九谷焼   法島寛、二代 和澤善山	染付祥瑞写山水文共蓋清香茶碗	1919-1925/ 大正8-大正14	髙10.3×口径6.3×底径3.5×最大径6.8		1	染付銘「九谷 善山造」	石川県金沢市
46	九谷焼   初代 石野龜山	藍染染付山水図共蓋清香茶碗	1912-1936/ 大正元-昭和11	髙8.9×口径6.9×底径3.5×最大径7.1		1	藍下彩銘「龜山」	石川県金沢市
47	九谷焼   初代 石野龜山	藍染染付山水図共蓋天球清香茶碗	1912-1936/ 大正元-昭和11	大: 髙9.5×口径6.7×底径3.2×最大径7.0 小: 髙8.8×口径6.1×底径3.1×最大径6.6		2	藍下彩銘「龜山」	石川県金沢市
48	九谷焼   善谷寛、善田忠水	赤染秋草文白形清香茶碗	大正-昭和前期	髙7.4×口径6.5×底径4.0		1	上輪銘「善谷寛第六八六八三」、共箱	石川県金沢市
49	九谷焼   寺前商店、善谷清二	赤染秋草文清香茶碗	大正-昭和前期	髙7.2×口径6.8×底径4.3		1	上輪銘「九谷」	石川県加賀市
50	九谷焼   光仙寛、利根光仙	刷毛目波にネズミ無垢台清香茶碗	c.1936/昭和11年頃	髙7.8×口径5.9×底径4.4		1	印刷銘「光仙」	石川県金沢市
51	九谷焼、稲谷竹穂	赤染金彩振書玉取獅子文共蓋清香茶碗	大正-昭和前期	髙9.3×口径6.1×底径3.2×最大径6.8		1	上輪銘「九谷竹穂」	石川県加賀市
52	九谷焼   永寿寛、矢口永壽	染付祥瑞写山水文清香茶碗	大正-昭和前期	髙8.8×口径7.5×底径5.3		1	染付銘「九谷永壽」	石川県加賀市
53	九谷焼   徳田八十吉、初代 徳田八十吉	青手九谷山水図共蓋清香茶碗	大正-昭和前期	髙10.4×口径6.4×底径4.1×最大径7.3		1	上輪銘「九谷八十吉」	石川県小松市
54	九谷焼	色絵人物文清香茶碗	大正-昭和前期	髙8.7×口径7.0×底径3.8		1	色絵銘「九谷」	
55	永平寺焼   制作者不明	陸刻松文清香茶碗	大正-昭和前期	髙6.0×口径6.7×底径3.4		1	無銘	福井県吉田郡永平寺町?
56	織田焼   鈴木彦右衛門	色絵蓮舟大顔図清香茶碗	1912-1933/ 大正元-昭和8	髙8.0×口径6.5×底径3.8		1	上輪銘「織田 五成山人」	福井県丹生郡越前町
57	芦原焼   初代久世天聲	色絵草花文清香茶碗	大正3-昭和前期	髙7.8×口径6.8×底径4.4		1	印刷銘「芦原」	福井県あわら市
58	宇奈月焼   藤田徳山	絵船清香茶碗	大正-昭和前期	髙7.0×口径6.6×底径6.0		1	印刷銘「徳山」	富山県奥州市

<Section 6> 東海地方

No.	産地・窯号等	作品名	制作年代	寸法 (cm)	画像	数量	備考 (銘・付属資料ほか)	所在地
59	汝事焼   芳園舎、松山吉一	染付樓閣山水文共蓋清香茶碗	大正-昭和前期	髙8.0×口径6.2×底径3.8×最大径7.2		1	染付銘「志布沖 芳園舎」	岐阜県高山市
60	美濃焼   眞山寛、加藤眞山	染付梅花洗水文共蓋清香茶碗	昭和前期	髙8.0×口径6.5×底径3.6×最大径7.0		1	印刷銘「眞山」	岐阜県多治見市
61	岐阜県陶磁器試験場 (現岐阜県セラミクス研究所)	柿文清香茶碗	1935-1940/ 昭和10-昭和15	髙8.0×口径6.5×底径4.6		1	高谷ラベル 「岐 TAJIMI - GIFUKEN NIPPON」	岐阜県多治見市
62	美濃焼   東佐右衛門	染付メーテル法匠製清香茶碗	大正-昭和前期	髙6.5×口径6.6×底径4.6		1	無銘	岐阜県多治見市
63	稲穂焼   石橋寛、森本鎮七	色絵草花文清香茶碗	1945-1955/ 昭和20-昭和30	髙7.2×口径6.8×底径4.3		2	印刷銘「鎮七」、共箱	岐阜県中津川市
64	金華山焼   藤田旭水	藍彩船隻染付文清香茶碗	大正-昭和前期	髙6.9×口径7.3×底径4.7		1	印刷銘「金華山」	岐阜県岐阜市
65	千歳焼   千歳寛、林見三	長船面取共蓋清香茶碗	1915-1940/ 大正4-昭和15	髙7.8×口径5.6×底径3.8×最大径6.1		1	印刷銘「千歳」	岐阜県岐阜市
66	濃歌焼   山口清水運政	朱泥千字文共蓋清香茶碗	大正-昭和前期	髙9.0×口径7.1×底径4.4×最大径7.7		2	印刷銘 双銘に「運政」	岐阜県大垣市


67	温故烧   清水石峯	色絵金彩山水文共蓋湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高8.3×口径5.8×底径3.5×最大径6.1		1	印刷銘「石峯」、共箱	岐阜県
68	養老烧   小野新吉	手捻り湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高6.4×口径5.6×底径3.3		1	印刷銘「養老」	岐阜県養老郡養老町
69	新倉烧   關粘土工團所	白濁湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高7.7×口径7.7×8.5×底径4.3		1	印刷銘「あさくら」	岐阜県関市
70	越前烧 (復興期)   初代 青島山または二代 青島秀山	白粉繪湯呑茶碗	明治末期 - 昭和前期	形高6.8×口径8.7×底径5.5		1	印刷銘あり (判読不能)	静岡県静岡市葵区
71	越前烧 (復興期)   初代 青島山または二代 青島秀山	鉄絵波文湯呑茶碗	明治末期 - 昭和前期	形高6.2×口径6.7×底径3.7		2	印刷銘「越前?」	静岡県静岡市葵区
72	志戸品烧   鈴木幸吉	灰釉へこみ湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高7.4×口径8.0×底径5.2		1	印刷銘「志戸品」	静岡県島田市
73	森山烧   中村秀吉	灰釉湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高7.0×口径7.5×底径4.5		1	印刷銘「森山」	静岡県高知郡高町
74	伊東素烧   三津屋常廣	傳刻富士山文茶筒湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高6.9×口径6.7×底径4.2		1	刻銘「米山作」	静岡県伊東市
75	瀬戸烧   古瀬戸窯・三代 加藤作助	編部写共蓋湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高9.4×口径7.6×底径4.6×最大径7.8		1	印刷銘「作介」	愛知県瀬戸市
76	瀬戸烧   加藤美枝	古瀬戸粉湯呑茶碗	明治末期 - 昭和前期	形高7.9×口径6.6×底径4.4		1	印刷銘「美枝」	愛知県瀬戸市
77	瀬戸烧   陶五堂 青戸真・二十代 加藤文助	黄瀬戸文湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高7.2×口径6.5×底径4.3		1	印刷銘「文助造」、共箱、共布	愛知県瀬戸市
78	瀬戸烧   加藤青山	且志野八重文湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高9.1×口径8.4×底径5.4		1	印刷銘「青山」	愛知県瀬戸市
79	瀬戸烧   深川源・加藤敏造	志野薄文共蓋湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高10.6×口径8.6×底径4.5×最大径8.9		1	鉄絵銘「敏造」	愛知県瀬戸市
80	瀬戸烧   葵真・加藤孝二 (十三世 竹屋庵)	刷毛目共蓋湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高11.2×口径8.6×底径6.0×最大径9.4		1	無銘、共箱	愛知県瀬戸市
81	瀬戸烧   九秋園・初代 矢野陶々	青繪即紋竹文湯呑茶碗	昭和前期	形高8.3×口径6.7×底径4.3		1	印刷銘「陶々」	愛知県瀬戸市
82	瀬戸烧   島陶真・河本敬享	染付佳器文字入り湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高6.9×口径6.7×底径4.2		1	染付銘「敬享」、共箱	愛知県瀬戸市
83	大山烧	染付羅目文湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高7.8×口径7.3 ×底径4.6		1	印刷銘「大山」	愛知県小牧市
84	大山烧   三代 尾崎作十郎	赤絵花鳥文共蓋湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高10.0×口径7.6×底径4.6×最大径8.3		1	無銘	愛知県犬山市
85	大山烧   制作者不明	色絵石上竹文湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高7.9×口径7.6×底径4.1		1	印刷銘「大山」	愛知県犬山市
86	不二具烧   三世 不二山人	夢文字入り白濁湯呑茶碗	昭和前期	形高6.5×口径7.7×底径3.7		1	刻銘「不二」	愛知県名古屋市中区
87	葵烧   竹本作二郎	灰釉湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高7.0×口径6.4×底径3.5		1	印刷銘「葵」	愛知県岡崎市
88	熊付烧   三浦月庵	色絵地獄輪図共蓋湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高10.0×口径8.0×底径5.0×最大径9.0		1	色絵銘「月庵画」	愛知県岡崎市
89	常滑烧   山七郎・渡辺七左衛門	漢掛共蓋湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高8.3×口径7.1×底径4.0×最大径7.7		1	印刷銘「七左」	愛知県常滑市
90	常滑烧   山田常山・二代 山田常山	朱泥緑刺松文共蓋湯呑茶碗	1912 - 1942 / 大正元 - 昭和17	形高7.5×口径6.6×底径4.2×最大径6.9		1	印刷銘「小常山」	愛知県常滑市
91	阿波烧   福森四二	色絵海老図共蓋湯呑茶碗	昭和前期	形高8.5×口径5.1×底径3.8×最大径6.6		1	印刷銘「阿波」	三重県津市
92	阿波烧   福森四二	鉄絵波千鳥文湯呑茶碗	昭和前期	形高7.4×口径5.9×底径5.1		1	印刷銘「阿波」	三重県津市
93	萬古烧   阿波烧   制作者不明	色絵鳥山水文湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高10.4×口径10.0×底径5.7		1	印刷銘「萬古」	三重県四日市市
94	萬古烧   制作者不明	青泥共蓋湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高8.1×口径6.7×底径4.0×最大径7.6		1	無銘	三重県四日市市
95	萬古烧   陶好運・出岡白山	青泥千字刻文共蓋湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高9.0×口径7.2×底径4.9×最大径7.7		1	印刷銘「白山製」	三重県四日市市
96	萬古烧   真生製陶所	鉄絵白磁唐草文共蓋湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高9.9×口径6.9×底径3.7×最大径7.1		1	印刷銘「真生」	三重県四日市市
97	松阪萬古   松古真・三代 佐久間芳勝	色絵本居堂具文共蓋湯呑茶碗	大正3 - 昭和前期	形高9.4×口径6.5×底径4.4×最大径7.2		1	印刷銘「赤坂萬古」	三重県松阪市
98	松阪萬古   松古真・三代 佐久間芳勝	色絵古幹文共蓋湯呑茶碗	大正3 - 昭和前期	形高13.8×口径8.5×底径5.7×最大径9.2		1	印刷銘「赤坂萬古」	三重県松阪市
99	美鈴烧   中西真七	色絵嵐山図共蓋湯呑茶碗	大正 - 昭和前期	形高9.2×口径6.2×底径4.3×最大径6.6		1	印刷銘「美鈴焼」、共箱	三重県松阪市
100	神路山烧   神山守之助	色絵伊勢音頭図湯呑茶碗	明治末期 - 昭和前期	形高8.3×口径6.9×底径4.7		1	印刷銘「神路山」	三重県伊勢市
101	二見烧 (石仏烧)   二代 清水石仏	朱泥緑刺通刺図共蓋湯呑茶碗	明治末期 - 昭和2	形高9.2×口径6.8×底径4.3×最大径6.9		1	印刷銘「石仏」	三重県伊勢市
102	野山烧   源月庵・初代 吉田美祐	刷毛目共蓋湯呑茶碗	昭和前期	形高8.9×口径6.5×底径4.0×最大径7.5		1	印刷銘「野山」	三重県三重郡野町
103	伊賀烧   土滴真・五代 福森土滴	鉄柄共蓋湯呑茶碗	明治末期 - 大正期	形高11.4×口径8.0×底径5.4×最大径8.5		1	印刷銘「いび土滴」	三重県伊賀市

104	伊賀焼   名張瓦・興村買山	洗脚清香茶碗	1930 - 1941 / 昭和5 - 昭和16	高さ 7.6 × 口径 6.8 × 底径 4.6		1	印刷銘「いが名張瓦」	三重県伊賀市
-----	----------------	--------	--------------------------	--------------------------	--	---	------------	--------

<Section 7> 近畿地方

No.	産地・窯号等	作品名	制作年代	寸法 (cm)	画像	数量	備考 (銘・付属資料等)	所在地
105	信楽焼   古来瓦 埴子區・二代 上田道方	洗脚入り共蓋清香茶碗	1912 - 1926 / 大正期	高さ 8.9 × 口径 7.6 × 底径 4.3 × 最大径 7.6		1	刷銘「古来瓦 埴子區」「道方」、共箱	滋賀県甲賀市
106	信楽焼   浅野本栄	洗脚共蓋清香茶碗	明治末期 - 昭和12	高さ 8.0 × 口径 7.0 × 底径 5.1 × 最大径 7.9		2	印刷銘「本栄」	滋賀県甲賀市
107	滋賀県窯業試験場 (現滋賀県工業技術総合センター - 信楽窯業技術試験場)	染付草花文清香茶碗	1929 - 1944 / 昭和4 昭和19	高さ 7.6 × 口径 6.7 × 底径 4.2		1	無銘	滋賀県甲賀市
108	山本陶器堂   山本陶器	上絵大津繪文共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 9.0 × 口径 7.3 × 底径 4.2 × 最大径 7.7		1	赤絵印銘「陶器」	滋賀県大津市
109	膳所焼 陽炎園   岩崎健三	鉄胎清香茶碗	昭和前期	高さ 6.9 × 口径 6.7 × 底径 3.8		1	印刷銘「せ」、共箱	滋賀県大津市
110	膳所焼 陽炎園   岩崎健三	色絵光琳菊文天狗清香茶碗	昭和前期	大: 高さ 7.1 × 口径 7.4 × 底径 4.0 小: 高さ 5.8 × 口径 6.4 × 底径 3.7		2	印刷銘「せ」、共箱	滋賀県大津市
111	膳所焼 陽炎園   岩崎健三	色絵高文天狗清香茶碗	昭和前期	大: 高さ 6.9 × 口径 7.2 × 底径 3.8 小: 高さ 5.7 × 口径 6.7 × 底径 3.3		2	印刷銘「せ」	滋賀県大津市
112	まからずや堺東焼   豪松製陶所・三代 興村松平	鉄胎赤絵金彩松菊文共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 11.7 × 口径 8.6 × 底径 5.3 × 最大径 8.7		1	印刷銘「堺東」	滋賀県彦根市
113	清水焼   六代 斎藤道八	染付山水図共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 9.5 × 口径 6.5 × 底径 4.1 × 最大径 7.0		1	染付銘「華中亭道八製」	京都市東山区
114	清水焼   六兵衛窯・五代 清水六兵衛	染付梅花輪清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 8.7 × 口径 7.4 × 底径 5.0		1	染付銘「六兵衛」	京都市東山区
115	清水焼   六兵衛窯・五代 清水六兵衛	赤絵梅輪清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 8.6 × 口径 6.9 × 底径 4.3		1	染付銘「六兵衛」	京都市東山区
116	清水焼   三浦竹泉・三代 三浦竹泉	祥瑞雲鶴馬九紋清香茶碗	1920 - 1933 / 大正9 - 昭和8	高さ 7.5 × 口径 7.6 × 底径 4.9		1	染付銘「仿真祥瑞 平安竹泉」	京都市東山区
117	清水焼   初代 源老名弥平次	染付山水文清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 7.5 × 口径 7.7 × 底径 4.0		1	印刷銘「弥平次」「D社り」	京都市東山区
118	清水焼   高橋清山	色絵紅梅図共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 9.4 × 口径 8.5 × 底径 4.6		1	染付銘「平安 清山造」、共箱	京都市東山区
119	河合 卯之助	沖の高清香茶碗	1933 - 1966 / 昭和8 昭和30	高さ 9.5 × 口径 6.1 × 底径 4.5		1	印刷銘「卯」、共箱	京都府向日市
120	清水焼   鐘深屋・河井寛次郎	磁砂彫絵花鳥文清香茶碗	昭和前期	高さ 7.3 × 口径 6.7 × 底径 4.7		1	無銘、共箱	京都市東山区
121	燒酎 弥弍	染付草花文清香茶碗	昭和前期	高さ 8.8 × 口径 7.2 × 底径 3.5		1	印刷銘「彌」	京都市東山区
122	清水焼   崎宮淺見五郎助、四代 淺見五郎助	青筋清香茶碗	大正5 - 昭和前期	高さ 8.6 × 口径 7.0 × 底径 4.7		1	印刷銘「五郎介」、共箱	京都市東山区
123	清水焼   永楽善五郎・十五代 永楽善五郎	吉赤輪清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 8.4 × 口径 6.9 × 底径 4.3 × 最大径 7.6		1	印刷銘「永楽」、共箱	京都市東山区
124	清水焼   清風与平・四代 清風与平	白磁埴埴輪清香茶碗	大正3 - 昭和前期	高さ 5.7 × 口径 6.8 × 底径 3.9		1	印刷銘「清風」、共箱	京都市東山区
125	清水焼   木村二瓶子 (七代 木村清山)	鉄胎イッテン文字清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 10.0 × 口径 8.5 × 底径 4.0		1	印刷銘「二瓶子」	京都市東山区
126	清水焼   木村二瓶子 (七代 木村清山)	鉄胎新花草花文清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 10.0 × 口径 7.7 × 底径 5.5		1	無銘	京都市東山区
127	清水焼   三徑丹祐	青華鳥口君子文清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 8.7 × 口径 7.7 × 底径 5.4		1	印刷銘「丹祐」、染付銘「丹仁福」、共箱	京都市東山区
128	清水焼   制作者不明	仁清写色絵緞帯梅花文清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 8.3 × 口径 7.3 × 底径 4.4		1	印刷銘「仁清」	京都市東山区
129	陶工省陶磁器試験所 (現国立研究法人産業技術総合研究所)	染付草花文清香茶碗	1930s	高さ 7.7 × 口径 7.2 × 底径 4.2		1	印刷銘「海」	京都市伏見区
130	京都市工業研究所窯業部 (現地方独立行政法人京都市産業技術研究所)	釉下彩草花文共蓋清香茶碗	1926 - 1936 / 大正15 - 昭和11	高さ 9.1 × 口径 6.7 × 底径 2.9 × 最大径 7.2		1	印刷銘「京都市旧市章マーク」	京都市東山区
131	清水焼   豊林殿買山・十八代 豊林殿買山	染付妻わら清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 7.3 × 口径 7.1 × 底径 4.5		1	印刷銘「買山」、共箱	京都市東山区
132	買田口焼   鉄光山・七代または八代 鉄光山宗兵衛	色絵百松輪共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 9.0 × 口径 6.7 × 底径 3.8 × 最大径 7.6		1	上絵銘「鉄光山造」	京都市東山区
133	買田口焼   伊東陶山・初代または二代 伊東陶山	花楓清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 7.3 × 口径 6.9 × 底径 3.9		1	印刷銘「陶山」、共箱	京都市東山区
134	宮永東山・初代 宮永東山	色絵風雲図清香茶碗	明治末期 - 大正期	高さ 6.7 × 口径 7.3 × 底径 4.4		1	印刷銘「東山」	京都市伏見区
135	朝日焼   松林光善	白磁絵明文清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 7.2 × 口径 7.7 × 底径 3.0		1	印刷銘「朝日」	京都府宇治市
136	朝日焼   松林光善	刻文清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 9.0 × 口径 7.5 × 底径 4.0		1	印刷銘「朝日」	京都府宇治市
137	笠置焼   笠松泉良三郎	色絵川下り風景文清香茶碗	昭和前期	高さ 6.0 × 口径 5.5 × 底径 3.7		1	印刷銘「笠置」	京都府相楽郡笠置町
138	笠置焼   笠松泉良三郎	色絵鳥文清香茶碗	昭和前期	高さ 6.8 × 口径 6.0 × 底径 4.3		1	印刷銘「笠置」	京都府相楽郡笠置町
139	不二焼 (神音焼)   後藤正夫	色絵富士図清香茶碗	1931 - 1937 / 昭和6 - 昭和12	高さ 7.9 × 口径 7.4 × 底径 4.7		1	印刷銘「不二初窯」、共箱	京都府鹿丹市

140	花明山窯	素焼清香茶碗	1951-1955/ 昭和26-昭和30	高さ 8.4×口径 7.6×底径 4.6		1	印刷銘「大本」	京都府亀岡市
141	高田焼   天坊草庵	鉄絵梅鉢文清香茶碗	大正14-昭和前期	高さ 7.1×口径 7.2×底径 4.3		1	印刷銘「高田」	大阪府高槻市
142	箕面焼   松声堂・初代 松田真山	素焼清香茶碗	1937-1955/ 昭和12-昭和30	高さ 8.1×口径 6.9×底径 4.5		1	印刷銘「箕面焼」	大阪府箕面市
143	箕面焼   松声堂・初代 松田真山	染付匂入り松林文清香茶碗	1937-1955/ 昭和12-昭和30	高さ 7.9×口径 6.8×底径 4.4		1	印刷銘「箕面」	大阪府箕面市
144	吉向焼   吉向松月堂・ 制作-六世吉向松月/匂・圖-永井照斎	舟下図匂入り素焼清香茶碗	1912-1945/ 大正元-昭和20	高さ 10.5×口径 7.2×底径 4.5		1	印刷銘「吉向」	大阪府枚方市
145	吉向焼   吉向松月堂・六世 吉向松月	羊歯文赤染清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 6.9×口径 6.2×底径 4.4		1	印刷銘「吉向」	大阪府枚方市
146	吉向焼   吉向十三軒窯・ 五代または六代 吉向十三軒 (指一郎)	金襴式文字赤染清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 8.7×口径 7.7×底径 4.2		1	印刷銘「吉向」	大阪府天王寺区
147	吉向焼   吉向十三軒窯・ 五代または六代 吉向十三軒 (指一郎)	染付鉄絵鱗文清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 5.3×口径 5.6×底径 3.1		1	印刷銘「吉向」	大阪府天王寺区
148	天間 露香女	釣人絵匂入り素焼清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 8.0×口径 7.4×底径 4.4		1	無銘	大阪府天王寺区
149	深井焼	イチツン清水焼文字清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 6.6×口径 6.0×底径 4.5		1	無銘	大阪府堺市中区
150	伊丹焼 (半七焼)   八代 白井半七	鉄絵千鳥文清香茶碗	1923-1939/ 大正12-昭和14	高さ 8.6×口径 6.9×底径 4.2		1	印刷銘「半七」、共箱	兵庫県伊丹市
151	立杭焼   大島善美 上中屋仙	鉄絵赤緑清香茶碗	大正期-昭和前期	大: 高さ 6.7×口径 7.4×底径 5.0 小: 高さ 5.6×口径 6.5×底径 4.6		2	刻銘「立善美」	兵庫県篠山市
152	飯山焼   初代 今村静斎 二代 今村静斎	象嵌焼文清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 7.1×口径 6.0×底径 4.0		1	印刷銘「さゝ山」	兵庫県篠山市
153	宝塚焼   草加藤隆	鉄絵清香茶碗	昭和前期	高さ 5.7×口径 7.2×底径 3.7		1	印刷銘「島に宝」	兵庫県宝塚市
154	三田焼   芝虎山	青磁清香茶碗	1912-1931/ 大正元-昭和 6	高さ 6.3×口径 6.5×底径 3.8		1	無銘	兵庫県三田市
155	琴浦焼   初代 和田明山	染付松文共蓋清香茶碗	大正12-昭和前期	高さ 10.0×口径 7.0×底径 5.0×最大径 7.6		1	印刷銘「明山」	兵庫県尼崎市
156	出石焼   遊蓮舎	釉下彩萬文共蓋天清香茶碗	大正期-昭和前期	大: 高さ 8.7×口径 6.8×底径 3.2×最大径 7.3 小: 高さ 7.5×口径 6.1×底径 2.9×最大径 6.2		2	染付銘「出石永山」	兵庫県豊岡市
157	出石焼   遊蓮舎	白磁鉄刻均文共蓋清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 8.5×口径 6.4×底径 3.4×最大径 7.5		1	印刷銘「出石遊蓮舎」	兵庫県豊岡市
158	出石焼   制作者不明	白磁鉄刻均文共蓋清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 8.3×口径 6.1×底径 6.6×最大径 3.9		1	無銘	兵庫県豊岡市
159	打出焼   初代 飯口砂山 二代 飯口砂山	上繪波に西伝共蓋清香茶碗	1912-1937/ 大正元-昭和12	高さ 7.2×口径 6.1×底径 4.2×最大径 6.1		1	無銘	兵庫県芦屋市
160	打出焼   初代 飯口砂山 二代 飯口砂山	松葉文赤染清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 6.9×口径 7.7×底径 5.0		1	印刷銘「うちで」	兵庫県芦屋市
161	西本焼   力山房	素焼梅花図清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 6.6×口径 7.9×底径 4.4		1	印刷銘「をか本」	兵庫県神戸市東灘区
162	舞子焼   高田真砂	灰釉匂入り清香茶碗	1912-1926/ 大正期	高さ 7.6×口径 8.3×底径 5.0		1	印刷銘「まじこ」「和風軒?」	兵庫県神戸市垂水区
163	明石焼   小倉千尋	染付鉄か竹丹区共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ 14.0×口径 7.0×底径 3.4×最大径 12.8		1	印刷銘「ちひろ」	兵庫県明石市
164	明石焼   小倉千尋	素焼明石松原図清香茶碗	昭和前期	高さ 6.3×口径 7.4×底径 3.3		1	印刷銘「千尋」	兵庫県明石市
165	明石焼 (靱原焼)   泉製陶所・白水幸次	鉄絵和取入り共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ 11.5×口径 7.7×底径 5.2×最大径 8.5		1	印刷銘「明石製陶」	兵庫県明石市
166	赤穂染   中尾敬章 (号 赤穂)	菊花図素焼清香茶碗	昭和前期	高さ 7.5×口径 7.5×底径 4.1		1	印刷銘「あかほ」	兵庫県赤穂市
167	淡路焼 (玩平焼)   阿万玩平または淡路社	色絵波に千鳥図共蓋清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 9.4×口径 6.9×底径 4.0×最大径 7.1		1	染付銘「玩平焼」	兵庫県南あわじ市
168	蟹飼焼   初代 中川蟹飼	隣刻蟹文素焼清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 6.7×口径 7.5×底径 3.9		1	印刷銘「蟹飼」	兵庫県姫路市
169	赤穂焼	鉄絵民船摩目山に鹿図清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 6.5×口径 6.5×底径 4.1		1	印刷銘「赤ハタ」	奈良県奈良市
170	赤穂焼   赤穂山元窯・六代 古瀬勇三	白釉鉢込清香茶碗	昭和前期	高さ 7.1×口径 7.1×底径 4.9		1	印刷銘「赤ハタ」	奈良県奈良市
171	赤穂焼   赤穂山元窯・六代 古瀬勇三	鉢込清香茶碗	昭和前期	高さ 7.0×口径 7.6×底径 4.8		1	印刷銘「赤ハタ」「勇三」	奈良県奈良市
172	櫻原焼   鉄火荘・黒田廷平庵 黒田春中	唐文素焼清香茶碗	c.1931/昭和 6年頃	高さ 9.3×口径 7.6×底径 5.7		1	無銘	奈良県橿原市
173	高野山焼   初代 春川朝童	白釉清香茶碗	昭和前期	高さ 6.7×口径 6.2×底径 3.9		1	印刷銘「高野山焼」	和歌山県伊都郡高野町
174	熊野焼   一風軒・藤本研山	鉄絵白船渡し共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ 8.4×口径 9.1×底径 5.3×最大径 9.1		1	印刷銘「熊野」	和歌山県田辺市
175	熊野焼   一風軒・藤本研山	焼締遊環つみ共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ 8.4×口径 6.9×底径 3.4×最大径 7.7		1	印刷銘「くまの」	和歌山県田辺市
176	熊野焼   一風軒・藤本研山	鉄絵松文清香茶碗	昭和前期	高さ 7.4×口径 6.9×底径 4.2		1	印刷銘「くまの」	和歌山県田辺市

177	冥不明 (谁来烧办?)   制作者不明	交趾写二彩方字文高形清香茶碗	明治前期-昭和前期 か?	高さ 84×口径 7.3×底径 5.2		1	交付 (谁来烧办?)	和歌山県和歌山市
-----	---------------------	----------------	-----------------	---------------------	---	---	------------	----------












<Section 8> 山陰地方

No.	産地・窯号等	作品名	制作年代	寸法 (cm)	画像	数量	備考 (銘・付属資料ほか)	所在地
178	田久山焼   八代 戸澤保親	刷毛目清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 68×口径 6.4×底径 3.4		1	印刷銘「田久山」	鳥取県八雲郡八雲町
179	米城焼   堀内常市	白粉掛分共蓋清香茶碗	1929-1947/ 昭和4-昭和22	高さ 100×口径 6.5×底径 3.8×最大径 7.3		1	無銘	鳥取県米子市
180	三軒焼   佐州真壽真・森田利基	鉄軸勾入り清香茶碗	昭和前期	高さ 5.7×口径 6.1×底径 3.8		1	無銘	鳥取県美伯郡三軒町
181	三軒焼   谷口萬庵・谷口喜代香	鉄軸掛文字共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ 8.8×口径 7.0×底径 3.9×最大径 7.8		1	印刷銘「三軒」「陶庵」	鳥取県美伯郡三軒町
182	玉仙焼   大橋正次	赤軸盤文清香茶碗	1926-1928/ 大正15-昭和3	高さ 7.4×口径 7.0×底径 4.2		1	印刷銘「玉仙」	鳥取県倉吉市
183	牛ノ戸焼   小林秀雄	鉄軸清香茶碗	昭和前期	高さ 6.8×口径 7.7×底径 4.5		1	印刷銘「牛ノ戸」	鳥取県鳥取市
184	法華寺焼   松花寛・三代 安藤良男	鉄軸白粉掛分共蓋清香茶碗	1951-1959/ 昭和26-昭和34	高さ 7.2×口径 7.6×底径 4.6		1	印刷銘あり (判読不能)	鳥取県美伯郡南郷町
185	埴師焼   埴師寛・二代 尾野岩次郎	刷毛目区輪清香茶碗	大正-昭和初期	高さ 6.8×口径 6.8×底径 4.2		1	印刷銘「まっ江」	鳥取県松江府
186	布志名焼   松本真・松木流太郎 (晋平)	黄釉色絵草文共蓋清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 8.7×口径 6.1×底径 3.8×最大径 7.9		1	無銘	鳥取県松江府玉湯町布志名
187	奥山焼   五代 奥岡住右衛門 (空楼)	刷毛目鉄印清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 7.2×口径 7.6×底径 4.1		1	印刷銘角形「奥山」、 駝形「空」、丸形「空楼」	鳥取県松江府
188	鉢山焼   中島秀市	三島手清香茶碗	明治末期-昭和前期	高さ 9.4×口径 7.5×底径 4.7		1	印刷銘「鉢山」	鳥取県安来市
189	鉢山焼   中島秀市	紫付草花文共蓋清香茶碗	明治末期-昭和前期	高さ 8.4×口径 8.5×底径 4.0×最大径 8.5		1	印刷銘「鉢山」	鳥取県安来市
190	温泉焼   金清山長寿堂・澤端一郎	鉄軸結晶清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 6.7×口径 6.6×底径 4.1		1	印刷銘「石見 温泉焼」「金清山」	鳥取県大田市
191	白磁山焼   日野勤三郎	色絵筆比賣大風文共蓋清香茶碗	1912-1943/ 大正元-昭和18	高さ 10.0×口径 6.5×底径 4.6×最大径 7.1		1	印刷銘「白磁山」	鳥取県出雲市
192	白磁山焼   日野勤三郎	印文割高台案焼清香茶碗	1912-1943/ 大正元-昭和18	高さ 10.0×口径 7.7×底径 4.9		1	印刷銘「白磁山」「出雲」	鳥取県出雲市
193	尾上焼   眞山廣次郎 高下真次	白粉掛分紫付草文清香茶碗	昭和前期	高さ 7.1×口径 7.5×底径 4.2		1	印刷銘「尾上」	鳥取県浜田市

<Section 8> 中国・四国地方

No.	産地・窯号等	作品名	制作年代	寸法 (cm)	画像	数量	備考 (銘・付属資料ほか)	所在地
194	羽島焼   小沟原虎吉	斑文清香茶碗	昭和前期	高さ 7.9×口径 8.0×底径 4.4		1	印刷銘「羽」	岡山県倉敷市
195	沼津焼   三代 岡本賢二	特別刷文清香茶碗	c.1932/昭和7年頃	高さ 7.0×口径 7.4×底径 4.0		1	印刷銘「沼津」	岡山県倉敷市
196	沼津焼   三代 岡本賢二	鉄軸刷文清香茶碗	c.1932/昭和7年頃	高さ 6.8×口径 7.2×底径 4.6		1	印刷銘「沼津」	岡山県倉敷市
197	備前焼   森製陶所	紅葉文共蓋清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 9.3×口径 6.3×底径 4.2×最大径 6.8		1	印刷銘「備前 森製陶所」	岡山県備前市
198	備前焼   久本幸山 (花山)	朱泥共蓋清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 9.0×口径 6.5×底径 4.4×最大径 7.1		1	印刷銘「備前」「幸山」	岡山県備前市
199	高山焼   高元神鹿製陶部・ 白代 寿季 小池真治郎	灰釉共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ 9.8×口径 6.8×底径 4.4×最大径 7.0		1	印刷銘「高山焼」	岡山県清山市
200	広島焼 (豊島製砂焼)   越前堂・ 川原富次郎 上野他人吉	黄釉裏砂入り飯島神社文清香茶碗	大正3-昭和前期	高さ 6.8×口径 8.2×底径 4.1		1	無銘	広島県廿日市市
201	一角焼   越智角一	特別飯島神社文共蓋清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 8.6×口径 6.5×底径 3.5×最大径 6.8		1	印刷銘「豊ヶ久」	広島県廿日市市
202	制作者不明	特別豊島風文清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 6.7×口径 6.7×底径 3.6		1	無銘	広島県
203	萩焼 (深川焼)   田原真・ 十代 田原高輔陶兵衛	萩焼清香茶碗	c.1930/昭和5年頃	高さ 6.1×口径 7.8×6.5×底径 3.8		1	印刷銘「陶兵衛」	山口県萩市
204	萩焼 (深川焼)   田原真・ 十代 田原高輔陶兵衛	形三島共蓋清香茶碗	c.1930/昭和5年頃	高さ 9.0×口径 7.2×底径 4.3×最大径 7.5		1	無銘、共箱	山口県萩市
205	萩焼   泉渡山真・吉賀大徳堂	萩焼清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 6.9×口径 7.2×底径 4.5		1	印刷銘「萩焼」、共箱	山口県萩市
206	萩焼 (深川焼)   十二代 坂倉新兵衛	萩焼清香茶碗	昭和20年代制作	高さ 7.1×口径 7.1×底径 3.9		1	印刷銘「新兵衛」	山口県萩市
207	玉仙焼   大井留三	白粉掛共蓋清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 9.1×口径 6.3×底径 4.5×最大径 6.5		1	無銘	山口県防府市
208	魏津焼   澤本道吉より入手	特別持文入り漆焼清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 7.4×口径 6.9×底径 4.2		1	印刷銘「小豆島」「魏津焼」 「祖島」	香川県小豆郡小豆島町
209	魏津焼   澤本道吉より入手	青磁字文案焼清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 7.7×口径 6.4×底径 3.5		1	印刷銘「小豆島」「魏津焼」	香川県小豆郡小豆島町
210	魏津焼   澤本道吉より入手	青磁文案焼清香茶碗	大正期-昭和前期	高さ 8.5×口径 6.3×底径 4.4		1	印刷銘「小豆島」「魏津」	香川県小豆郡小豆島町



211	墨島焼   四代末九代五代 三谷林泉	交趾陶彫刻平蓋文共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ8.8×口径6.6×底径3.9		1	印刷銘「墨島」	香川県高松市
212	理兵衛焼 (理平焼)   十一代 紀太理平	色絵老松文清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ6.8×口径6.9×底径3.6		1	印刷銘「理平」	香川県高松市
213	理兵衛焼 (理平焼)   十一代 紀太理平	色絵彫刻平蓋文共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ8.4×口径6.0×底径3.4×最大径6.4		1	印刷銘「理平」	香川県高松市
214	有明焼   志摩直	色絵七宝文清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ5.4×口径4.7×底径3.8		2	印刷銘あり	
215	二六焼   松松庵・二代 佐々木二六	彫刻山水文清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ7.1×口径7.1×7.5×底径4.1		1	印刷銘「二六」	愛媛県四国中央市
216	江山焼   横江山	色絵神社風景文清香茶碗	1912 - 1935 / 大正元 - 昭和10	高さ6.8×口径6.7×底径3.9		1	印刷銘「江山」	愛媛県伊予市
217	水月焼   好川龜	色絵彫刻屋敷文清香茶碗	大正10 - 昭和前期	高さ7.5×口径6.9×底径4.5		1	印刷銘「水月」	愛媛県松山市
218	砥部焼   工藤真・工藤市太郎	白釉共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ8.5×口径6.3×底径4.1×最大径7.3		1	無銘	愛媛県伊予郡砥部町
219	砥部焼   高田舟水	色絵墨絵付文清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ7.4×口径7.1×底径4.5		1	印刷銘「トヘ舟水」	愛媛県伊予郡砥部町
220	砥部焼   制作者不明	白磁細巻共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ8.7×口径6.4×底径3.3×最大径6.8		1	無銘	愛媛県伊予郡砥部町
221	尾戸焼   中百福太郎	色絵若松文清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ6.8×口径7.4×底径3.7		1	印刷銘「尾戸」	高知県高知市

<Section9> 九州・沖縄地方

No.	産地・窯号等	作品名	制作年代	寸法 (cm)	画像	数量	備考 (銘・付属資料ほか)	所在地
222	奥洋陶器株式会社 (現OTO株式会社)	色絵手絵文共蓋清香茶碗	大正9 - 昭和前期	高さ8.7×口径6.8×底径3.7×最大径7.2		1	色絵転写銘「東陶製」	福岡県北九州市小倉北区
223	高取焼   高取善五郎・藤島喜三郎	伊羅保胎清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ7.8×口径9.0×底径4.5		1	印刷銘「高」	福岡県福岡市早良区
224	上野焼   上野辰宗家共益本家・十四代 共益鶴峰	緑青釉清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ7.9×口径6.7×底径4.6		1	無銘、共箱	福岡県田川郡福智町
225	有田焼   松右衛門真・十二代 源井田松右衛門	色絵染付牡丹絵共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ9.5×口径7.6×底径5.3×最大径7.6		1	染付銘「松右衛門作」	佐賀県西松浦郡有田町
226	有田焼   松右衛門真・十二代 源井田松右衛門	赤絵染付牡丹絵共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ8.2×口径6.2×底径3.7×最大径6.7		1	染付銘「松右衛門作」、共箱	佐賀県西松浦郡有田町
227	有田焼   曹陽合名会社	染付色絵梅花文共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ8.3×口径6.3×底径3.5×最大径6.6		1	染付銘「蘭マーク」	佐賀県西松浦郡有田町
228	有田焼   河川製磁合資会社 (現株式会社河川製磁)	染付丸紋共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ10.6×口径8.7×底径5.6×最大径8.9		1	染付銘「富士山に波水マーク」	佐賀県西松浦郡有田町
229	有田焼   佐賀県窯業試験場 (現佐賀県窯業技術センター)	染付色絵梅花文共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ9.2×口径6.6×底径4.3×最大径6.8		1	無銘	佐賀県西松浦郡有田町
230	有田焼   制作者不明	色絵挿入罫図共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ8.7×口径6.5×底径3.9×最大径7.0		1	無銘	
231	鍋島焼用焼   市川光内	染付焼透松文共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ9.3×口径7.3×底径4.3×最大径7.4		1	染付銘「吉雲の紋」、共箱	佐賀県伊万里市
232	鍋島焼   鍋島青磁窯 三輝庵・山本雄平	七官青磁清香茶碗	昭和前期	高さ7.5×口径7.1×底径4.3		1	染付銘「鍋島七官青磁 三輝庵」	佐賀県伊万里市
233	鍋島焼   鍋島青磁窯 三輝庵・山本雄平	青磁共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ9.5×口径6.7×底径4.4×最大径7.2		1	染付銘「鍋島青磁 三輝庵」、共箱	佐賀県伊万里市
234	源六焼   三代 喜永源平	染付手草花文共蓋天婦湯清香茶碗	昭和前期	大: 高さ9.1×口径7.3×底径4.0×最大径7.4 小: 高さ7.7×口径6.3×底径3.7×最大径6.6		2	染付銘「トヨマーク(トミマーク)」	佐賀県藤野市
235	真牟田焼   丸田真馬	黒釉柳目清香茶碗	昭和前期	高さ7.8×口径6.8×底径4.6		1	無銘	佐賀県武雄市
236	白石焼か?   岡野六	螺込湯茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ6.0×口径5.5×底径3.6		1	無銘	佐賀県三養基郡みやき町
237	唐津焼   制作者不明	鉄釉清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ7.3×口径7.8×底径4.7		1	無銘	佐賀県
238	唐津焼   中野真・二代 中野寛林	鉄釉松海淵共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ8.3×口径6.6×底径4.6×最大径6.6		1	無銘、共箱	佐賀県唐津市
239	唐津焼   中野真・二代 中野寛林	黒切餅分共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ8.4×口径6.6×底径4.4×最大径7.0		1	無銘、共箱	佐賀県唐津市
240	唐津焼   中野真・二代 中野寛林	三鳥手共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ8.0×口径7.2×底径4.6×最大径7.8		1	無銘	佐賀県唐津市
241	唐津焼   中野真・二代 中野寛林	蛇鱗釉清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ9.2×口径7.0×底径5.2		1	無銘	佐賀県唐津市
242	三川内焼   喜祥真・二代 口石貞一	染付唐子釉共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ10.9×口径7.8×底径4.7×最大径8.2		1	染付銘「三川内 喜祥」	長崎県佐世保市
243	波佐良焼   幸山陶苑・福原武次郎	染付イッチン双鶴文共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ10.0×口径6.9×底径4.0×最大径7.6		1	染付銘「幸山」	長崎県佐賀県佐賀市
244	長崎焼 (愛宕焼)   中辰仁市	鉄釉清香茶碗	昭和前期	高さ6.7×口径7.6×底径4.6		1	刻銘「仁」	長崎県長崎市
245	長崎焼 (愛宕焼)   中辰仁市	色絵彫刻和室絵共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ9.2×口径6.5×底径4.4×最大径7.4		1	印刷銘「仁左衛門」	長崎県長崎市
246	山梨焼 (靉石焼)   馬淵龍石	彫刻山水図景湯清香茶碗	1912 - 1935 / 大正元 - 昭和10	高さ8.0×口径8.0×底径5.0		1	刻銘「龍石」	長崎県長崎市

247	曹仕焼   石川清峯	灰付竹園清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 8.7 × 口径 6.8 × 底径 3.6		1	印刷銘「曹仙」	長崎県島田市
248	水の平焼   五代 百野浮太郎	赤海苔梅共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 9.0 × 口径 6.5 × 底径 3.9 × 最大径 7.0		1	印刷銘「水平」	熊本県天草市
249	高田焼   九代 上野徳三	象嵌桜花文共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 9.4 × 口径 7.3 × 底径 5.3 × 最大径 7.5		1	印刷銘「高田」	熊本県八代市
250	高田焼   九代 上野徳三	象嵌桜花文清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 6.9 × 口径 6.5 × 底径 4.7		1	印刷銘「高田」	熊本県八代市
251	小代焼   近藤治太郎	白灰し清香茶碗	c.1941 / 昭和16年頃	高さ 6.6 × 口径 6.9 × 底径 4.7		1	印刷銘「小代」	熊本県熊本市
252	鶴城焼   鶴城陶園・神尾賢堂	灰釉天持清香茶碗	大正期 - 昭和前期	大: 高さ 6.8 × 口径 6.6 × 底径 4.0 小: 高さ 5.8 × 口径 6.5 × 底径 3.5		2	印刷銘「鶴城」	熊本県宇土市
253	又六焼   今井造	白釉美濃清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 5.4 × 口径 6.8 × 底径 3.9		1	無銘	大分県別府市
254	野馬深焼   吉村松月庵・初代 吉村左楽 二代 吉村青山	灰釉野馬深風簀貼付文清香茶碗	1918 - 1937 / 大正7 - 昭和12	高さ 6.7 × 口径 6.7 × 底径 3.7 × 3.7		1	印刷銘「野馬」	大分県中津市
255	野馬深焼   吉村松月庵・初代 吉村左楽 二代 吉村青山	鉄線梅掛分野馬深百年記念清香茶碗	1918 - 1937 / 大正7 - 昭和12	高さ 7.1 × 口径 6.2 × 底径 4.0		1	印刷銘「野馬」	大分県中津市
256	小鹿田焼   制作者不明	灰釉清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 8.1 × 口径 8.4 × 底径 4.7		1	無銘	大分県日田市
257	小鹿田焼   制作者不明	薄緑釉灰釉清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 7.1 × 口径 7.5 × 底径 4.3		1	無銘	大分県日田市
258	小鹿田焼   黒木清吉	黒釉清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 7.8 × 口径 7.1 × 底径 4.4		1	無銘	大分県日田市
259	龍門司焼   川原次郎太	黒釉清香茶碗	1912 - 1945 / 大正元 - 昭和20	高さ 6.7 × 口径 6.5 × 底径 3.9		1	無銘	鹿児島県姶良市
260	長太郎焼   有山長太郎	鉄釉共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 9.6 × 口径 6.5 × 底径 3.6 × 最大径 7.2		1	印刷銘「長太郎」	鹿児島県鹿児島市
261	長太郎焼   有山長太郎	鉄釉共蓋清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 6.7 × 口径 8.2 × 底径 3.4 × 最大径 8.6		1	印刷銘「長太郎」	鹿児島県鹿児島市
262	野野焼   慶田製陶所・慶田恭輔	色絵金彩秋葉文共蓋清香茶碗	昭和前期	高さ 9.0 × 口径 7.5 × 底径 4.2 × 最大径 7.5		1	色絵銘「種彦 慶田(花押)」	鹿児島県鹿児島市
263	野野焼   市来陶器製造所・市来英吉	色絵金彩秋葉文共蓋清香茶碗	1927 - 1943 / 昭和2 - 昭和18	高さ 9.3 × 口径 6.4 × 底径 4.0 × 最大径 7.1		1	無銘	鹿児島県鹿児島市
264	曹屋焼   制作者不明	灰付鉄絵唐草文清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 6.6 × 口径 6.4 × 底径 3.8		1	無銘	沖縄県那覇市
265	琉球焼 (おそろく曹屋焼)   制作者不明	灰付鉄絵椰子木文清香茶碗	大正期 - 昭和前期	高さ 8.1 × 口径 7.4 × 底径 4.1		1	無銘、ラベル「琉球焼」	沖縄県

<その他資料>

No.	作者	資料名	制作年代	寸法 (cm)	画像	数量	備考 (銘・付属資料ほか)	所有者
資料 1		名物票	昭和前期	縦21.0 × 横17.0		8	西園賞 / 山陽道賞 / 京都賞 / 武河賞 / 奈良・松山・三浦 / 東海賞 / 北陸道賞 / 徳島・朝鮮・琉球・九州・東京方面	株式会社 山屋屋
資料 2		菓子商標集	昭和前期	縦31.0 × 横23.0		1		株式会社 山屋屋
資料 3	大野秀次郎 (編)	名物行厨	1931 / 昭和6	縦28.5 × 横21.0		3	第一 (96項) 東海・近畿・山陽・九州 第二 (94項) 北陸・中央・中四国等 その他 バラ (126枚)	株式会社 山屋屋
資料 4		名物菓子・菓子商標貼込帳	昭和前期	縦31.0 × 横23.0		1		株式会社 山屋屋
資料 5	一般社団法人 鹿児島茶業会連所	近江茶解錠パネル		B1 (72.8 × 103.0)		7	近江茶の美味しい淹れ方・お茶が出来るまで・近江の茶の歴史・お茶の種類・数字で見る鹿児島のお茶・鹿児島のお茶の産地	一般社団法人 鹿児島茶業会連所
資料 6	一般社団法人 鹿児島茶業会連所	近江茶解錠動画映像		5分41秒		1		一般社団法人 鹿児島茶業会連所
資料 7	信楽 高元敬策翁Wa。(空六郎・小川頼三陶師・直久郎陶師・みはる寛・ますみ寛・松庄・なか工兵衛・谷寛真・英山寛)	自然釉高蓋清香・信楽茶葉手湯清香茶碗・藍色花絵清香・備前清香・球形清香・切立清香・金船口方清香・炒のみ・方門湯清香碗 (銘 杖頼)				9		空六郎・小川頼三陶師・直久郎陶師・みはる寛・ますみ寛・松庄・なか工兵衛・谷寛真・英山寛
資料 8	信楽 高元敬策翁Wa。	高元敬策翁紹介動画映像		6分38秒		1		

■アンケート集計結果 「特別企画展『湯呑茶碗－日本人がこよなく愛したやきもの』」

入館者数	5, 981人(1日平均65人)		
会期	2023(令和5)年3月11日(土)－6月25日(日) 92日間		
回答者数	148人		
回答率	2%		
年代	10歳未満	17人	11.5%
	10代・20代	39人	26.3%
	30代・40代	22人	14.9%
	50代・60代	49人	33.1%
	70代以上	21人	14.2%
	未回答	0人	0%
住所	滋賀	67人	46%
	京阪神	37人	25%
	奈良・和歌山	7人	5%
	東海	22人	15%
	北陸	2人	2%
	首都圏	2人	2%
	関東・甲信越	2人	2%
	中国・四国	1人	0.5%
	九州・沖縄	1人	0.5%
	海外	2人	2%
展覧会評価	大変満足	60人	41.1%
	満足	63人	43.2%
	普通	21人	14.4%
	やや不満	0人	0%
	不満	1人	0.7%
	無回答	1人	0.7%
再来館	思う	126人	86.3%
	思わない	11人	7.5%
	無回答	9人	6.2%
目的 (複数回答あり)	陶芸の森の展覧会	69人	41.6%
	イベント	10人	6.0%
	作陶体験	6人	3.6%
	陶器の購入	11人	6.6%
	小旅行(ドライブ)	37人	22.3%
	MIHO MUSEUM	1人	0.6%
	学校行事	4人	2.4%
	その他	24人	14.5%
	無回答	4人	2.4%

## “大衆にじかにぶつかる芸術を”

### 特別展 岡本太郎 アートの夢 ～陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形

#### ■趣 旨

岡本太郎（1911-1996）は自身の創作について、「一般大衆にじかにぶつかる、社会に開かれた芸術を実現したい」と記しています。1952年に陶壁を手掛けた岡本は、芸術が人々の身近にあることの大切さを述べています。《犬の植木鉢》で量産を試み、信楽で手掛けた《坐ることを拒否する椅子》では、人と直に触れ合うアートの在り方を探っています。

戦後復興期からは建築家・デザイナー・芸術家により建築陶器は、人とアートとの結びつきを強めていきました。岡本太郎が信楽で手掛けた大阪万博の《太陽の塔》〈黒い太陽〉は、多くの人々の記憶に刻まれています。こうした陶産地と岡本太郎の出会いのなかで育まれた技術は、大塚オーミ陶業株式会社の美術陶板などの仕事に継承されています。

また、岡本太郎は「彫刻はより肉体的であり直接的で実体がそこにあるモノの強さを持つ」とも記しています。アニメ・マンガのキャラクター造形は21世紀の大衆が求めたアートのひとつといえるでしょう。デジタル技術の進歩で、クリエイターの世界観を再現した高精度なフィギュアが生まれています。

本展では〈芸術の大衆化〉をテーマに、近代の建築の装飾陶器、パブリックアートや量産品のデザインを手掛けた岡本太郎らの作品を紹介。またフィギュア造形の世界や壁画の可能性を併せて取り上げつつ、岡本太郎のアートの夢、21世紀アートの息吹を紹介しました。

#### ■内 容

##### 展示構成

【序 章】近代建築と装飾陶器－建築と現代アートの原流 [明治-昭和前期]

【シーン1】建築と現代アートの融合 (1960年代～現代)

【シーン2】岡本太郎が目指したアートの大衆化

【シーン3】21世紀のフィギュアの世界－新しいアートの息吹

石崎紗央里／植田明志／榎本ともひで／大山竜／大島雅人／九千房政光／さと／竹内しんぜん／塚田貴士／藤本圭紀／真辺菜月／吉沢光正／ゆま

【シーン4】川田知志「太郎の色と形×パブリック」

(パート2の陶芸館ギャラリー展示)

■会 期 パート1 2023(令和5)年7月15日(土)～9月24日(日)

パート2 2023(令和5)年9月30日(土)～12月17日(日)

■主 催 滋賀県立陶芸の森

■後 援 滋賀県教育委員会、甲賀市、NHK大津放送局、京都新聞

■協 力 大塚オーミ陶業株式会社、信楽窯業技術試験場、京セラ株式会社、株式会社カプコン、株式会社ニトロプラス、株式会社グッドスマイルカンパニー、株式会社SUM ART、株式会社フレア、株式会社SO-TA、

株式会社海洋堂、株式会社石森プロ、株式会社 KADOKAWA

- 企画協力 GILLGILL (株式会社ディープケース)、ほっぺふき子  
■観覧料 一般 700 円 (560 円)、高大生 530 円 (420 円)  
\* ( ) 内 20 名以上の団体料金中学生以下無料  
■入場者数 21,129 人 (一日平均 163 人)  
\* 8 月 15 日台風のため臨時休館 130 日間→129 日間

■関連企画

(1) フィギュアの原型師 (出品作家) らによるカプセルトイ企画

「手のひらガレージキット」が実現!

人気の原型師たちのフィギュアのガレージキットがカプセルトイで!

〔実績〕13 作家/14 件×50 個=700 個入荷し、682 個販売。

(2) 対話の森 大山竜 (原型師) × 館長 松井利夫

テーマ: 「大衆にじかにぶつかつ芸術」 21 世紀フィギュア造形を語る」

〔日時〕10 月 8 日 (日) 14 時-15 時 30 分

〔会場〕信楽産業展示館信楽ホール

〔参加者数〕40 人 / 終了後、大山氏のサイン会・記念撮影。

(3) 夏休み子ども特別講座

① たぬきの花入れをつくろう!

〔日程〕7 月 29 日 (土) 〔講師〕岡田 勲 〔参加者〕9 人

② クリスマスツリーランプシェードをつくろう!

〔日程〕7 月 30 日 (日) 〔講師〕灘 さとみ 〔参加者〕31 人

③ どうぶつの宝物入れをつくろう!

〔日程〕8 月 5 日 (土) 〔講師〕津守 愛香 〔参加者〕31 人

④ マイキャラクターをつくろう!

〔日程〕8 月 6 日 (日) 〔講師〕橘 功一郎 〔参加者〕27 人

〔場所〕滋賀県立陶芸の森 信楽産業展示館 創作スペース

(4) ギャラリートーク

〔日時〕8 月 20 日 (日) 13:30~15:00 〔参加者〕30 人

10 月 15 日 (日) 13:30~15:00 〔参加者〕20 人

11 月 19 日 (日) 13:30~15:00 〔参加者〕20 人

(5) 大塚オーミのショールーム見学会!

~ 岡本太郎が憧れた「ピカソ」の世界に出会う ~

岡本太郎と協同でパブリックアートを多く手掛けていた、本展出品社「大塚オーミ陶業株式会社」との協力で、観覧後に同社のショールームを見学し、様々な作品に実際に触れながら、信楽の窯業技術を直に感じていただいた。

〔申込条件〕本展入場券の半券を当日持参すること 〔参加料〕無料

〔参加人数〕各回 10 人 ※応募者多数の場合は抽選。

① 8 月 31 日 (木) 〔参加者〕12 人 / ② 11 月 10 日 (金) 〔参加者〕13 人

② 12 月 8 日 (金): 好評により追加開催 〔参加者〕13 人

〔時間〕陶芸館解説から参加は13時～／

大塚オーミ懶の見学のみ参加14:30～30分程度

(6)パート2の【シーン4】川田知志「太郎の色とカタチ×パブリック」展

関連ワークショップ「カタチに描くフレスコ画」

上記の出展にあわせてフレスコ画について体験できる講座を実施。

当館の特性を生かして、素焼きした様々なやきものにフレスコ画で好きな絵を描く企画。

〔日時〕11月25日(土)10:30～14:30 / 〔講師〕川田知志

〔場所〕滋賀県立陶芸の森 信楽産業展示館 創作スペース〔参加者〕15人

〔参加料〕3,500円 ※後日、報告動画を制作し当館SNS・YouTubeに配信

(7)陶芸館3Dデジタルアーカイブに出品作品2点のVR映像を追加、展示室で紹介

(8)SNS(インスタグラム、X)有料広告を初めて取り組み、今までと違う各層(フィギュア、壁画)を含めて若い世代をターゲットにし、幅広く周知しました。

■掲載記事・紹介番組等

(1) テレビ 朝日放送／BBCびわ湖放送／NHK大津／アイコム甲賀

(2) 新聞関係 (抜粋)

7月21日(金) 中日新聞 滋賀版「太陽の塔制作当時を知る佐藤さんに聞く」

9月27日(金) 中日新聞 滋賀版「岡本太郎作品を解釈 円形壁画に」

10月4日(水) 読売新聞 滋賀版「岡本太郎と信楽の縁」

10月26日(木) 滋賀報知新聞「大衆に向けたアートの世界」

12月2日(土) 毎日新聞 イベント情報欄「岡本太郎 アートの夢展」

12月9日(土) 毎日新聞 「身近な「岡本太郎」イズム」

(3) 雑誌

6月1日(土) 月刊ホビージャパン

8月1日(火) 滋賀プラスワン夏号

11月1日(水) 滋賀プラスワン秋号

8月1日(火) 湖国文化情報れいかる9・10月号

4月25日(火) 甲賀フリモ5月号・8月号

4月25日(火)・8月1日(火) 湖南フリモ, 栗東版5月号 8月号

9月1日(日) JR西日本機関紙「京阪神の近くて、いい旅電車&ウォーク」

9月25日(月) 地域創造レター10月号

10月、11月1日(金) Leaf 10・11月号「京都の郊外へ」

(4) インターネット SNS 等

信楽町観光協会 ほっとする信楽 岡本太郎と信楽展／日本六古窯公式サイト

旅する、千年、六古窯 お知らせ Topic & Event／読売新聞 美術展ナビ Art

Exhibition JAPAN／株式会社JDN デザイン情報サイトJDN イベント情報／

@Press／Tokyo art beat 展覧会・イベント情報／Share Art／滋賀プラスワン

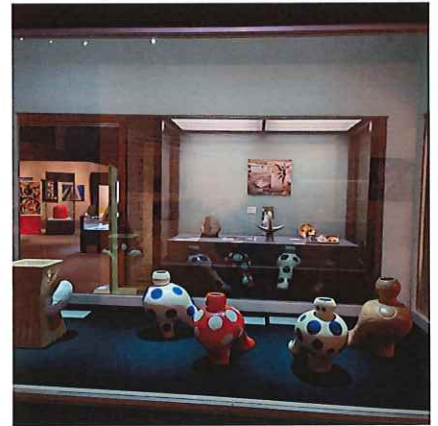
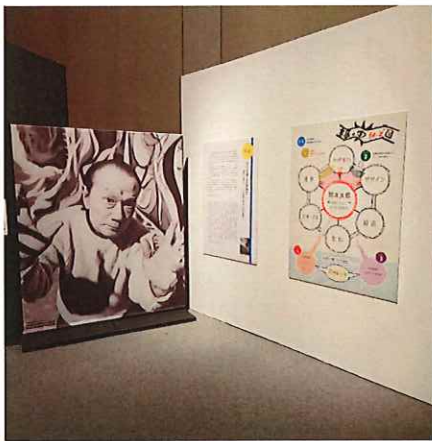
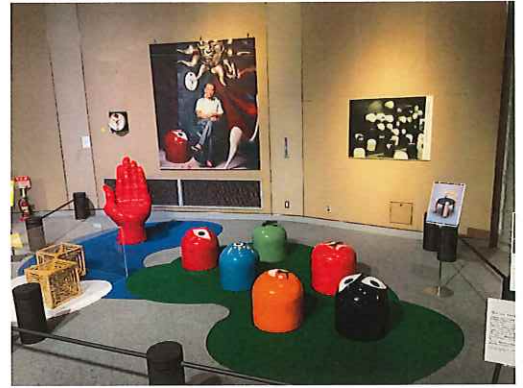
web【うおーたんの行ってみたやってみた】／anibu news /internet museum IM

／滋賀トコ /個展ナビ／Walker Plus／彦根キャッスル リゾート&スパ／

NHK 滋賀ニュースウェブ

(5) ミュージアムショップ

関連企画でも、フィギュアの出品者や GILL GILL 企画により、ガチャガチャのガレージキッドを制作いただき、フィギュアのファン層のみならず一般のガチャガチャファンをくすぐる企画であった。



■ 作品リスト (別紙)

■ アンケート集計結果 (別紙)

「岡本太郎 アートの夢—陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」出品作品リスト

会場：滋賀県立陶芸の森陶芸館 会期：Part 1 2023.7.15～9.24 / Part 2 9.30～12.17

No.	作家	Artist	作品名	製作会社・原作者等	サイズ(cm) H=高さ、L=縦・長さ、W=幅、D=奥行、T=厚み、φ=直径	仕様ソフト と素材	制作年	所蔵	出版社 クレジット・コピー ライト等
序章 近代建築と装飾陶器のはじまり									
1	旭焼	Asahi Ware (Gottfried Wagener)	釉下彩陶板「流水に萩と千鳥二羽」		L76.5×W15.1×T0.7	陶器	1890-1896 / 明治23-29	滋賀県立陶芸の森陶芸館蔵	
2	京都市陶磁器試験場	The Research Institute for Ceramics, Kyoto	金彩牡丹文陶板		L15.7×W15.8×T1.7	陶器	c.1918 / 大正7年頃	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場蔵	
3	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	葡萄文浮彫旭焼絵具試作陶板		L16.2×W16.2×T2.5	陶器	1921-1930 / 大正10-昭和5	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場蔵	
4	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	薄肉葡萄紋タイル		L15.0×W15.0×T1.0	陶器	1924 / 大正13	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場蔵	
5	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	金彩花紋タイル		L18.8×W16.0×T1.8	陶器	1926 / 大正15	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場蔵	1926年 フィラデルフィア万国博覧会出品
6	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	獅子頭形噴水口		H22.0×W21.0×D39.5	陶器	c.1926 / 大正15年頃	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場蔵	
7	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	浮彫花紋装飾タイル		L・W27×奥3	陶器	c.1926 / 大正15年頃	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場蔵	
8	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	装飾電灯台		H100.3×W35.0×D35.0	陶器	1926 / 大正15	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場蔵	1926年 フィラデルフィア万国博覧会出品
9	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	秋父宮邸陶器製装飾電燈台		H245.0×W30.3×D26.0	陶器	1927 / 昭和2	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場蔵	
10	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	伊羅保釉浮彫床タイル		L47.0×W47.0×T2.8 1枚=23.5×23.5×2.8	陶器	1928 / 昭和3	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場蔵	
11	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	伊羅保釉獣面装飾（陶磁器試験所本館玄関）		L34.2×W33.5×T23.0	陶器	1928 / 昭和3	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場蔵	
参考資料	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	入口額縁	『陶磁器試験所報告第六号附図』		写真	1928 / 昭和3発行		©国立研究開発法人産業技術総合研究所
12	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	透かし花紋タイル（色釉・伊羅保釉）		L16.3×W16.3×T3.0	陶器	c.1929 / 昭和4年頃	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場蔵	
13	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	浮彫藤と松図タイル		L62.0×W137.3×T3.2 (1枚：20.0×15.0×1.8)	陶器	c.1929 / 昭和4年頃	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場蔵	
参考資料	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	電熱暖炉及び陶額	『陶磁器試験所報告第七号附図』		写真	1929 / 昭和4発行		©国立研究開発法人産業技術総合研究所



No.	作家	Artist	作品名	製作会社・原作者等	サイズ(cm) H=高さ、L=縦・長さ、W=幅、D=奥行、T=厚み、φ=直径	仕様ソフトと素材	制作年	所蔵	出版社 クレジット・コピー ライト等
パート2 より展 示	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	浮彫雌雄鳥歩行図タイル		L72.5×W144.5×T5.7	陶器	1921-1930 ／大正10- 昭和5	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	
参考 資料	滋賀県立窯業 試験場	Shiga Ceramics Research Institute	向日葵図装飾タイル		L90.0×W36.0	写真	1929／昭 和4	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	
14	滋賀県立窯業 試験場	Shiga Ceramics Research Institute	陶製照明器		H37.0×19.8×19.4	陶器	1929-1940 ／昭和4- 15	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	
15	滋賀県立窯業 試験場	Shiga Ceramics Research Institute	陶製照明器		H45.5×21.7×21.7	陶器	1930／昭 和5	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	
16	滋賀県立窯業 試験場	Shiga Ceramics Research Institute	門燈		H26.4×φ30.0	陶器	c.1932／昭 和7年頃	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	
17	滋賀県立窯業 試験場	Shiga Ceramics Research Institute	鹿頭形噴水口	原型 川島雄三	L33.0×W27.5×T34.5	陶器	1937-1940 ／昭和12- 15	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	
	滋賀県立窯業 試験場	Shiga Ceramics Research Institute	熊頭形噴水口	原型 川島雄三	L27.5×W27.0×T27.5	陶器	1937-1940 ／昭和12- 16	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	
	滋賀県立窯業 試験場	Shiga Ceramics Research Institute	猪頭形噴水口	原型 川島雄三	L27.0×W26.8×T31.0	陶器	1937-1940 ／昭和12- 17	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	
18	滋賀県立窯業 試験場	Shiga Ceramics Research Institute	兎 置物	原型 川島雄三	H11.4×W34.7×D13.1	陶器	1938／昭 和13	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	第6回貿易局輸 出工芸展覧会 出品
19	滋賀県立窯業 試験場（指 導）	Shiga Ceramics Research Institute	陶製床下通風窓	製作 信楽系取鍋合 名会社	L17.0×W28.2×T3.0	陶器	1938／昭 和13	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	
20	滋賀県立窯業 試験場（指 導）	Shiga Ceramics Research Institute	滋賀県庁（本館） アカンサス紋レリーフタイル	製作 信楽系取鍋合 名会社	L122.0×W60.0×T5.0	陶器	1939／昭 和14	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	
参考 資料	滋賀県立窯業 試験場	Shiga Ceramics Research Institute	獅子 置物	原型 川島雄三	左：H21.0×W18.5× D11.0	写真	1939／昭 和14	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	滋賀県庁竣工 記念品
21	滋賀県立窯業 試験場	Shiga Ceramics Research Institute	近江神宮造営記念陶板		H10×W13	陶器	1939／昭 和14	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	
22	滋賀県立窯業 試験場	Shiga Ceramics Research Institute	陶製銘板「紀元二千六百年」		L16.8×W45.1×T2.7	陶器	1940／昭 和15	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	

No.	作家	Artist	作品名	製作会社・原作者等	サイズ(cm) H=高さ、L=縦・長さ、W=幅、D=奥行、T=厚み、φ=直径	仕様ソフト と素材	制作年	所蔵	出版社 クレジット・コピー ライト等
シーン1 建築と現代アートの融合									
23	行動美術協会 彫刻部 近江化学陶器 株式会社	KOHDO BIJUTSU Oumikagakuto uki, Incorporated	旧朝日フェスティバルホール 旧「牧神（鳥）」（部分）		H70×W160×D35	コンクリート、陶器(青 釉)	1958年制 作/2008年 解体	大塚オ-ミ陶業 株式会社蔵	
参考 資料	大塚オ-ミ陶業 株式会社	Otsuka Ohmi Ceramics Co., Ltd.	国会議事堂中央塔屋 テラコッタ改修			写真	1989 撮影年 度：2022 年	写真提供：大 塚オ-ミ陶業株 式会社	
参考 資料			国会議事堂中央屋根			写真	撮影年 度：2022 年	写真提供：大 塚オ-ミ陶業株 式会社	
参考 資料			国会議事堂中央屋根 改修工事風景			写真	1987年撮 影	写真提供：大 塚オ-ミ陶業株 式会社	
参考 資料			国会議事堂中央屋根 改修工事風景			写真	1988年撮 影	写真提供：大 塚オ-ミ陶業株 式会社	
参考 資料			国会議事堂中央屋根 改修工事風景			写真	1988年撮 影	写真提供：大 塚オ-ミ陶業株 式会社	
参考 資料			国会議事堂中央屋根 ピース			写真	1989年	写真提供：大 塚オ-ミ陶業株 式会社	
参考 資料			国会議事堂中央屋根			写真	1989年改 修完了/ 撮影	写真提供：大 塚オ-ミ陶業株 式会社	
参考 資料			国会議事堂中央屋根			写真	1989年改 修完了/ 撮影	写真提供：大 塚オ-ミ陶業株 式会社	
24	大塚オ-ミ陶業 株式会社	Otsuka Ohmi Ceramics Co., Ltd.	中之島フェスティバルタワ ー 牧神、音楽を楽しむの図 1/5スケッチ（鳥）		作品寸法：110×100 額外寸法：134× 124.5	陶器(青釉)	2012年	大塚オ-ミ陶業 株式会社蔵	
	大塚オ-ミ陶業 株式会社	Otsuka Ohmi Ceramics Co., Ltd.	中之島フェスティバルタワ ー 牧神、音楽を楽しむの図 1/5スケッチ（鳥/焼き締め）		作品寸法：110×100 額外寸法：134× 124.5	陶器(焼き締め)	2012年	大塚オ-ミ陶業 株式会社蔵	
25	岡本太郎（デザ イン）	OKAMOTO, Taro	坐ることを拒否する椅子	製作 近江化学陶器 株式会社	H46×φ46	陶器	1964年頃	大小屋蔵	
パート2 より展 示	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	日の壁・原画		(134.0×94.0)	写真 (油彩・キャンバス)	1956	写真提供：岡 本太郎記念館	© 岡本太郎現 代芸術振興財 団
参考 資料	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	都庁舎に設置された陶板レリ ーフ壁画			写真	1956	写真提供：川 崎市岡本太郎 美術館	©岡本太郎記念 現代芸術振興 財団
参考 資料	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	都庁舎陶板レリーフ壁画《日 の壁》の制作現場の丹下健 三、岡本太郎			写真	1956	写真提供：川 崎市岡本太郎 美術館	©岡本太郎記念 現代芸術振興 財団
参考 資料	岡本太郎（デザ イン）	OKAMOTO, Taro	陶板レリーフ壁画「眼」	製作 近江化学陶器 株式会社		写真	1964	独立行政法人 日本スポーツ振 興センター 国立代々木競 技場	©岡本太郎記念 現代芸術振興 財団

No.	作家	Artist	作品名	製作会社・原作者等	サイズ(cm) H=高さ、L=縦・長さ、W=横、D=奥行、T=厚み、φ=直径	仕様ソフトと素材	制作年	所蔵	出版社 クレジット・コピー ライト等
参考資料	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	陶板レリーフ壁画「走る」	製作 近江化学陶器株式会社		写真	1964	独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立代々木競技場	©岡本太郎記念現代芸術振興財団
参考資料	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	陶板レリーフ壁画「足」	製作 近江化学陶器株式会社		写真	1964	独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立代々木競技場	©岡本太郎記念現代芸術振興財団
参考資料	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	東京オリンピック国立屋内競技場(現 国立代々木競技場)陶板レリーフ壁画「走る」を制作中の岡本太郎	信楽小学校講堂にて		写真	1964	写真提供: 笹山忠保	©岡本太郎記念現代芸術振興財団
参考資料			近江化学陶器長野工場、東京オリンピック国立屋内競技場レリーフ制作対策本部前で	前列左から、奥田繁夫、岡本太郎、奥田孝。後列左から、小嶋太郎、大谷無限、川崎千足、笹山忠保、岡本敏子		写真	1964年7月頃	写真提供: 笹山忠保	©岡本太郎記念現代芸術振興財団
26	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	東京オリンピック記念レリーフ(裏面サイン入り)	製作 近江化学陶器株式会社	φ26×D3.5	陶器	1964年頃	個人蔵	
パート2より展示	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	東京オリンピック記念レリーフ(裏面サイン入り)	製作 近江化学陶器株式会社	φ26×D3.5	陶器	1964年頃	大小屋蔵	
27	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	太陽の塔 レプリカ		H40×W40×D11.5	金属と陶器	1970年頃	個人蔵	
参考資料	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	人類の広場	製作 近江化学陶器株式会社		写真	1970	写真提供: 日本万博記念公園	©岡本太郎記念現代芸術振興財団
参考資料			「黒い太陽」仮セッティング 近江化学陶器 裏庭			写真	1970	写真提供: 奥田博士	©岡本太郎記念現代芸術振興財団
参考資料	岡本太郎 (原画)	OKAMOTO, Taro	陶板レリーフ壁画「躍進」	製作 近江化学陶器株式会社		写真	1972	RSK山陽放送株式会社	
28	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	陶板レリーフ壁画「躍進」マケット	製作 近江化学陶器株式会社	H76.5×W164×D5	FRP、絵の具か	1972	個人蔵	
29	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	陶板レリーフ		W18×D13.7×H2.5	陶器	1972年頃	大小屋蔵	
参考資料	岡本太郎 (原画)	OKAMOTO, Taro	大塚製薬株式会社ハイゼットタワー「いのち躍る」	製作 大塚オーミ陶業株式会社		写真	1982	写真提供: 大塚オーミ陶業株式会社	写真: 杉本賢正
参考資料	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	「いのち躍る」原画			写真	1982年制作	写真提供: 大塚オーミ陶業株式会社	
参考資料			「いのち躍る」検品風景			写真	1982	写真提供: 大塚オーミ陶業株式会社	
参考資料			「いのち躍る」検品風景			写真	1982	写真提供: 大塚オーミ陶業株式会社	
参考資料			「いのち躍る」検品風景 岡本太郎による検品			写真	1982	写真提供: 大塚オーミ陶業株式会社	
参考資料			大塚オーミ陶業株式会社で制作中の岡本太郎			写真	1982	写真提供: 大塚オーミ陶業株式会社	
パート2より展示	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	みつめあう愛	製作 株式会社陶光庵	103×145.6	写真	1990	株式会社ガスキン蔵	©岡本太郎記念現代芸術振興財団

No.	作家	Artist	作品名	製作会社・原作者等	サイズ(cm) H=高さ、L=段・長さ、W=幅、D=奥行、T=厚み、φ=直径	仕様ソフトと素材	制作年	所蔵	出版社 クレジット・コピーライ ト等
30	横尾忠則	YOKOO, Tadanori	EDO to MEIJI 1868-1911	製作 大塚オ-ミ陶業 株式会社	240×240	陶板	1985年	大塚オ-ミ陶業 株式会社蔵+作 家蔵	
31	横尾忠則	YOKOO, Tadanori	EDO PERIOD 1603-1868	製作 大塚オ-ミ陶業 株式会社	240×240	陶板	1986年	大塚オ-ミ陶業 株式会社蔵+作 家蔵	
パート1 のみ展 示	熊倉順吉 (デザ イン)、滋賀県 立信楽窯業試 験場 (指導)	KUMAKURA, Junkichi / Shiga Ceramics Research Institute	陶壁(和)	製作 近江化学陶器 株式会社	L91.5×W29.0×T7.0	陶器	1969	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	日本万国博覧 会迎賓館
参考 資料	熊倉順吉 (デザ イン)	KUMAKURA, Junkichi	陶壁	製作 滋賀県立信楽 窯業試験場		写真	1967	滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	
参考 資料	熊倉順吉 (デザ イン)	KUMAKURA, Junkichi	陶壁	製作 滋賀タイル株 式会社		写真	1973	信楽カントリー倶 楽部 杉山コース	
参考 資料	熊倉順吉 (デザ イン)	KUMAKURA, Junkichi	陶壁	製作 滋賀タイル株 式会社		写真	1976	滋賀カントリー倶 楽部	
参考 資料	熊倉順吉 (デザ イン)	KUMAKURA, Junkichi	陶壁「古代の微風」	製作 滋賀タイル株 式会社		写真	1981	信楽カントリー倶 楽部 田代コース・ 高原ホテル	
参考 資料	熊倉順吉 (デザ イン)	KUMAKURA, Junkichi	陶壁	製作 壺新		写真	1982	旧 滋賀県立成 人病センター	
参考 資料	壺新・吉本敏彦	TSUBOSHIN / YOSHIMOTO, Toshihiko	陶壁「現代の住・労・楽」			写真	1986	守山市民文 化会館守山 市民ホール/滋賀	

No.	作家	Artist	作品名	製作会社・原作者等	サイズ(cm) H=高さ、L=縦・長さ、W=幅、D=奥行、T=厚み、φ=直径	仕様ソフト と素材	制作年	所蔵	出版社 クレジット・コピー ライト等
シーン2 岡本太郎が目指したアートの大衆化									
参考資料	岡本太郎 (撮影)	OKAMOTO, Taro	陶器の村 メテペック (メキシコ)			写真	1967	写真提供：川崎市岡本太郎美術館	
33	メキシコ メテペック	Metepac, Estado de México, México	《太陽の顔》			土器	1990年購入	公益財団法人滋賀県陶芸の森蔵	
34	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	犬の植木鉢	伊奈製陶にて制作		陶器	1954	滋賀県立陶芸の森陶芸館蔵	
35	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	犬の植木鉢	日本陶管株式会社にて制作	H35×W47×D13	陶器	1956	個人蔵	
36	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	犬の植木鉢	日本陶管株式会社にて制作	H25×W35	陶器	1956	愛知県刈谷市立刈谷南中学校蔵	
参考資料	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	犬の植木鉢と岡本太郎		W270×H150	写真	1955.7.15	写真提供：川崎市岡本太郎美術館	
参考資料	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	伊奈製陶にて「犬の植木鉢」を制作する岡本太郎			写真	1954.11.19	写真提供：川崎市岡本太郎美術館	
37	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	むすめ	製作 近江化学陶器株式会社	H28×W24×D18	陶器	1960年代中頃	大小屋蔵	
	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	むすめ	製作 近江化学陶器株式会社	H29×W26×D26	陶器	1960年代中頃	滋賀県立陶芸の森陶芸館(寄託)	
38	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	歩み	製作 近江化学陶器株式会社	H24×W14×D30	陶器	1964-70年頃	大小屋蔵	
	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	歩み	製作 近江化学陶器株式会社	H24×W14×D30	陶器	1964-70年頃	大小屋蔵	
	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	歩み	製作 近江化学陶器株式会社	H24×W14×D30	陶器	1964-70年頃	個人蔵	
	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	歩み	製作 株式会社陶光菴	H27×W30×D16	陶器	1990年頃	株式会社陶光菴蔵	
39	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	太郎のプランター	製作 株式会社陶光菴	H52×W52×D45	陶器	2002-03	株式会社陶光菴蔵	
	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	太郎のプランター	製作 株式会社陶光菴	φ17×H30	陶器	1990年頃	株式会社陶光菴蔵	
40	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	ティーセット・夢の鳥		(ポット)H32.8×W38×D13、(氷差)H11.3×W23×D10、(シュガーポット)H17×φ7.8、(クリーマー)H7.1×W14.2×D6.4、(ティーカップ)H6×W13×D8.8、(ソーサー)H1.8×φ15	陶器	1977	川崎市岡本太郎美術館蔵	
パート2より展示	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	マグカップ、角皿	製作 三郷陶器株式会社	(マグカップ)H9.5×φ9(角皿・大)H1.5×20.5×20.5(角皿・小)H1.0×7.5×7.5	陶器	1977年頃	個人蔵	
パート2より展示	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	顔のグラス		H9.0×φ8.0	ガラス	1976	個人蔵	
参考資料	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	三郷陶器(愛知県尾張旭市)の制作風景画像			写真	1976.9	写真提供：川崎市岡本太郎美術館	
参考資料	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	顔の椅子			写真	1953	写真提供：川崎市岡本太郎美術館	

No.	作家	Artist	作品名	製作会社・原作者等	サイズ(cm)	仕様ソフト と素材	制作年	所蔵	出版社 クレジット・コピー ライト等
					H=高さ、L=縦・長さ、W=横、D=奥行、T=厚み、φ=直径				
41	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	サイコロ椅子 (渦巻き模様)		36×36×36	藤	1957 デザイン	川崎市岡本太郎美術館蔵	
42	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	顔の時計		29.3×29.3×5.8	FRP	1967	川崎市岡本太郎美術館蔵	
参考資料	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	アトリエにて			写真	1970年頃	写真提供：川崎市岡本太郎美術館	
43	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	手の椅子		120×70×90	FRP	1967	川崎市岡本太郎美術館蔵	
参考資料	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	岡本太郎宅で作品制作中の奥田博士氏			写真	1966	写真提供：奥田博士	
参考資料	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	岡本太郎宅にて奥田博士氏			写真	1966	写真提供：奥田博士	
参考資料	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	手の椅子 原型			写真	1967	写真提供：奥田博士	
参考資料	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	手の椅子			写真	1967	写真提供：奥田博士	
44	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	坐ることを拒否する椅子	製作 株式会社陶光菴	H45×φ47	陶器	1964-70	甲賀市立信楽小学校蔵	
	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	坐ることを拒否する椅子 ニチュア	製作 近江化学陶器株式会社	H8×φ7.5	陶器	1960年代中頃	大小屋蔵	
	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	坐ることを拒否する椅子 ニチュア	製作 近江化学陶器株式会社	H8×φ7.0	陶器	1961年代中頃	個人蔵	
	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	坐ることを拒否する椅子	製作 株式会社陶光菴	H45×φ40	陶器	2008	株式会社陶光菴蔵	
	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	坐ることを拒否する椅子	製作 株式会社陶光菴	H45×φ40	陶器	1990年頃	信楽伝統産業会館 信楽焼ミュージアム蔵	
	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	坐ることを拒否する椅子	製作 株式会社陶光菴	H46×φ42	陶器	1990年頃	信楽伝統産業会館 信楽焼ミュージアム蔵	
	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	坐ることを拒否する椅子	製作 株式会社陶光菴	H46.8×φ43	陶器	1990年頃	信楽伝統産業会館 信楽焼ミュージアム蔵	
参考資料			「Taro Okamoto」展 展示風景		H50×φ42.5	写真	1964	写真提供：川崎市岡本太郎美術館	
45	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	黒い太陽の顔	製作 近江化学陶器株式会社	φ30×D6.5	陶器	1970年頃	個人蔵	
46	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	黄金の顔 レプリカ (試作品)	製作 近江化学陶器株式会社	φ22.5×D5.5	陶器	1970年頃	個人蔵	
47	岡本太郎 (デザイン)	OKAMOTO, Taro	日本万国博覧会記念 太陽の顔 3点セット	製作 近江化学陶器株式会社	H27.5×W60.6×D4.5	陶器	1970年頃	甲賀市立信楽小学校蔵	
参考資料	岡本太郎	OKAMOTO, Taro	「岡本太郎展」図録	会場 大阪高島屋、会期 1964年9月1日-9月6日、主催 読売新聞社		書籍	1964	個人蔵	制作 美術出版デザインセンター
参考資料			「SHIGARAKI」	編・文 海上雅臣、写真 奈良原一高、装丁 中出貞二郎		書籍	1968.6.10	個人蔵	制作 求龍堂

No.	作家	Artist	作品名	製作者・原作者等	サイズ(cm) H=高さ、L=縦・長さ、W=横、D=奥行、T=厚み、φ=直径	仕様ソフト と素材	制作年	所蔵	出版社 クレジット・コピー ライト等
シーン3 21世紀フィギュアの世界—新しいアートの息吹…原型師たち									
48	大島 雅人	OHATA, Masato	WIND RISES	オリジナル	H27×W4×D4	作品素材：レジン 原型制作使用ソフト： Daz Studio、 Marvelous Designer、 Zbrush	2017	個人蔵	
49	大島 雅人	OHATA, Masato	GAME	オリジナル	H16×W16×D10	作品素材：レジン 原型制作使用ソフト： Marvelous Designer、 Zbrush	2018	個人蔵	
50	大島 雅人	OHATA, Masato	百鬼夜行 怪	オリジナル	H43×W14×D18	作品素材：レジン 原型制作使用ソフト： Zbrush	2021	個人蔵	
51	大島 雅人	OHATA, Masato	Bird Cage	オリジナル	H18×W10×D11	作品素材：出力レジン 原型制作使用ソフト： Zbrush、Marvelous Designer	2022	個人蔵	
52	大島 雅人	OHATA, Masato	お化けごっこ	オリジナル	H23×W13×D8	作品素材：レジン 原型制作使用ソフト： Zbrush、Marvelous Designer	2022	個人蔵	
53	植田 明志	UEDA, Akishi	苺の王とパンケーキツムリ	オリジナル	H34×φ24	作品素材：石粉粘土、 パテ、樹脂、金箔、他	2021	個人蔵	
54	植田 明志	UEDA, Akishi	お米の神さま	オリジナル	H52(台座含む)×W22 ×D22	作品素材：石粉粘土、 木材、レジン他	2022	個人蔵	
55	植田 明志	UEDA, Akishi	Love Sacrifice	オリジナル	H40×W33×D20	作品素材：石粉粘土、 パテ、出力レジン、樹脂、 ガラス容器（制作・星野 夏実）	2023	個人蔵	
56	藤本 圭紀	FUJIMOTO, Yoshiki	The Garden ～Take your time～	オリジナル	H29×W15×D13	作品素材：ポリストーン・ PVC 原型制作使用ソフト： Zbrush	2021	個人蔵	©Yoshiki Fujimoto
57	藤本 圭紀	FUJIMOTO, Yoshiki	The Garden ～Awakening ～	オリジナル	H27×W13×D11	作品素材：レジン 原型制作使用ソフト： Zbrush	2020	個人蔵	©Yoshiki Fujimoto
58	藤本 圭紀	FUJIMOTO, Yoshiki	猫とピアニスト	オリジナル	H27×W20×D13	作品素材：レジン 原型制作使用ソフト： Zbrush	2022	個人蔵	©Yoshiki Fujimoto
59	藤本 圭紀	FUJIMOTO, Yoshiki	『みならいウィッチ ～THE GREAT PUMPKIN～』	オリジナル	H25×W35×D11	作品素材：レジン 原型制作素材：樹脂粘 土、石粉粘土、パテ	2017	個人蔵	©Yoshiki Fujimoto
60	塚田 貴士	TSUKADA, Takashi	それいけ！レッサーくん	オリジナル	H13×W6×D5	作品素材：レジン 原型制作素材：樹脂粘 土、パテ、他	2021	個人蔵	
61	塚田 貴士	TSUKADA, Takashi	ミルクガールの中指の思い出	原画 寺田克也	H20×W12×D15	作品素材：レジン 原型制作素材：樹脂粘 土、パテ、他	2008	個人蔵	©寺田克也

No.	作家	Artist	作品名	製作会社・原作者等	サイズ(cm) H=高さ、L=段・長さ、W=幅、D=奥行、T=厚み、φ=直径	仕様ソフト と素材	制作年	所蔵	出版社 クレジット・コピー ライト等
参考資料	イラスト 寺田克也	TERADA, Katsuya	ミルクガールの中指の思い出					個人蔵	©Katsuya Terada/WANIMA GAZINE CO.,LTD
62	塚田 貴士	TSUKADA, Takashi	赤い蝋燭と人魚 黒髪ver.	原画 Sheep	H45×W59×D20	作品素材：ポリストーン、レジン 原型制作素材：樹脂粘土、パテ、他	2021	個人蔵	©Sheep © SUMART
参考資料	イラスト Sheep		赤い蝋燭と人魚					個人蔵	©Sheep © SUMART
63	竹内 しんぜん	TAKEUCHI, Shinzen	アフリカゾウ	オリジナル	(親)H20×W 30×D12、(仔)H10×W10×D5	作品素材：レジン 原型制作素材：石粉粘土	2018	個人蔵	©2018 Shinzen Takeuchi
64	竹内 しんぜん	TAKEUCHI, Shinzen	家路	オリジナル	H20×W12×D9	作品素材：レジン 原型制作素材：樹脂粘土、他	2020	個人蔵	©2020 Shinzen Takeuchi
65	竹内 しんぜん	TAKEUCHI, Shinzen	ナイルワニ	オリジナル	H10×W26×D20	作品素材：レジン 原型制作素材：樹脂粘土	2018	個人蔵	©2018 Shinzen Takeuchi
66	竹内 しんぜん	TAKEUCHI, Shinzen	チャンプソサウルス	オリジナル	H4×W8×D12	作品素材：レジン 原型制作素材：パテ、他	2022	個人蔵	©2022 Shinzen Takeuchi
67	竹内 しんぜん	TAKEUCHI, Shinzen	小麦	オリジナル	H6×W5×D5	作品素材：レジン 原型制作素材：樹脂粘土、他	2018	個人蔵	©2018 Shinzen Takeuchi
68	九千房 政光	KUSENBOU, Masamitsu	大日如来胸像	オリジナル	H43×W26×D15	作品素材：レジン、他 原型制作素材：樹脂粘土、石粉粘土、他	2018-2019	個人蔵	
パート2より展示	九千房 政光	KUSENBOU, Masamitsu	弥勒菩薩坐像	オリジナル	菩薩：H 約37.5cm、 蓮華座：H 約96cm	素材：レジンキャスト、 ニューファンド 原型制作素材：スカルピー、ニューファンド、ラドール等	2020	個人蔵	
パート2より展示	九千房 政光	KUSENBOU, Masamitsu	聖観音菩薩胸像	オリジナル	H 約40cm(台座含む)	素材：レジンキャスト 原型制作素材：スカルピー、ニューファンド、ラドール等	2020	個人蔵	
パート2より展示	九千房 政光	KUSENBOU, Masamitsu	菩薩立像	オリジナル	H 約84cm(台座含む)	素材：レジンキャスト 原型制作素材：スカルピー、ニューファンド、ラドール等	2023	個人蔵	
69	真辺 菜月 [CREA MODE]	MANABE, Natsuki [CREA MODE]	紅花カガリ	オリジナル	H28×W25×D19	作品素材：レジン 原型制作使用ソフト：ZBrush	2023	個人蔵	©CREA MODE,Manabe Natsuki
70	真辺 菜月 [CREA MODE]	MANABE, Natsuki [CREA MODE]	メリナ 2 nd ver.	オリジナル	H29×W18×D15	作品素材：レジン 原型制作素材：パテ	2016	個人蔵	©CREA MODE,Manabe Natsuki
71	真辺 菜月 [CREA MODE]	MANABE, Natsuki [CREA MODE]	『刀剣乱舞ONLINE』1/7山姥切国広	原作『刀剣乱舞ONLINE』	H25×W23×D30	作品素材：レジン 原型制作使用ソフト：ZBrush	2020	個人蔵	©2015 EXNOA LLC/NITRO PLUS ©CREA MODE,Manabe Natsuki
72	真辺 菜月 [CREA MODE]	MANABE, Natsuki [CREA MODE]	『刀剣乱舞ONLINE』1/7和泉守兼定	原作『刀剣乱舞ONLINE』	H24×W26×D25	作品素材：レジン 原型制作使用ソフト：ZBrush	2020	個人蔵	©2015 EXNOA LLC/NITRO PLUS ©CREA MODE,Manabe Natsuki



No.	作家	Artist	作品名	製作会社・原作者等	サイズ(cm) H=高さ、L=縦・長さ、W=横、D=奥行、T=厚み、φ=直径	仕様ソフト と素材	制作年	所蔵	出版社 クレジット・コピー ライト等
73	真辺 菜月 [CREA MODE]	MANABE, Natsuki [CREA MODE]	『刀剣乱舞ONLINE』1/7鶴 丸国永	原作『刀剣乱舞 ONLINE』	H19×W20×D20	作品素材：レジン 原型制作使用ソフト： ZBrush	2019	個人蔵	©2015 EXNOA LLC/NITRO PLUS ©CREA MODE,Manabe Natsuki
74	さと	Sato	『刀剣乱舞ONLINE』歌仙 兼定	原作『刀剣乱舞 ONLINE』	H22×W11×D11	作品素材：レジン 原型制作使用ソフト： ZBrush	2017-2018	個人蔵	©2015 EXNOA LLC/NITRO PLUS 版元：株式会社 ニトロプラス
75	ゆま	Yuma	『刀剣乱舞ONLINE』燭台 切光忠	原作『刀剣乱舞 ONLINE』	H24×W14×D14	作品素材：レジン 原型制作素材：樹脂粘 土、石粉粘土、パテ	2016	個人蔵	©2015 EXNOA LLC/NITRO PLUS
76	ゆま	Yuma	『Fate/Grand Order』ラン サー/ジャンヌ・ダルク・オルタ ・サンタ・リリイ	原作『Fate/Grand Order』	H27×W26×D29	作品素材：PVC、ABS 原型制作素材：樹脂粘 土、石粉粘土	2018	株式会社グッド スマイルカンパニー	©TYPE-MOON / FGO PROJECT
77	ゆま	Yuma	『Fate/EXTRA CCC』セイ バー・ブライト	原作『Fate/EXTRA CCC』	H23×W30×D20	作品素材：PVC、ABS 原型制作素材：樹脂粘 土、パテ(武器小物はメー カー作成)	2016	株式会社グッド スマイルカンパニー	©TYPE-MOON ©Marvelous Inc.
78	榎木ともひで	ENOKI, Tomohide	バグトロン	オリジナル	H6.5×W5×D6.5	作品素材：レジン、出力 レジン 原型制作仕様ソフト： Zbrush	2020	個人蔵	
79	榎木ともひで	ENOKI, Tomohide	バグトロトン、バグトロトン vol.2	オリジナル	H5×W3×D3	作品素材：PVC 原型制作仕様ソフト： Zbrush	2022	個人蔵	©榎木ともひで 発売元：株式会社 SO-TA
80	榎木ともひで	ENOKI, Tomohide	バグトロトン「one and only」	オリジナル	H6.5×W5×D5	作品素材：出力レジン 原型制作使用ソフト： Zbrush	2022	作家蔵	
81	榎木ともひで	ENOKI, Tomohide	黒田バグ蔵	オリジナル	H5×W3×D3	作品素材：レジン 原型制作使用ソフト： Zbrush	2010	作家蔵	
82	榎木ともひで	ENOKI, Tomohide	フォン田バグ介	オリジナル	H5×W3×D3	作品素材：レジン 原型制作使用ソフト： Zbrush	2010	作家蔵	
83	榎木ともひで	ENOKI, Tomohide	二次元的骨格標本少女 富井アンナ	オリジナル	H5.5×W3.5×D4	作品素材：出力レジン 原型制作仕様ソフト： Zbrush	2023	個人蔵	
84	榎木ともひで	ENOKI, Tomohide	キョダイ バグミ少女ゼロ	オリジナル	H15×W10×D9	作品素材：出力レジン 原型制作仕様ソフト： Zbrush	2021	個人蔵	10分割、28分割 にわけられ、パーツ 毎に販売された パートワーク作品
パート2よ り展示	榎木ともひで	ENOKI, Tomohide	サイボーグ009 ヴィネットフイ ギョア	原作『サイボーグ009 THE CYBORG SOLDIER』石ノ森章 太郎、企画制作 株 式会社海洋堂		素材：PVC、ABS 原型制作素材：樹脂粘 土	2003	個人蔵	© 2001石森プロ /サイボーグ009製 作委員会
パート2よ り展示	榎木ともひで	ENOKI, Tomohide	カプセルQフロイライン ピリア 古書堂の事件手帖-葉子さ ん表紙画胸像集-	原作『ピリア古書堂 の事件手帖』著者 三 上延・イラスト 越島は ぐ、企画制作・販売 株式会社海洋堂		素材：PVC、ABS 原型制作素材：樹脂粘 土	2013	個人蔵	株式会社 KADOKAWA ©三上延/メディア ワークス文庫 イラ スト/越島はぐ
85	石崎紗央里	ISHIZAKI, Saori	DOLLEL mode and rock style	オリジナル	H18×W6×D6	作品素材：レジン、ラッ カー塗料 原型制作素材：スカル ピー	2021	個人蔵	©Ishizaki Saori
86	石崎紗央里	ISHIZAKI, Saori	DOLLEL retro style	オリジナル	H18×W6×D6	作品素材：レジン、ラッ カー塗料 原型制作素材：スカル ピー	2019	個人蔵	©Ishizaki Saori
87	石崎紗央里	ISHIZAKI, Saori	DOLLEL retro style - Dress up Custom Color ver	オリジナル	H18×W6×D6	作品素材：レジン、ラッ カー塗料、ネイルシール 原型制作素材：スカル ピー	2023	個人蔵	©Ishizaki Saori

No.	作家	Artist	作品名	製作会社・原作者等	サイズ(cm) H=高さ、L=縦・長さ、W=幅、D=奥行、T=厚み、φ=直径	仕様ソフト と素材	制作年	所蔵	出版社 クレジット・コピー ライト等
88	石崎紗央里	ISHIZAKI, Saori	DOLLELE retro style - Gothic Custom ver	オリジナル	H19×W6×D6	作品素材：レジン、ラッカー塗料、ネイルシール 原型制作素材：スカルピー	2021	個人蔵	©Ishizaki Saori
89	大山 竜	OHYAMA, Ryu	『モンスターハンター』大空の王 リオレウス（赤）		H約60×W160×D80	作品素材：レジン、他 原型制作素材：樹脂粘土、他	2007	GILLGILL	©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.
	大山 竜	OHYAMA, Ryu	『モンスターハンター』大空の王 リオレウス（蒼）		H60×W160×D80	作品素材：レジン、他 原型制作素材：樹脂粘土、他	2007	GILLGILL	©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.
90	吉沢 光正	YOSHIZAWA, Mitsumasa	のんのん		H28×W11×D11	作品素材：レジン 原型制作素材：ファンド	2022	個人蔵	©山下しゅんや
参考資料	イラスト 山下しゅんや	YAMASHITA, Shunya	のんのん					個人蔵	©山下しゅんや
91	吉沢 光正	YOSHIZAWA, Mitsumasa	『BAYONETTA』ベヨネッタ	原作『BAYONETTA（ベヨネッタ）』	H34×W36×D20	作品素材：PVC、ABS、その他 原型制作素材：石粉粘土	2015	法人蔵	©SEGA
92	吉沢 光正	YOSHIZAWA, Mitsumasa	『新世紀エヴァンゲリオン』綾波レイ	原作『新世紀エヴァンゲリオン』 イラスト 山下しゅんや	H27×W10×D10	作品素材：レジン 原型制作素材：石粉粘土		個人蔵	©カラー/Project Eva.
参考資料	イラスト 山下しゅんや	YAMASHITA, Shunya	『新世紀エヴァンゲリオン』綾波レイ					個人蔵	©カラー/Project Eva. ©山下しゅんや
パート2より展示	吉沢 光正	YOSHIZAWA, Mitsumasa	『エヴァンゲリオン』新劇場版 アヤナミレイ（仮称）	原作『エヴァンゲリオン 新劇場版』、イラスト 山下しゅんや		作品素材：レジン 原型制作素材：ファンド	2018	法人蔵	©カラー
パート2より展示	イラスト 山下しゅんや	YAMASHITA, Shunya	『エヴァンゲリオン』新劇場版 アヤナミレイ（仮称）	原作『エヴァンゲリオン 新劇場版』				個人蔵	©カラー ©山下しゅんや
パート2より展示	吉沢 光正	YOSHIZAWA, Mitsumasa	『エヴァンゲリオン』新劇場版 式波・アスカ・ラングレー	原作『エヴァンゲリオン 新劇場版』、イラスト 山下しゅんや	H 約235mm(頭頂部 まで)、325mm(槍上端 まで)	作品素材：レジン 原型制作素材：ファンド	2019	法人蔵	©カラー
パート2より展示	イラスト 山下しゅんや	YAMASHITA, Shunya	『エヴァンゲリオン』新劇場版 式波・アスカ・ラングレー	原作『エヴァンゲリオン 新劇場版』				個人蔵	©カラー ©山下しゅんや

No.	作家	Artist	作品名	製作会社・原作者等	サイズ(cm) H=高さ、L=縦・長さ、W=幅、D=奥行、T=厚み、φ=直径	仕様ソフトと素材	制作年	所蔵	出版社 クレジット・コピー ライト等
シーン4 川田知志「太郎の色とカタチ×パブリック」									
93	川田 知志	KAWATA, Satoshi	瀬戸風景2022 (一部)		90×90	タイル	2022	作家蔵、愛知県 陶磁美術館寄託	協力：株式会社 エクシズ、杉浦製 陶株式会社、梶 田絵具店
参考 資料	川田 知志	KAWATA, Satoshi	作品資料とテストピース		14.5×14.5	タイル	2022		
94	川田 知志	KAWATA, Satoshi	Untitled 2023.01.28 #1	ホーロー×アートプロジェ クト	72.5×54	ホーロー	2023	作家蔵	協力：タカスタン ダード株式会社、 アートコートギャラ リー
	川田 知志	KAWATA, Satoshi	Untitled 2023.01.28 #1 (原 画)		72.5×54	漆喰、顔料	2023		
95	川田 知志	KAWATA, Satoshi	大衆へのフレスコ画	Part 2 予告展示	H45×W29.5	漆喰、顔料	2023	作家蔵	
	川田 知志	KAWATA, Satoshi	大衆へのストラップ		H21×W12 (額サイズ：H28.5× W19)	漆喰、顔料、膠、カゼイン カルシウム	2023	作家蔵	
	川田 知志	KAWATA, Satoshi	大衆への習作 #13		H23×W14.5	ドローイング	2023	作家蔵	
	川田 知志	KAWATA, Satoshi	大衆への習作 #18		H23×W14.5	ドローイング	2023	作家蔵	
	川田 知志	KAWATA, Satoshi	大衆への模型		H14×55×55	スチレンボード、インク ジェットプリント	2023	作家蔵	
パート2よ り展示	川田知志	KAWATA, Satoshi	インスタレーション (陶芸館ギャ ラリー壁11面)	太郎の色とカタチ×パブ リック	壁11面の展開サイズ= H240×W2310cm ※1面サイズ=H240×W210	漆喰、顔料、膠、カゼイン カルシウム	2023	作家蔵	
パート2よ り展示	川田知志	KAWATA, Satoshi	絵具用の釉薬実験サンプル			左：陶芸用釉薬 中：顔料 (カドミウムレッ ド) 右：七宝用釉薬	2023	作家蔵	

No.	作家	Artist	作品名	製作会社・原作者等	サイズ(cm) H・W・D、L・W・H・D、 D・H・W・L・W・H・D	仕掛ソフト と素材	制作年	画像	所蔵	出版社 クレジット・コ ピーライト等
序章 近代建築と装飾陶器のはじまり										
1	陶磁器試験所	The Research Institute for Ceramics	浮形雄雄歩行団 タイル		L72.5×W144.5× T5.7	陶器	1921- 1930/大 正10-昭和 5		滋賀県工業技 術総合センター 信楽窯業技術 試験場蔵	
シーン1 建築と現代アートの融合										
2	岡本太郎 (デザ イン)	OKAMOTO, Taro	東京オリンピック記念 レリーフ (裏面サイン 入り)	製作 近江化学陶器 株式会社	φ26×D3.5	陶器	1964年頃		大小屋蔵	
3	岡本太郎 (デザ イン)	OKAMOTO, Taro	みつめあう愛		103×145.6	写真	1990		株式会社ガスキ ン殿、写真提 供：川崎市岡 本太郎美術館	
4	岡本太郎 (デザ イン)	OKAMOTO, Taro	写真パネル-マスク			写真	1995		川崎市蔵、川崎 市とどろきアリーナ	
シーン2 岡本太郎が目指したアートの大衆化										
3	岡本太郎 (デザ イン)	OKAMOTO, Taro	マグカップ、角皿	製作 三興陶器株式 会社		陶器	1977年頃		個人蔵	
4	岡本太郎 (デザ イン)	OKAMOTO, Taro	顔のグラス			ガラス	1976		個人蔵	
シーン3 21世紀フィギュアの世界—新しいアートの息吹—原型師たち										
5	九千房 政光	KUSENBOU, Masamitsu	弥勒菩薩坐像	オリジナル	菩薩: H 約37.5cm、 蓮華座: H 約96cm	素材：レジンキャスト、 ニューファン d 原型制作素材：スカル ピー、ニューファン、ラ ドール等	2020		個人蔵	
6	九千房 政光	KUSENBOU, Masamitsu	聖観音菩薩胸像	オリジナル	H 約40cm(台座含 む)	素材：レジンキャスト 原型制作素材：スカル ピー、ニューファン、ラ ドール等	2020		個人蔵	
7	九千房 政光	KUSENBOU, Masamitsu	菩薩立像	オリジナル	H 約84cm(台座含 む)	素材：レジンキャスト 原型制作素材：スカル ピー、ニューファン、ラ ドール等	2023		個人蔵	
8	榎木ともひで	ENOKI, Tomohide	サイボーグ009 ワイネッ トフィギュア	原作『サイボーグ009 THE CYBORG SOLDIER』石ノ森章 太郎、企画制作 株 式会社海洋堂		素材：PVC、ABS 原型制作素材：樹脂 粘土	2003		個人蔵	© 2001 石ノ森 プロダクション 009製作委員会
9	榎木ともひで	ENOKI, Tomohide	カプセルQロイライン ピピリア古書堂の事 件手帖-菓子さん表 紙画胸像集-	原作『ピピリア古書堂 の事件手帖』著者 三 上延・イラスト 越島は ぐ、企画制作・販売 株式会社海洋堂		素材：PVC、ABS 原型制作素材：樹脂 粘土	2013		個人蔵	株式会社 KADOKAWA
10	榎木ともひで	ENOKI, Tomohide	ムーンズランチ 1	原作『ムーン』トベ ヤンソン、企画制作 株式会社海洋堂		素材：PVC、ABS 原型制作素材：樹脂 粘土	2003		個人蔵	Moomin Characters Oy Ltd. 阪元 北陸製菓株式 会社
11	榎木ともひで	ENOKI, Tomohide	ムーンズランチ 2	原作『ムーン』トベ ヤンソン、企画制作 株式会社海洋堂		素材：PVC、ABS 原型制作素材：樹脂 粘土	2004		個人蔵	Moomin Characters Oy Ltd. 阪元 北陸製菓株式 会社
12	吉沢 光正	YOSHIZAWA, Mitsumasa	『エヴァンゲリオン』新 劇場版 アヤナミレイ (仮称)	原作『エヴァンゲリ オン』新劇場版、イラ スト 山下しゅんや		作品素材：レジン 原型制作素材：ファン d	2018		法人蔵	©カラー
13	イラスト 山下しゅ んや	YAMASHITA, Shunya	『エヴァンゲリオン』新 劇場版 アヤナミレイ (仮称)	原作『エヴァンゲリ オン』					個人蔵	©カラー ©山下 しゅんや
14	吉沢 光正	YOSHIZAWA, Mitsumasa	『エヴァンゲリオン』新 劇場版 式波-アスカ-ラング レー	原作『エヴァンゲリ オン』新劇場版、イラ スト 山下しゅんや	H 約235mm(頭頂 部まで)、325mm(楕 円上縁まで)	作品素材：レジン 原型制作素材：ファン d	2019		法人蔵	©カラー
15	イラスト 山下しゅ んや	YAMASHITA, Shunya	『エヴァンゲリオン』新 劇場版 式波-アスカ-ラング レー	原作『エヴァンゲリ オン』					個人蔵	©カラー ©山下 しゅんや
シーン4 川田知志「太郎の色とカタチ×パブリック」										
16	川田 知志	KAWATA, Satoshi	太郎の色とカタチ×パ ブリック		陶芸館ギャラリーの 全壁面 現地製作	漆喰、顔料、膠、カゼ インカルシウム			個人蔵	

■【アンケート集計結果】特別展「岡本太郎 アートの夢―陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」展

入館者数	21,129 人		
回答者数	558人		
回答率	2.6%		
住 所	北海道・東北	2人	0%
	関東・甲信越	2人	0%
	首都圏	16人	3%
	北陸	6人	1%
	東海	48人	9%
	滋賀県	270人	51%
	京阪神	163人	31%
	奈良・和歌山	16人	3%
	中国	1人	0%
	四国	4人	1%
	九州・沖縄	2人	0%
	無回答	3人	1%
	展覧会評価	大変満足	271人
満足		202人	36%
普通		52人	9%
やや不満		13人	2%
不満		10人	2%
無回答		7人	1%
再来館したいと 思いますか	思う	483人	89%
	思わない	34人	6%
	無回答	24人	4%
信楽に来た目的 (複数回答あり)	陶芸の森の展覧会	348人	58%
	イベント(陶芸の森・町内)	34人	6%
	陶芸体験	29人	5%
	陶器の購入	23人	4%
	小旅行(ドライブ・ランチ)	95人	16%
	MIHO MUSEUM	10人	2%
	学校行事	10人	2%
	その他	50人	8%
	無回答	6人	1%



大衆に  
ふつかに  
かじる  
藝術を

Taro Okamoto

# 岡本太郎 アートの夢

Dreams of Art

～陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形



# 羊のひら GIR がレージ キット

**GILL GILL**  
SCULPT STUDIO

発行元: GILLGILL  
〒540-0016 大阪府大阪市中央区神崎町 2-15-302 株式会社アイブークース内 TEL: 06-6777-7376 MAIL: info@gillgill.com twitter: @getem5420

### 大川隆

1977年大塚市生まれ

大川隆は、その独特なスタイルで、現代音楽界に名を馳せ、国内外で活躍している。彼の音楽は、洗練されたサウンドと、深い情感が特徴で、聴き手を引き込む力がある。近年では、デジタル技術を活用した新しい音楽表現も試みている。

### 大塚雅人

1985年札幌市生まれ

大塚雅人は、その繊細な感性と、独自の音楽観で、現代音楽界に注目を集めている。彼の音楽は、繊細なメロディと、深い情感が特徴で、聴き手を引き込む力がある。近年では、デジタル技術を活用した新しい音楽表現も試みている。

### 藤木まゆみ

1974年市川生まれ

藤木まゆみは、その独特なスタイルで、現代音楽界に名を馳せ、国内外で活躍している。彼女の音楽は、洗練されたサウンドと、深い情感が特徴で、聴き手を引き込む力がある。近年では、デジタル技術を活用した新しい音楽表現も試みている。

### 中尾

大塚市生まれ

中尾は、その独特なスタイルで、現代音楽界に名を馳せ、国内外で活躍している。彼の音楽は、洗練されたサウンドと、深い情感が特徴で、聴き手を引き込む力がある。近年では、デジタル技術を活用した新しい音楽表現も試みている。

### 堀田明彦

1991年市川生まれ

堀田明彦は、その独特なスタイルで、現代音楽界に名を馳せ、国内外で活躍している。彼の音楽は、洗練されたサウンドと、深い情感が特徴で、聴き手を引き込む力がある。近年では、デジタル技術を活用した新しい音楽表現も試みている。

### 丸山隆雄

1974年札幌市生まれ

丸山隆雄は、その独特なスタイルで、現代音楽界に名を馳せ、国内外で活躍している。彼の音楽は、洗練されたサウンドと、深い情感が特徴で、聴き手を引き込む力がある。近年では、デジタル技術を活用した新しい音楽表現も試みている。

### 中川

札幌市生まれ

中川は、その独特なスタイルで、現代音楽界に名を馳せ、国内外で活躍している。彼の音楽は、洗練されたサウンドと、深い情感が特徴で、聴き手を引き込む力がある。近年では、デジタル技術を活用した新しい音楽表現も試みている。

### 藤村雅也

1983年大塚市生まれ

藤村雅也は、その独特なスタイルで、現代音楽界に名を馳せ、国内外で活躍している。彼の音楽は、洗練されたサウンドと、深い情感が特徴で、聴き手を引き込む力がある。近年では、デジタル技術を活用した新しい音楽表現も試みている。

### 中尾まゆみ

1980年市川市生まれ

中尾まゆみは、その独特なスタイルで、現代音楽界に名を馳せ、国内外で活躍している。彼女の音楽は、洗練されたサウンドと、深い情感が特徴で、聴き手を引き込む力がある。近年では、デジタル技術を活用した新しい音楽表現も試みている。

### 中尾隆雄

1987年市川市生まれ

中尾隆雄は、その独特なスタイルで、現代音楽界に名を馳せ、国内外で活躍している。彼の音楽は、洗練されたサウンドと、深い情感が特徴で、聴き手を引き込む力がある。近年では、デジタル技術を活用した新しい音楽表現も試みている。

### 藤田敏子

1983年札幌市生まれ

藤田敏子は、その独特なスタイルで、現代音楽界に名を馳せ、国内外で活躍している。彼女の音楽は、洗練されたサウンドと、深い情感が特徴で、聴き手を引き込む力がある。近年では、デジタル技術を活用した新しい音楽表現も試みている。

### 藤村隆雄【CREA MODE】

札幌市生まれ

藤村隆雄は、その独特なスタイルで、現代音楽界に名を馳せ、国内外で活躍している。彼の音楽は、洗練されたサウンドと、深い情感が特徴で、聴き手を引き込む力がある。近年では、デジタル技術を活用した新しい音楽表現も試みている。

### 和歌山

1977年市川生まれ

和歌山は、その独特なスタイルで、現代音楽界に名を馳せ、国内外で活躍している。彼の音楽は、洗練されたサウンドと、深い情感が特徴で、聴き手を引き込む力がある。近年では、デジタル技術を活用した新しい音楽表現も試みている。



# 特別展 岡本太郎 アートの夢

## ～陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形

### “大衆にじかにぶつかる芸術を”

#### 21世紀のフィギュアの世界—新しいアートの息吹

アニメなどの2次元の絵を立体として表現するフィギュアは、1980年代頃に日本で誕生したと言われています。2000年頃にカプセルトイや食玩が人気を集めると「フィギュア」は工業生産されたミニチュア造形物全般を指す用語となり、フィギュア制作の技術を用いて独自の世界観を表現する者も現れるようになりました。本展ではこれらの多彩な表現を「フィギュア造形」と呼び、紹介しています。

フィギュアは、愛好するキャラクターを3次元に表現したいという大衆の情熱が、平面の絵を立体にし、新たな表現世界を生み出したものです。その始まりは主にプラモデルなどの模型制作を趣味とする者たちが主導したことから、作品は購入者が組み立て・塗装をして完成させるGK〈ガレージキット〉という形で発展していきました。

作品を発表する者、受け取る者、どちらも作り手として参加するGKは、アニメ・マンガ・ゲームといったコンテンツを通じて生まれる大衆の素直な感動を肯定し、その感動を表現したいという根源的な欲求を満たしてくれます。

立体として矛盾のある2次元の「アニメ絵」をどうやって3次元に表現するか、その難題も、今では基本的な方法論は確立されています。それは誰か一人の発明ではなく、GKというムーブメントの中で徐々に構築されてきた、大衆の英知とも言えるものです。

また、培われてきた理論や技術を用いて表現されるオリジナルの作品からは、既存のコンテンツの枠にとどまらない、現代に生きる我々の暮らしに基づく感動が反映されています。鋭い感性で世界を観察し、自身のイメージーションに肉体を与える造形家たちの作品は、絵や映像とは違った現実的な力強さを持って私達に語りかけてきます。

もしも岡本太郎が現代のフィギュア造形を見たら、どんな反応を見せてくれるのでしょうか。

私達の感動と、造形家の感性とが、技術によって結びついた先にフィギュア造形は存在しています。見て味わってもらうのも良いのですが、GKを手にしたなら、是非ご自身の手で完成させてみて下さい。きっと見ているだけでは得られなかった気づきが、あなたの心に豊かな彩りを持たせてくれます。



# 岡本太郎の言葉と二十一世紀のファイギュア造形

## ファイギュアがアートであると思わせてくれる言葉

全て左の電子書籍からの抜粋

『今日の芸術 新装版く時代を創造するものは誰か』  
出版社：光文社（2022/7/13）初出：1954年  
ASIN: B0B5Q652K1

すべての人が現在、瞬間瞬間の生きがい、自信を持たなければいけない、そのよるこびが芸術であり、表現されたものが芸術作品なのです。  
p.17

表現欲というのは一種の生命力で、思いのほか激しいものです。  
p.169

いかに泥くさくても、みにくくても、自分自身の生活の土台から、すべてをつかみとり、推しすすめていくべきです。  
p.35

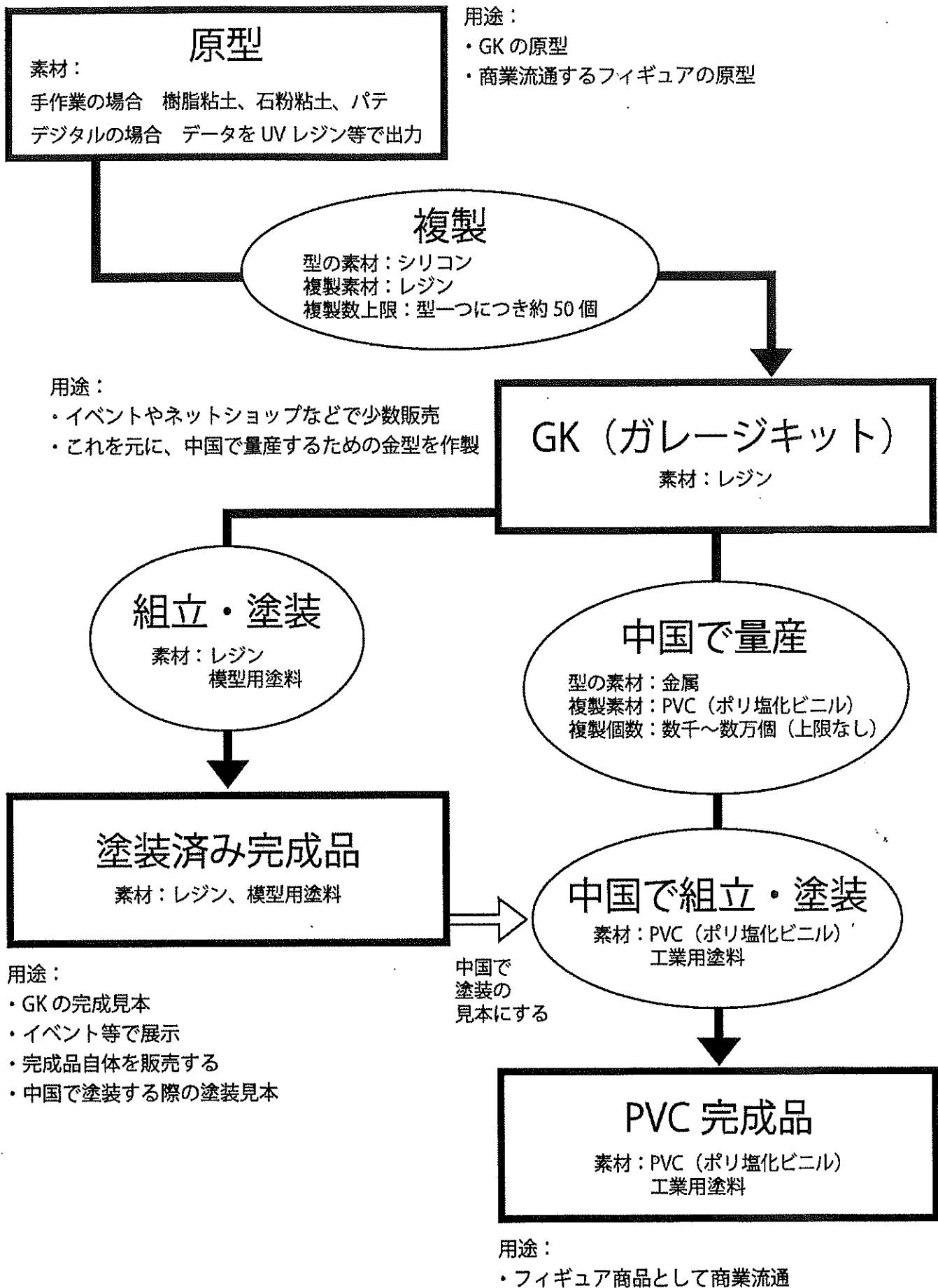
過去のできあいのイメージにおぶさるのではなく、豊かな精神で自分たちの新しい神話・伝説をつくるのが芸術であり、また生活なのです。  
p.41

新しい芸術創造は、さらにさきにつき進んでいたりします。  
けっこう、わかったつもりでいても、  
p.43

創られた作品にふれて、自分自身の精神に無限のひろがり豊か  
ないろいろどりをもちたせることは、りっぱな創造です。  
つまり、自分自身の、人間形成、精神の確立です。自分自身をつくっているのです。  
p.116

今まで見ることは、あなたの見る世界は、ほんとうに感動したならば、その瞬間から、あなたの変える。生活が生きがいとなり、そこです。あなたは今、あなた自身を創造しているのです。  
p.116

# フィギュアの製作工程と主な素材, 用途



# フィギュア造形における4つの完成

フィギュア造形は性質上、完成とみなすタイミングが大きく分けて4つある。立場や作品の用途によってどこをゴールとするかが変わってくる。

## ■原型

全ての元になる造形物。

粘土、パテなどを材料とし、原型師・造形作家が自らの手で形を作る。

後から複製する為に分割し、パーツ状態に分けられるようにしてある。

デジタルで制作する場合は、Zbrush等のソフトウェアで制作したデータ自体を原型とする場合と、3Dプリンターで出力して組み立てたものを原型とみなす場合がある。

## ■GK（ガレージキット）

分割した原型を元に複製したもの。

多くはシリコンで型を作り、レジンという樹脂で複製し、複数のパーツの状態になっている。

このまま商品として少数販売する他、大量に製造するための元としても使用される。

## ■塗装済み完成品

GKを組み立て、着彩したもの。

作品として展示・販売する他、

GK商品の完成見本、大量生産のための塗装見本といった用途でも使用される。

## ■PVC完成品（ピーブイシーかんせいひん）

GKを元に金属で型を作り、PVC（ポリ塩化ビニル）という樹脂で大量に複製し、組立、塗装をおこなったもの。

商業流通しているフィギュアの殆どがこのPVC完成品である。

（ポリストーン、ABSなどPVC以外の素材が使用されることもある）

# GK〈ガレッジキット〉の作り方

GKは買った人が自分で組立・塗装をして完成させる造形作品です。  
組立てるだけでも楽しいですし、色をつけると世界で一つの自分だけの作品に仕上がります。

## 《組立の工程》

こちらの動画で詳しく解説しています →

<https://sculptors.jp/movie/2454>



僕のGKを  
組み立てる動画だよ

### ①バリ取り

パーツにはパーティングライン、バリといった余分な部分がついています。  
カッターナイフやニッパー、ヤスリを使って取り除きましょう。

### ②軸打ち

パーツ同士を接着剤ではなく針金で繋ぐ方法です。  
各パーツにピンバイスで穴を開け、針金を差し込みます。  
接着剤では固定できない大きなパーツ同士も繋げることができ、  
何度でも抜き差しできるのが特徴。

※「手のひらGK」には不要の工程です。

### ③仮組み

塗装の前に、一度組み立ててみます。  
接着剤を使う場合は瞬間接着剤を、後で外せるように軽くつけます。  
塗装をしない場合はここで完成ですので、しっかり接着してもOKです。

### ④洗浄

パーツを外し、中性洗剤、クレンザー、歯ブラシなどで良く洗います。  
GKは複製の時に離型剤がついており、これをしっかり落とさないと  
塗装をしても剥がれてしまいます。

## 《塗装について》

塗料はプラモデル用のラッカー塗料、アクリル塗料などを使うのが一般的です。  
筆で塗る方法や、エアスプレー式の塗料を使う方法、エアブラシという道具を  
使うなどがあります。

簡単!筆塗り「ウォッシュ」のやり方動画 →

<https://sculptors.jp/movie/2823>



僕のGKを  
筆塗りする動画だよ

動画提供 スカルプターズ・ラボ

**SCULPTORS  
LABO**

『スカルプターズ』公式WEBサイト  
「SCULPTORS LABO (スカルプターズ・ラボ)」



造形クリエイター向けの専門サイト「SCULPTORS LABO」では  
クリエイターによる造形メイキング動画やフィギュア、プロップ、  
3Dプリンタ&スキャナ、造形テクニック、造形イベントなどの  
情報をお届けしています!  
<https://sculptors.jp/>



Lisa Larson : Seen and Unseen

「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界ークラシックな名作とともに」展

■趣 旨

北欧スウェーデンで、温かみのある動物や人物をモチーフとした作品デザインで世界中の人々を魅了する陶芸家リサ・ラーソン。今年で93歳を迎えた現在も、自分のペースで楽しみながら一点物の作品（ユニークピース）を制作し続けていましたが、会期中の3月11日に逝去されました。

この展覧会は、「Seen and Unseen」をテーマに、お馴染みの名作と、スウェーデンの旧市街の家屋をモデルにした作品や未知なる動物たちガラスなど、これまで紹介されることのなかったリサ・ラーソンの作品で構成されています。そして、生涯にわたり影響しあったモダニズムの画家で夫のグンナル・ラーソンの作品を加え、リサ・ラーソンの知られざる創造の世界を紹介しました。

リサ・ラーソン～1931年スウェーデン・スモーランド地方生まれ。スウェーデン・グスタフスベリ磁器工房で陶磁器デザイナーとして数多くの名作シリーズを生み出す。1980年に独立。2022年には芸術文化に貢献したことが評価され、スウェーデン政府より、イリス・クオルム金賞を受賞しています。

■展示構成 作品：250点

1 リサ・ラーソンの名作たち／2 筆描きの妙／3 スウェーデンの家屋／4 丸形からのインスピレーション／5 マスメディアの中のリサ・ラーソン／6 初期の作品（学生時代のリサ・ラーソン）／7 レア&ユニーク／8 新しい素材への挑戦／9 リサとグンナルー芸術家同士の語らい

\*この展覧会は、リサ・ラーソンの全面的な協力のもと、長男マティアス・ラーソンとリアン・デザイン・ミュージアムの館長ルーヴェ・イオンソンが企画し作品選定。

■会 期 2024年3月2日（土）～3月31日（日）25日間（令和5年度へ継続）

※休館日 毎週月曜日

■主 催 滋賀県立陶芸の森

■特別協力 リサ・ラーソン・デザインAB、リアン・デザイン・ミュージアム

■後 援 スウェーデン大使館、滋賀県教育委員会、甲賀市、京都新聞

■協 力 フィンエアー、フィンエアーカーゴ、京セラ株式会社

■企 画 アートインプレッション、松屋

■企画協力 トンカチ

■観覧料 一般900円（720円）、大高生 680円（540円）

（ ）内は20名以上の団体、中学生以下無料

■入場者数 7,987人（一日平均307人）

■展覧会図録『リサ・ラーソン 知られざる創造の世界ークラシックな名作とともに』

【サイズ／販売価格】A4版変形（横開き）148頁／2,640円

【内容】ごあいさつ／「展覧会によせて」（リサ・ラーソン）／「メッセージ」（駐日

スウェーデン大使) / 目次 / 文章 / 「考古学の発掘調査に匹敵するもの」(マティアス・ラーソン) / 「ある意味で必要だと、そう私が考えることを続けています。」(インタビュー: リサ・ラーソン) カラー図版 / リサ・ラーソン年譜

〔販売実績〕 3月2日(土)～3月31日(日) 26日間・400冊販売・1,056,000円

■同時開催 ギャラリー企画 新・収蔵品の逸品展パート1

〔日時〕 2024年3月2日(土)～3月31日(日)

■関連企画

- (1) リサ・ラーソン展のラッピング列車が信楽の緑の中を走ります。

信楽高原鐵道 / 貴生川駅 (JR 貴生川駅) ～信楽駅

〔運行期間〕 2024年1月9日(火)～5月26日(日)

\*列車時刻など詳しくは信楽高原鐵道 ([TEL:0748-82-3391](tel:0748-82-3391))

・レール&ミュージアム / かわいくてお得な期間限定共通チケット

〔価格〕 1,580円(税込)

- (2) ギャラリートーク 申込不要・要入場券

〔日時〕 2024年3月24日(日) →延期 4月7日(日) 16:00～40分間

- (3) ミュージアムショップ / リサ・ラーソングッズが大集合

スウェーデンから届いた陶器や雑貨、展覧会限定グッズを販売。

- (4) 親子向け特別講座—北欧デザインのお皿に挑戦!

〔日時〕 令和6年3月9日(土)

〔講師〕 藤田真理乃

〔参加者〕 34人

- (5) ここでも見られる! 陶芸の森コレクション展～北欧の現代陶芸—うつわの造形美展

陶芸の森の創作研修館で制作されたフィンランド、スウェーデン、デンマークなど現代作家らの作品を展示しました。

〔会期〕 2024年3月16日(土)～3月31日(日)

〔会場〕 甲賀市水口歴史民俗資料館

■団体案内

3月15日(金) 信楽窯業試験場試験場産地向け研修会〈コトづくりセミナー〉

■掲載記事・紹介番組等

- (1) テレビ・ラジオ

3月13日(水) NHK 大津放送局ニュース

3月18日(月) あいコムこうか「まちかどKOKA」—3月24日(日)まで随時

3月28日(木) びわ湖放送ニュース

- (2) 新聞関係

2月27日(火) 朝日新聞

1月31日(水) 京都新聞「SKR 車両型の切符販売へ」

3月9日(土) 産経新聞「滋賀まち案内」

3月8日(金) 読売新聞「滋賀県民情報」

3月9日(土) 産経新聞社「催し物案内のコーナー」

(3) 専門誌・雑誌など

- 8月15日(火) 新美術新聞「展覧会カレンダー9月～2024年3月」  
12月1日(金) 「湖国文化情報れいかる」1・2・3月  
1月1日(月) 広報こうか「信楽高原鐵道×リサ・ラーソン展～ラッピング列車  
運行トレイン&ミュージアムチケット先行販売」  
2月26日(月) 甲賀フリモ3月号「EVENT NEWS」株式会社中広  
観光ガイド「電車&ウォーク」3月号日本(陸風社) JR西  
3月 JR西日本「滋賀リズムトリップ」「一個人」3月号(株)一個人出版、  
「men's FUDGE」株式会社 Minimal

(4) インターネット抜粋

OVO「特別展リサ・ラーソン展」/Web 集英社 LEE おでかけ部/関西ニュース「今月  
92歳で逝去…」/Mixi オリコンニュース「陶芸家リサ・ラーソンさん死去 92歳  
赤白の猫『マイキー』など日本でも人気」/楽天ブログ/信楽高原鐵道「リサ・ラー  
ソン展開催に向けた、ラッピング列車運行のお知らせ」陶芸館展覧会(陶芸の森)/  
陶芸の森インスタグラム/陶芸の森ツイッター/陶芸の森フェイスブック/協同組  
合インフォメーションテクノロジー関西/共同通信社配信記事「美術話題・関西」/  
びわモニ

(5) その他

- 2月29日(木) 知事定例会見にて「リサ展開幕」発表  
3月1日(金) 報道機関向け事前説明会 13:30～15:00  
参加報道機関 3社3人(あいコムこうか他)  
3月4日(月) びわモニ YouTube 番組(出演) PR



■作品リスト (別紙)

<リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界—クラシックな名作とともに>出品作品リスト

会場：滋賀県立陶芸の森陶芸館 会期：2024.3.2(土)~5.26(日)

◆ Seen(1章~5章)

No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
1章 リサ・ラーソンの名作たち Classics										
1	ヒルディング・オールソン	グスタフスベリ磁器工房で『日本女性』の原型作品を制作するリサ・ラーソン	写真	172	147			1957年		リサ・ラーソン蔵
2	リサ・ラーソン	ライオン(マキシ)/アフリカシリーズ	泥漿焼込、炻器	372	350	390		本モデルは1968年から製造。本作品は1968-1980年頃に製造	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
3	リサ・ラーソン	ライオン(ミディアム)/アフリカシリーズ	泥漿焼込、炻器	140	120	150		本モデルは1965年から製造。本作品は1965-1980年頃に製造	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
4	リサ・ラーソン	シロクマ/大きな動物園シリーズ	泥漿焼込、炻器	158	235	90		製造1958-1970年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
5	リサ・ラーソン	カバ/見世物小屋シリーズ	泥漿焼込、炻器	63	90	55		製造1966-1970年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
6	リサ・ラーソン	カバ/大きな動物園シリーズ	泥漿焼込、炻器	105	170	70		製造1966-1970年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
7	リサ・ラーソン	トラ/アフリカシリーズ	泥漿焼込、炻器	88	275	80		製造1965-1975年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
8	リサ・ラーソン	トラ	泥漿焼込、炻器	57	210	45		2000年代	セラミックステューディオ・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
9	リサ・ラーソン	トラのグレタ	泥漿焼込、炻器	85	150	50		製造2022年以降	セラミックステューディオ・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
10	リサ・ラーソン	ネコ/小さな動物園シリーズ	泥漿焼込、炻器	53	90	65		製造1956-1978年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
11	リサ・ラーソン	ネコ/小さな動物園シリーズ	泥漿焼込、炻器	120	70	50		製造1956-1978年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
12	リサ・ラーソン	立っているネコ/小さな動物園シリーズ	泥漿焼込、炻器	95	115	40		製造1956-1978年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
13	リサ・ラーソン	小さなネコ	泥漿焼込、炻器	100	65	60		製造1965年	グスタフスベリ磁器工房	個人蔵
14	リサ・ラーソン	ネコのマイ	泥漿焼込、炻器	100	175	95		製造2017年以降	セラミックステューディオ・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
15	リサ・ラーソン	ネコのモーセ	泥漿焼込、炻器	150	315	170		デザイン1985年頃	セラミックステューディオ・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
16	リサ・ラーソン	ネコのムレ	泥漿焼込、炻器	365	250	170		本モデルは1975年から製造。本作品は1990年代または1990年代以降に製造	セラミックステューディオ・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
17	リサ・ラーソン	ネコのマイキーの立体版原型作品(ユニークピース)	手びねり、炻器	43	113	25		2000年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
18	リサ・ラーソン	ネコ/大きな動物園シリーズ 現在の愛称：マックス	泥漿焼込、炻器	115	315	90		製造1958-1979年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
19	リサ・ラーソン	ネコのトラップ/トリップ・トラップ・トゥルルシリーズ	泥漿焼込、炻器	160	87	80		製造1972-1974年(デザイン1968年)	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
20	リサ・ラーソン	ネコ(マキシ)/大きな動物園シリーズ 現在の愛称：ミア	泥漿焼込、炻器	350	240	220		本モデルは1966年から製造。本作品は1966-1980年頃に製造	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
21	リサ・ラーソン	ブルドッグ/大きな動物園シリーズ	泥漿焼込、炻器	130	132	135		製造1960-1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
22	リサ・ラーソン	ブルドッグ/ケンネルシリーズ	泥漿焼込、炻器	140	130	170		製造1972-1987年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
23	リサ・ラーソン	ダックスフンド/小さな動物園シリーズ	泥漿焼込、炻器	45	145	35		製造1956-1978年	グスタフスベリ磁器工房	個人蔵
24	リサ・ラーソン	雄鶏/レグホーンシリーズ	泥漿焼込、炻器	380	280	160		本モデルは1968年から製造。本作品は1984年に製造	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵



№	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
25	リサ・ラーソン	雌鳥/レグホーンシリーズ	泥漿鑄込、珐器	295	265	140		製造1968年以降	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
26	リサ・ラーソン	ひとこぶラクダたち	泥漿鑄込、珐器	355	425	170		本モデルは1979年から製造。本作品は1980年に製造	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
27	リサ・ラーソン	クマ/スカンセン北欧動物園シリーズ	泥漿鑄込、珐器	100	160	85		製造1977年以降	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
28	リサ・ラーソン	キツネ/スカンセン北欧動物園シリーズ	泥漿鑄込、珐器	80	155	135		製造1977年以降	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
29	リサ・ラーソン	ハリネズミ/危機に瀕した動物たちシリーズ	泥漿鑄込、珐器	103	160	120		製造1979年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
30	リサ・ラーソン	ハイロアザラシ/危機に瀕した動物たちシリーズ	泥漿鑄込、珐器	114	185	108		製造1977年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
31	リサ・ラーソン	ヘラジカ/大きな動物園シリーズ	泥漿鑄込、珐器	256	73	220		製造1958-1979年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
32	リサ・ラーソン	はじめの歩 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 珐器	130	120	130		1959年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
33	リサ・ラーソン	ベアー/ABC少女シリーズ	泥漿鑄込、珐器	98	94	195		本モデルは1958-1973年に製造。本作品は1962年に製造	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
34	リサ・ラーソン	アマリア/ABC少女シリーズ	泥漿鑄込、珐器	180	102	130		製造1958-1973年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
35	リサ・ラーソン	ドーラ/ABC少女シリーズ	泥漿鑄込、珐器	280	130	88		製造1958-1973年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
36	リサ・ラーソン	エンマ/ABC少女シリーズ	泥漿鑄込、クロモブリ ント、珐器	170	110	120		本モデルは1958-1973年に製造。本作品は1971年に製造	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
37	リサ・ラーソン	シャルロット/ABC少女シリーズ	泥漿鑄込、珐器	165	100	105		製造1958-1973年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
38	リサ・ラーソン	日本女性	泥漿鑄込、珐器	270	120	130		製造1958-1973年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
39	リサ・ラーソン	マリソ/ラーソン家の子どもたちシリーズ	泥漿鑄込、珐器	178	120	70		製造1962-1980年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
40	リサ・ラーソン	イブ/アダムとイブシリーズ	泥漿鑄込、珐器	250	80	80		製造1972-1980年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
41	リサ・ラーソン	アダム/アダムとイブシリーズ	泥漿鑄込、珐器	250	80	80		製造1972-1980年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
42	リサ・ラーソン	ローサ	泥漿鑄込、クロモブリ ント、珐器	103	115	140		製造1970年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
43	リサ・ラーソン	バックス	泥漿鑄込、クロモブリ ント、珐器	167	180	160		製造1972年頃	グスタフスベリ磁器工房	個人蔵
44	リサ・ラーソン	社会討論(大)	泥漿鑄込、クロモブリ ント、珐器	390	265	130		製造1969-1971年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
2章 筆描きの妙 Brushwork										
45	ヒルディング・オールソン	グスタフスベリ磁器工房で鉢に絵付けをするリサ・ラーソン	写真	225	174			1960年代初頭(写真は1962年の雑誌に掲載)		リサ・ラーソン蔵
46	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、珐器	375			155	1968年頃	グスタフスベリ磁器工房	個人蔵
47	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、珐器	305	145	155		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
48	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、珐器	277			161	1968年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
49	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、珐器	133			95	1968年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
50	リサ・ラーソン	円筒型の花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、珐器	200			105	1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵

№	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
51	リサ・ラーソン	円筒型の花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	105			115	1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
52	リサ・ラーソン	ペアのブードル	泥漿鑄込、炆器	175	105	90		製造1964-1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
53	リサ・ラーソン	ペアのブードル	泥漿鑄込、炆器	175	105	90		製造1964-1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
54	リサ・ラーソン	グスタフスベリ社150周年記念の鉢	泥漿鑄込、炆器	65			117	製造1975年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
55	リサ・ラーソン	グスタフスベリ社150周年記念の鉢	泥漿鑄込、炆器	65			117	製造1975年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
56	リサ・ラーソン	グスタフスベリ社150周年記念の鉢	泥漿鑄込、炆器	65			117	製造1975年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
57	リサ・ラーソン	グスタフスベリ社150周年記念の鉢	泥漿鑄込、炆器	65			117	製造1975年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
58	リサ・ラーソン	カメ	泥漿鑄込、炆器	43	103	85		製造1963-1976年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
59	リサ・ラーソン	ミラーフレーム/マチルダシリーズ	泥漿鑄込、炆器、鏡	30			275	1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
60	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	60			205	1970年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
61	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	ろくろ成形、金彩、炆器	51			190	1970年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
62	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	ろくろ成形、金彩、炆器	85			265	1970年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
63	リサ・ラーソン	蓋付深鉢	泥漿鑄込、炆器	187	330	250		1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
64	リサ・ラーソン	ボトル型の花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	215	150	150		1964年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
65	リサ・ラーソン	ボトル型の花器/カロリンシリーズ	泥漿鑄込、炆器	143	104	104		製造1964-1971年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
66	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	285	180	180		1968年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
67	リサ・ラーソン	皿/カロリンシリーズ	炆器	22			195	製造1964-1971年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
68	リサ・ラーソン	皿/カロリンシリーズ	炆器	22			195	製造1964-1971年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
69	リサ・ラーソン	文様のためのスケッチ	墨、紙	307	253			1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
70	リサ・ラーソン	文様のためのスケッチ	インク、紙	347	453			1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
3章 スウェーデンの家屋 Houses										
71	リサ・ラーソン	旧市街	泥漿鑄込、炆器	280	280	25		製造1963-1978年	グスタフスベリ磁器工房	個人蔵
72	リサ・ラーソン	ストックホルム旧市街のスケッチ	インク、紙	210	300			1960年代初頭	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
73	リサ・ラーソン	茶色の家屋	泥漿鑄込、炆器	154	150	60		製造1987年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
74	リサ・ラーソン	黒と白の家屋	泥漿鑄込、炆器	150	95	65		製造1985年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
75	リサ・ラーソン	薄茶色の家屋	泥漿鑄込、炆器	180	72	50		製造1980年代-1990年代 初頭	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
76	リサ・ラーソン	青の家屋	泥漿鑄込、炆器	161	110	75		製造1980年代後期または 1990年代初頭	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵

No	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
77	リサ・ラーソン	白の家屋	泥漿鑄込、炆器	246	180	80		製造1980年代後期または1990年代初頭	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
77 bis	リサ・ラーソン	白の館	泥漿鑄込、炆器	246	192	80		製造1980年代後期または1990年代初頭	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
78	リサ・ラーソン	木骨造りの家屋	泥漿鑄込、炆器	150	97	55		製造1986年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
79	リサ・ラーソン	灰色の家屋	泥漿鑄込、炆器	200	70	57		製造1984年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
4章 丸形からのインスピレーション Roundels										
80	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	114	114	40		1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
81	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	104	104	37		1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
82	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	104	104	37		1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
83	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	117	120	55		1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
84	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	105	105	50		1979年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
85	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	104	103	43		1979年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
86	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	107	107	40		1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
87	リサ・ラーソン	丸形 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	115	110	39		1980年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
88	リサ・ラーソン	レリーフ(トリのモチーフ)/丸形シ リーズ	泥漿鑄込、炆器	125	125	40		製造1969-1972年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
89	リサ・ラーソン	レリーフ(チョウのモチーフ)/丸形 シリーズ	泥漿鑄込、炆器	125	125	40		製造1969-1972年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
90	リサ・ラーソン	大皿 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器			54	374	1993年	セラミックステューディオ ン・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
91	リサ・ラーソン	大皿 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器			54	380	1993年	セラミックステューディオ ン・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
92	リサ・ラーソン	大皿 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器			54	380	1993年	セラミックステューディオ ン・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
93	リサ・ラーソン	大皿 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器			55	375	1993年	セラミックステューディオ ン・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
94	リサ・ラーソン	ボードゲーム「ターン・ザ・ウィン ド」 (ユニークピース)	炆器、木	35	325	325		1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
95	リサ・ラーソン	黄色い紙に貼られたスケッチ	墨、紙	285	268			1970年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
96	リサ・ラーソン	緑色の紙に貼られたスケッチ	墨、紙	280	393			1970年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
97	リサ・ラーソン	緑色の紙に貼られたスケッチ	墨、紙	280	388			1970年頃	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
5章 マスメディアの中のリサ・ラーソン Lisa Larson in the Public Eye										
98	撮影： マリアンヌ・リンドス トローム	『フォルケット・イ・ビルド』誌 1960年13号		300	450 (見開き)			1960年		リサ・ラーソン蔵
99	撮影： ウーヴェ・ヴァリオン	『ヒュースモーダン』誌 1961年28号		300	430 (見開き)			1961年		リサ・ラーソン蔵
100		裏表紙にグスタフスベリ社の広告が 掲載された『フォルム』誌 1961年9号		274	210			1961年		個人蔵
101		裏表紙にグスタフスベリ社の広告が 掲載された『フォルム』誌 1962年7号		274	210			1962年		個人蔵

No	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
102		1962年にストックホルムで開催されたリサ・ラーソンの最初の個展批評が掲載された『フォルム』誌1962年8号		274	420 (見開き)			1962年		個人蔵
103	撮影者不詳	リサ・ラーソンとレディ・バード・ジョンソン(後の米国大統領リンドン・B.ジョンソン副大統領夫人)	写真	180	240			1963年9月5日		リサ・ラーソン蔵
104	撮影: ベングト・H. マルムクヴィスト	雑誌		290	425			1965年		リサ・ラーソン蔵
105		裏表紙にグスタフスベリ社の広告が掲載された『フォルム』誌1967年7号		274	210			1967年		個人蔵
106	撮影: ハインス・フォン・ステルネック	『フェーミナ』誌1970年3号		290	215			1970年		リサ・ラーソン蔵
107	撮影: パール・ヴィークルンド	『ヴェッコシヨナーレン』誌(週刊誌)		295	210			1971年		リサ・ラーソン蔵
108	撮影者不詳	リサ・ラーソンとスウェーデン皇太子、後の国王カール16世グスタフ	写真	142	200			1970年代		リサ・ラーソン蔵
109	撮影者不詳	グスタフスベリ社のポスター		420	297			1970年代		リサ・ラーソン蔵
110	撮影者不詳	リサ・ラーソンの「世界の子どもたち」シリーズを宣伝するグスタフスベリ社の広告	写真	500	500			1970年代		リサ・ラーソン蔵
111	撮影: ナディア・エークマン	『ヴィー』誌1995年21号	雑誌	280	466 (見開き)			1995年		リサ・ラーソン蔵

### ◆ Unseen(6章~9章)

No	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
6章 初期の作品(学生時代のリサ・ラーソン) Early Works										
112	リサ・ラーソン	文様のあるレリーフ状のミラーフレーム(ユニークピース)	陶器、鏡	540	435	40		1953年	ヨーテボリのデザイン工芸学校、スロイドフォレーニング校(現職ヨーテボリデザイン工芸大学)	リサ・ラーソン蔵
113		ヨーテボリのデザイン工芸学校の年鑑		230	355 (見開き)			1953年		リサ・ラーソン蔵
114		ヨーテボリのデザイン工芸学校の年鑑		225	180			1952年		リサ・ラーソン蔵
115	トユーレ・アルム	ヨーテボリのデザイン工芸学校の年鑑		230	177			1952年		リサ・ラーソン蔵
116	リサ・ラーソン	初期の人物像(ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、陶器	182	79	79		1952年	ヨーテボリのデザイン工芸学校、スロイドフォレーニング校(現職ヨーテボリデザイン工芸大学)	リサ・ラーソン蔵
117	リサ・ラーソン	立つ女性(ユニークピース)	手びねり、陶器	193	85	80		1950年代初頭	ヨーテボリのデザイン工芸学校、スロイドフォレーニング校(現職ヨーテボリデザイン工芸大学)	個人蔵
118	リサ・ラーソン	男性とロバ(ユニークピース)	手びねり、陶器	150	145	50		1954年	ヨーテボリのデザイン工芸学校、スロイドフォレーニング校(現職ヨーテボリデザイン工芸大学)	リサ・ラーソン蔵
119	リサ・ラーソン	トリのレリーフ(ユニークピース)	陶器	136	266	11		1950年代初頭	ヨーテボリのデザイン工芸学校、スロイドフォレーニング校(現職ヨーテボリデザイン工芸大学)	リサ・ラーソン蔵
120	リサ・ラーソン	ボートに乗る漁師(ユニークピース)	手びねり、炆器	104	107	67		1955年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
121	リサ・ラーソン	鉢(ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	57			200	1958年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
7章-1 レア&ユニーク 希少なユニークピースの数々 Rare and Unique: Miscellaneous										
122	リサ・ラーソン	枝付燭台(ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、炆器	178	190	105		1966年	カリフォルニア大学パークレー校、アメリカ合衆国	リサ・ラーソン蔵
123	リサ・ラーソン	ウマに乗るカップルの枝付燭台(ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、炆器	232	240	75		1972年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
124	リサ・ラーソン	燭台(ユニークピース)	ろくろ成形、金彩、炆器	155	80	80		1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
125	リサ・ラーソン	燭台(ユニークピース)	ろくろ成形、金彩、炆器	209	119	119		1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵

№	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
126	リサ・ラーソン	枝付燭台 (ユニークピース)	ろくろ成形、釉薬、炆器	218	180	110		1965年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
127	リサ・ラーソン	枝付燭台 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	480	300	300		1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
128	リサ・ラーソン	青いトリ (ユニークピース)	エナメル、金属	356	480			1955年	グスタフスベリ磁器工房 ホーロー部門	個人蔵
129	リサ・ラーソン	ダブルウォールの正方形の鉢 (ユニークピース)	炆器	105	144	146		1984年	マグレヘムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
130	リサ・ラーソン	ダブルウォールの鉢 (ユニークピース)	炆器	94			155	1984年	マグレヘムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
131	リサ・ラーソン	ダブルウォールの四角形の台座付鉢 (ユニークピース)	炆器	163	132	132		1985年	マグレヘムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
132	リサ・ラーソン	三角の台座付花器 (ユニークピース)	炆器	162	130	130		1989年	マグレヘムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
133	リサ・ラーソン	乗馬 (ユニークピース)	手びねり、炆器	300	235	55		1950年代後期	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
134	リサ・ラーソン	花を持つ子ども (ユニークピース)	たたら、手びねり、炆器	188	86	81		1970年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
135	リサ・ラーソン	スケッチ	インク、紙	300	220			1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
7章-2 レア&ユニーク：動物たちは友達！ Rare and Unique: Our Friends the Animals										
136	リサ・ラーソン	トリの器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	214	180	120		1982年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
137	リサ・ラーソン	空想のトリ (ユニークピース)	手びねり、炆器	188	165	100		1985年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
138	リサ・ラーソン	フクロウ (ユニークピース)	炆器	225	190	110		1980年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
139	リサ・ラーソン	フクロウ (ユニークピース)	炆器	225	190	110		1980年代?	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
140	リサ・ラーソン	青いウマ (ユニークピース)	手びねり、炆器	150	230	55		1980年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
141	リサ・ラーソン	金のヒレを持つサカナ (ユニークピース)	炆器	90	115	30		1990年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
142	リサ・ラーソン	大きなサカナ (ユニークピース)	炆器	235	300	95		1990年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
143	リサ・ラーソン	吠える未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炆器	77	75	60		1990年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
144	リサ・ラーソン	首の長い未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炆器	150	110	40		2008年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
145	リサ・ラーソン	鼻の大きな未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炆器	95	150	85		1970年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
146	リサ・ラーソン	座る未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炆器	63	110	63		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
147	リサ・ラーソン	匂いを嗅ぐ未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炆器	77	170	75		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
148	リサ・ラーソン	角がある未知の動物 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	99	155	85		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
149	リサ・ラーソン	均整の取れた未知の動物 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	117	190	80		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
150	リサ・ラーソン	茶色の未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炆器	100	140	80		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
151	リサ・ラーソン	リスに似た未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炆器	105	180	95		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵

No	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
152	リサ・ラーソン	微笑む未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炆器	110	190	100		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
153	リサ・ラーソン	クマに似た未知の動物 (ユニークピース)	手びねり、炆器	94	150	80		1968年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
154	リサ・ラーソン	人喰いの大鷲トリコ	泥漿焼込、炆器	127	100	50		2016年	クラミークステューディオ ・グスタフスベリ	リサ・ラーソン蔵
7章-3 レア&ユニーク：ひとの器 Rare and Unique: Human Vessels										
155	リサ・ラーソン	陶芸家 (ユニークピース)	手びねり、炆器	98	65	50		1950年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
156	リサ・ラーソン	花の帽子をかぶった婦人の蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	90	72	72		1982年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
157	リサ・ラーソン	鳥の帽子をかぶった男性の蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	105	55	50		1982年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
158	リサ・ラーソン	紳士の蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	82	60	60		1982年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
159	リサ・ラーソン	月桂冠をかぶった男性の蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	63	65	65		1982年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
160	リサ・ラーソン	シェフの蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	100	70	60		1982年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
161	リサ・ラーソン	「ダイビング中」蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	195	80	80		1981年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
162	リサ・ラーソン	「去ろうとする」蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	176	90	115		1981年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
163	リサ・ラーソン	「現れた」蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	202	100	98		1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
164	リサ・ラーソン	「入浴中」蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 炆器	165	100	100		1972年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
165	リサ・ラーソン	ミイラ (ユニークピース)	たたら、手びねり、炆 器	497	170	130		1996年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
166	リサ・ラーソン	トルソー型の花器 (ユニークピース)	たたら、手びねり、一部 釉薬、炆器	368	95	60		1998年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
7章-4 レア&ユニーク：幼少期 Rare and Unique: Childhood										
167	リサ・ラーソン	スケッチ	インク、紙	340	310			1960年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
168	リサ・ラーソン	ハイハイする子ども (ユニークピース)	手びねり、炆器	75	43	83		1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
169	リサ・ラーソン	親指姫 (ユニークピース)	手びねり、炆器	168	150	155		1982年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
170	リサ・ラーソン	座る1歳の子ども (ユニークピース)	手びねり、炆器	138	70	70		1980年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
171	リサ・ラーソン	2歳の子どもの子ネコ (ユニークピース)	手びねり、炆器	140	95	100		1989年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
172	リサ・ラーソン	姉と赤ん坊 (ユニークピース)	手びねり、炆器	168	130	100		1980年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
173	リサ・ラーソン	祖父の膝の上で (ユニークピース)	手びねり、炆器	192	140	125		1980年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
174	リサ・ラーソン	10代の頃のヨハンナ・ラーソンの肖像 (ユニークピース)	手びねり、炆器	308	195	145		1977年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
175	リサ・ラーソン	子どもの頃のマティアス・ラーソンの肖像 (ユニークピース)	手びねり、炆器	320	190	210		1977年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
7章-5 レア&ユニーク：瞑想 Rare and Unique: Contemplation										
176	リサ・ラーソン	思索する (ユニークピース)	手びねり、炆器	140	65	85		1980年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵

No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
177	リサ・ラーソン	思索する (ユニークピース)	手びねり、焔器	166	80	80		1970年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
178	リサ・ラーソン	腕組み (ユニークピース)	手びねり、焔器	148	65	75		1974年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
179	リサ・ラーソン	ベッドの端で (ユニークピース)	手びねり、焔器	167	245	150		1979年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
180	リサ・ラーソン	フラミンゴ・マン (ユニークピース)	手びねり、クロモブリ ント(転写紙)、焔器	162	115	75		1960年代後期	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
181	リサ・ラーソン	クジャクの椅子 (ユニークピース)	手びねり、焔器	210	150	90		1970年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
182	リサ・ラーソン	喜び (ユニークピース)	手びねり、焔器	210	150	90		2002年	マグレハムのリサ・ラー ソンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
183	リサ・ラーソン	座る人 (ユニークピース)	手びねり、焔器	133	95	100		1992年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
184	リサ・ラーソン	特等席 (ユニークピース)	手びねり、焔器	365	235	85		1967年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
185	リサ・ラーソン	気難しい人 (ユニークピース)	手びねり、クロモブリ ント(転写紙)、焔器	110	103	80		1960年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
7章-6 レア&ユニーク：ストレッチ Rare and Unique: Stretching										
186	リサ・ラーソン	戦士 (ユニークピース)	手びねり、焔器	300	465	130		2001年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
187	リサ・ラーソン	身体を折り曲げて (ユニークピース)	手びねり、焔器	98	75	95		1976年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
188	リサ・ラーソン	回転する (ユニークピース)	手びねり、焔器	170	145	80		1970-1980年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
189	リサ・ラーソン	逆立ち (ユニークピース)	手びねり、クロモブリ ント(転写紙)、焔器	260	115	95		2009年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
190	リサ・ラーソン	バランス (ユニークピース)	手びねり、焔器	164	130	60		1981年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
191	リサ・ラーソン	ダンサーたち	インク、紙	187	198			1990年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
192	リサ・ラーソン	ダンサーたち	インク、紙	250	360			2008年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
7章-7 レア&ユニーク：情景 Rare and Unique: Scenes										
193	リサ・ラーソン	家族 (ユニークピース)	焔器	278	355	40		1990年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
194	リサ・ラーソン	アダムとイブ (ユニークピース)	たたら、手びねり、焔器	210	210	55		1980年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
195	リサ・ラーソン	愛情 (ユニークピース)	手びねり、焔器	193	170	75		1980年	マグレハムのリサ・ラー ソンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
196	リサ・ラーソン	親密な二人 (ユニークピース)	手びねり、焔器	180	160	120		1990年代	マグレハムのリサ・ラー ソンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
197	リサ・ラーソン	キス (ユニークピース)	手びねり、焔器	168	120	85		1996年	マグレハムのリサ・ラー ソンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
198	リサ・ラーソン	献身的愛情 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 焔器	115	114	114		1981年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
7章-8 レア&ユニーク：器の装飾 Rare and Unique: Surfaces										
199	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、焔器	98			140	1950年代後期	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
200	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、焔器	103			143	1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
201	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、焔器	223	195	195		1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵

No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
202	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、焔器	265	110	110		1960年代	マグレハムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
203	リサ・ラーソン	蓋付容器 (ユニークピース)	ろくろ成形、焔器	123	125	125		1975年	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
204	リサ・ラーソン	壺 (ユニークピース)	ろくろ成形、焔器	140	130	130		1979年	マグレハムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
205	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	ろくろ成形、焔器	165			220	1980年	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
206	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	焔器	285	130	130		1987年	マグレハムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
207	リサ・ラーソン	壺 (ユニークピース)	ろくろ成形、一部金 泥、焔器	250			280	1992年	マグレハムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
208	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	焔器	365	135	103		1995年	マグレハムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
209	リサ・ラーソン	花器(ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 焔器	344	250	270		1997年	マグレハムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
210	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	焔器	344	103	80		1998年	マグレハムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
211	リサ・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	焔器	175			345	1990年代	マグレハムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
212	リサ・ラーソン	壺 (ユニークピース)	焔器	190	200	100		2001年	マグレハムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
213	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、手びねり、 焔器	294	260	170		2002年	マグレハムのリサ・ラーソン ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
214	リサ・ラーソン	スケッチ	インク、水彩、紙	310	215			1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
215	リサ・ラーソン	スケッチ	インク、水彩、紙	320	233			1960年代	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
8章 新しい素材への挑戦 New Materials										
216	リサ・ラーソン	親指姫	緑青加工されたブロンズ	167	147	68		製造1978年	スカンディア・プレゼント社、 ギャラリースカンディア	リサ・ラーソン蔵
217	リサ・ラーソン	ティーンエイジャー	緑青加工されたブロンズ	266	90	70		製造1978年	スカンディア・プレゼント社、 ギャラリースカンディア	リサ・ラーソン蔵
218	リサ・ラーソン	瞑想/思想家	緑青加工されたブロンズ	131	45	55		製造1978年	スカンディア・プレゼント社、 ギャラリースカンディア	リサ・ラーソン蔵
219	リサ・ラーソン	子ども	緑青加工されたブロンズ	150	65	110		製造1978年	スカンディア・プレゼント社、 ギャラリースカンディア	リサ・ラーソン蔵
220	リサ・ラーソン	ボール	緑青加工されたブロンズ	150	77	123		製造1978年	スカンディア・プレゼント社、 ギャラリースカンディア	リサ・ラーソン蔵
221	リサ・ラーソン	偉大なる舟乗り	緑青加工されたブロンズ	105	73	114		製造1978年	スカンディア・プレゼント社、 ギャラリースカンディア	リサ・ラーソン蔵
222	リサ・ラーソン	ネコのジャマーレ、リキュールのデ カンター	型吹きガラス	225	115	90		製造1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵
223	リサ・ラーソン	フィルフン(酔っぱらったイヌ)、リ キュールのデカンター	型吹きガラス	114	242	75		製造1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵
224	リサ・ラーソン	男性とサカナ	鑄込ガラス	97	110	28		製造1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵
225	リサ・ラーソン	聞かザル/見ザル、聞かザル、言わ ザルシリーズ	鑄込ガラス	88	97	35		製造1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵
226	リサ・ラーソン	見ザル/見ザル、聞かザル、言わザ ルシリーズ	鑄込ガラス	88	97	35		製造1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵
227	リサ・ラーソン	言わザル/見ザル、聞かザル、言わ ザルシリーズ	鑄込ガラス	88	97	35		製造1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵



No.	作家名	作品名	技術	サイズ(mm)				制作年	制作場所	所蔵
				高さ	幅	奥行	直径			
228	リサ・ラーソン	ネコ/自由な動物たちシリーズ	鑄込ガラス	204	206	45		製造1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵
229		リサ・ラーソンのガラス製品のための ロイヤル・クローナ社の 広告	プリントされた紙	210	297			1970年代	ロイヤル・クローナ社	リサ・ラーソン蔵
230	リサ・ラーソン	コスタガラス工房のガラス吹き工た ち	鉛筆、紙	310	245			1954年	コスタガラス工房、ス ウェーデン	リサ・ラーソン蔵
231	リサ・ラーソン	コスタガラス工房のガラス吹き工た ち	鉛筆、紙	310	245			1954年	コスタガラス工房、ス ウェーデン	リサ・ラーソン蔵
9章 リサとグンナル - 芸術家同士の語り Lisa & Gunnar - An Artistic Dialogue										
232	グンナル・ラーソン	ガラス瓶	型吹きガラス	175	110	65		1970年代	スクルーフ社ガラス工房、 スウェーデン	リサ・ラーソン蔵
233	グンナル・ラーソン	国境を越えて	テンペラ、キャンヴァ ス	1360	1250			1950年代	グンナル・ラーソンアトリ エ	リサ・ラーソン蔵
234	リサ・ラーソン	花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	270			280	1960年代初頭	グスタフスベリ磁器工房	リサ・ラーソン蔵
235	グンナル・ラーソン	無重力の中で上昇	グワッシュ、接着剤、 紙	760	1400			1950年代	グンナル・ラーソンアトリ エ	リサ・ラーソン蔵
236	リサ・ラーソン	大きな花器 (ユニークピース)	ろくろ成形、炆器	315			265	1960年頃	グスタフスベリ磁器工房	個人蔵
237	グンナル・ラーソン	彫刻花器 (ユニークピース)	たたら、手びねり、炆 器	350	130	120		1966年	カリフォルニア大学パー クレー校、アメリカ合衆 国	リサ・ラーソン蔵
238	リサ・ラーソン	彫文風景図花器花器 (ユニークピース)	手びねり、炆器	350			120	1970年代	グスタフスベリ磁器工房	個人蔵
239	グンナル・ラーソン	電信柱	インク、水彩、紙	500 (新な し350)	585 (新な し445)			1980年代	グンナル・ラーソンアトリ エ	リサ・ラーソン蔵
240	グンナル・ラーソン	スコーネ地方の風景	油彩、キャンヴァス	760	665			1980年代	マグレハムのグンナル・ ラーソンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
241	リサ・ラーソン	風景の中で座っている女性のレリー フ (ユニークピース)	たたら、手びねり、炆 器	444	300	60		1980年代	マグレハムのリサ・ラーソ ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
242	グンナル・ラーソン	座る人	アクリル、顔料、キャン ヴァス	940	920			1990年代	グンナル・ラーソンアトリ エ	リサ・ラーソン蔵
243	グンナル・ラーソン	平原の少女	水彩、紙	445	375			2000年	グンナル・ラーソンアトリ エ	リサ・ラーソン蔵
244	リサ・ラーソン	女性の顔のレリーフ (ユニークピース)	炆器	227	243	40		1980年代	リサ・ラーソンアトリエ	リサ・ラーソン蔵
245	グンナル・ラーソン	有名人	アクリル絵具、キャン ヴァス	1000	715			1980年代	グンナル・ラーソンアトリ エ	リサ・ラーソン蔵
246	グンナル・ラーソン	角瓶 (ユニークピース)	たたら、炆器	278	157	105		1970年代	グンナル・ラーソンアトリ エ	リサ・ラーソン蔵
247	グンナル・ラーソン	川	アクリル絵具、紙	675	524			1980年代	グンナル・ラーソンアトリ エ	リサ・ラーソン蔵
248	グンナル・ラーソン	トリ (ユニークピース)	手びねり、炆器、木枠	175	263	105		1960年代	グンナル・ラーソンアトリ エ	リサ・ラーソン蔵
249	グンナル・ラーソン	人物像 (ユニークピース)	手びねり、炆器	225	275	90		1967年	グンナル・ラーソンアトリ エ	リサ・ラーソン蔵
250	グンナル・ラーソン	鉢 (ユニークピース)	染焼	104			120	1969年頃	マグレハムのグンナル・ ラーソンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵
251	リサ・ラーソン	母親と子ども (ユニークピース)	染焼	134	105	95		1969年	マグレハムのリサ・ラーソ ンサマーアトリエ	リサ・ラーソン蔵

## 陶芸館ギャラリー企画展

夏休み企画 夏休み特別企画「子どもたちの土の造形 2023」展

### ■趣 旨

本年度は、陶芸館ギャラリーにて夏休み特別企画「子どもたちの土の造形 2023」展を開催。

1学期に実施したつつっこプログラムの来園制作や出張授業において、生き生きと創作した子どもたちの作品を展示しました。

甲賀市立雲井小学校は全校児童のうち5学年が来園制作を活用しています。6年生では大塚オーミ陶業株式会社による特別出張授業を実施。こちらの企業で製作された高精細複製国宝火焰型土器を実際に持ち上げ、その重量と質感を体感させていただく授業を経て、陶芸の森で令和土器を制作します。

文様の持つ意味などを工夫しながら思い思いに工夫を凝らした令和土器の他にも、土面やたぬき、シーサーなど、各学年の作品と合わせて全 83 点が並びました。

湖南省立石部小学校特別支援学級では、昨年度の経験を踏まえ今年はこんな形にしたい！と子どもたちなりに構想を描きながら制作。満足のいく出来栄えに、喜びいっぱいの表情を見せてくれました。作品展では制作風景や作品の写真パネルを展示しました。

本年度から初めて体験された滋賀県立小児保健医療センターでは、就学前の子どもたちがおうちの方と一緒にねんどに触れる体験をされました。初めての感触で生じた驚きの表情は、やがて心地よさ、楽しさを示す表情へと変わっていきました。ねんどで十分に遊んだあと、土台にくっつけて着色し、作品はでき上がり。担当される先生の思いと陶芸家の講師の経験とをすり合わせ、子どもたちの実態に応じた特別なプログラムのあしあとを写真パネルで展示しました。

さらに、社会科学習で伝統工芸信楽焼について見学・聞き取り・調査などで学習したことをリーフレットにして広く発信したいという御要望に応じて、壁面には学習成果物展示スペースを確保しました。

伝統工芸継承のためにできることについて考えた、こうした取組に敬意を表するとともに、学校からの発信の場を提供するという機能があることに意味を感じました。

- 会 期 7月15日(土)～9月3日(日)(51日間)
- 主 催 滋賀県立陶芸の森/世界にひとつの宝物づくり実行委員会
- 出品点数 小学校作品 84 点・写真パネル 23 点
- 観 覧 料 無料
- 入場者数 9,748 人(191.1 人/日)



展示風景



令和土器 6年生



展示風景(県立小児保健医療センター)



シーサー5年生



学習成果物展示スペース

## 特別展「岡本太郎 アートの夢」Part2【シーン4】

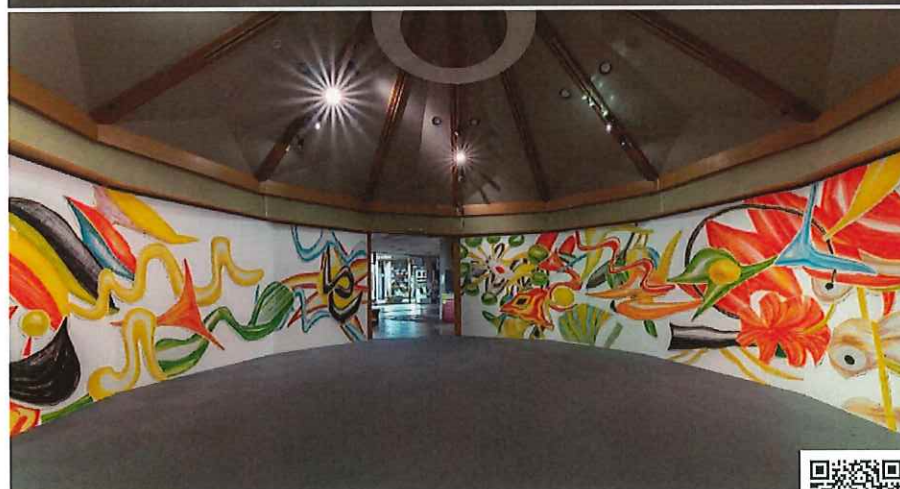
### 川田知志「太郎の色とカタチ×パブリック」

#### ■趣 旨

“壁画は趣味的な美術作品ではなく、社会にうち出すピープルの巨大なマニフェストなのだ。そこに強烈な土地の匂いがふきあがっている”という岡本太郎は、〈社会にとって芸術とは何か〉を生涯にわたり追求し続けました。特別展「岡本太郎 アートの夢」パート2で重要な核となる【シーン4】の本企画展では、現代の公共空間における壁画の新たなあり方について国内で数少ない壁画家・川田知志氏の試みを紹介しました。

本展は、陶芸館ギャラリーの全面・幅 23.1mにおよぶ大画面に、川田氏の眼差しで太郎の新たなイメージをフレスコ画※で創出しました。川田氏は、岡本太郎の手がけた作品とドローイングから、社会に対して公共空間で発信し続けたメッセージを、建築とカタチとの関連性を探り、信楽での彼の足跡を踏まえた上で、新たなカタチをダイナミックに再構築しました。本展では、色とカタチという表面的な解釈だけでなく、岡本太郎の芸術の根底にある公共的な場との関係性、信楽の産業的背景を探りながら、現代の壁画やパブリックアートの新しい可能性を浮き彫りにしました。

※フレスコ画(Fresco)：1300年頃にイタリアで出来上がった 漆喰を塗って乾き切らないうちに描く壁画の技法。



3D 撮影による展示会場の 360° VR ツアー →



■会 期 9月30日(土)~12月17日(日) 68日間  
※休館日：月曜日、10月9日(月・祝)は開館し翌日振替休館

■主 催 滋賀県立陶芸の森  
■作 家 川田知志  
■作 品 インスタレーション (壁11面の展開サイズ=H240×W2310cm)  
■素 材 漆喰、顔料、膠、カゼインカルシウム

■関連資料 絵具用の釉薬実験サンプルと、実験内容をパネルで入口にて展示

■関連展示 「岡本太郎アートの夢」展 パート1より、陶芸館ギャラリーの予告展示として壁画の  
ドローイングや、模型等を紹介。その他の「ホーロー×アートプロジェクト」、タイル  
プロジェクトを一部展示(陶芸館の展示室2の出口あたり) ※別送リストに掲載

■観 覧 料 無料

■入場者数 18,126人 (一日平均 266.5人)

■掲載記事 9月29日(金)18時 ~10月2日(月)16時 アイコム甲賀(地域放送)

9月30日(土)「岡本作品を解釈 円形壁画に」 中日新聞(滋賀総合)

### ■壁画制作風景



① 9/8 ドローイング



➔ ② 9/9 網貼り作業



(漆喰が食いやすくするため)



➔③ 9/14 下塗り漆喰作業



➔④ 9/16~28 上塗り漆喰の上に 彩色



■SNS 広報 制作過程を、当館 SNS でリポーター配信。加えて、SNS の有料広告を初めて取り組み、  
今までと違う各層(壁画)を含めて若い世代をターゲットにし、幅広く周知しました。

※展示空間を3Dで撮影し、展示終了後に「陶芸館3Dデジタルアーカイブ」で公開。

※動画制作 Full 動画は展示会場の入口で放映/ダイジェスト版は当館 youtube で配信➔



■ 関連展示風景 (展示室2)



《瀬戸風景 2022 プロジェクト》の作品一部と  
作品資料とテストピース



《ホーロー×アートプロジェクト》フレスコ画とホーロー

■ 予告展示風景 (岡本太郎 アートの夢展 パート1 より)



全体風景

《大衆へのフレスコ画》と《大衆への習作》 《大衆への模型》 (陶芸館ギャラリー1/17 縮尺)

■ 関連ワークショップ「カタチに描くフレスコ画」

上記展の開催にあわせて、川田氏を講師に招き、「フレスコ画」について実際に体験できる講座を実施。  
当館の特性を生かして、素焼きした様々なやきもののかたちでフレスコ画で好きな絵を描きました。

[日時] 2023年 11月25日(土) 10:30~14:30 / [講師] 川田知志

[場所] 滋賀県立陶芸の森 信楽産業展示館 創作スペース [参加者] 15人

[参加料] 3500円

※後日、報告動画を制作し当館 SNS・YouTube に配信➡



本館の陶芸体験「バブリック」展  
関連ワークショップ

# カタチに描く フレスコ画

**11月25日(土)**  
**10:30~14:30**

講師: 川田知志 (本館出品作家)  
KAWATA, Satoshi  
定員: 20人  
参加料: 3500円  
場所: 滋賀県立陶芸の森  
信楽産業展示館 創作スペース

申込方法など詳細は  
当館HPにて➡

申込み締切: 11月19日(日)



## 絵具用の釉薬実験ノート

今回のプロジェクトにおいて、当初川田氏と打ち合わせをした際に、信楽と岡本太郎の関係を結びつけたきっかけが「赤」の釉薬であり、それを制作の糸口にできないかという話をしていた（詳細は、本展の【シーン1】赤のエピソードコラムに記載）。

そこで、赤色の釉薬を焼いて砕いたものを、フレスコ画の顔料として用いることができるか、という実験を試みた。そうすることによって、赤色を主体とした新たな壁画表現の展開を考えた。

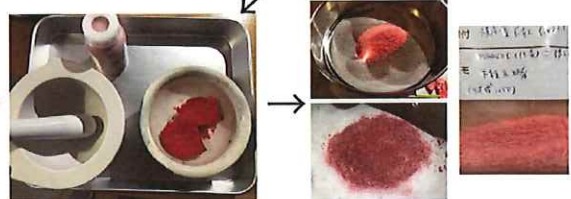
下記の3つの実験を通して、釉薬を砕いたものは顔料として使用できることが明らかとなったが、吸水性のある漆喰の上では、サンプルに見られるように、なかなか太郎が求めた赤色の発色は難しかった。よって、今回のプロジェクトには洋画材顔料を使用することとした。その過程を紹介し、実験サンプルを展示する。

### 実験1. 陶芸用の赤系列顔料+透明釉 (3号釉)



結果的には  
焼成後に砕くとガラス  
化した透明釉が、白い  
粒子となり、赤の発色  
が薄かった。そのため、  
下絵釉薬で赤色を探す  
こととなった。

### 実験2. 陶芸用下絵釉薬の場合



6月12日 砕いて粉状にする

### 実験3. 七宝用釉薬の場合



6月15日  
砕いて粉にする



6月30日

(写真左) 実験2. 陶芸用下絵釉薬  
(写真右) 実験3. 七宝用釉薬

川田氏がフレスコ画の顔料として使用できるかを試した。  
写真中央は、釉薬を砕いたものを水で溶かし、漆喰の上に  
実際線を引いた様子。

中央の赤線は、川田氏が普段使用している顔料によるもの。

【シーン4】川田知志「太郎の色とカタチ×パブリック」

会場：滋賀県立陶芸の森陶芸館 会期：Part 1 2023.7.15～9.24 / Part 2 9.30～12.17

No.	作家	Artist	プロジェクト	作品名	サイズ(cm)	仕様ソフトと素材	制作年	画像	所蔵
パート2より展示	川田知志	KAWATA, Satoshi	インスタレーション (陶芸館ギャラリー壁11面)	太郎の色とカタチ×パブリック	壁11面の展開サイズ＝ H240×W2310cm ※1面サイズ＝H240×W210	漆喰、顔料、 膠、カゼインカルシウム	2023		作家蔵
	川田知志	KAWATA, Satoshi	絵具用の釉薬実験サンプル		左：陶芸用釉薬 中：顔料（カドミウムレッド） 右：七宝用釉薬		2023		作家蔵
1	川田 知志	KAWATA, Satoshi	瀬戸風景2022	瀬戸風景2022 (一部)	90cm×90cm	タイル	2022		作家蔵、愛知県陶磁美術館寄託
参考資料	川田 知志	KAWATA, Satoshi		作品資料とテストピース	タイル＝ 各14.5×14.5 / 7個	タイル	2022		
2	川田 知志	KAWATA, Satoshi	ホーロー×アートプロジェクト	Untitled 2023.01.28 #1	72.5cm×54cm	ホーロー	2023		作家蔵
	川田 知志	KAWATA, Satoshi		Untitled 2023.01.28 #1 (原画)	72.5cm×55cm	漆喰、顔料	2023		
3	川田 知志	KAWATA, Satoshi	Part 2 予告展示	大衆へのフレスコ画	45cm×29.5cm	漆喰、顔料	2023		作家蔵
	川田 知志	KAWATA, Satoshi		大衆へのストラップ	21cm×12cm (額サイズ：28.5×19)	漆喰、顔料、 膠、カゼインカルシウム	2023		作家蔵
	川田 知志	KAWATA, Satoshi		大衆への習作 #13	23cm×14.5cm	ドローイング	2023		作家蔵
	川田 知志	KAWATA, Satoshi		大衆への習作 #18	23cm×14.5cm	ドローイング	2023		作家蔵
	川田 知志	KAWATA, Satoshi		太郎の色とカタチ×パブリック 模型 (1/17縮尺)	H14×55×55	スチレンボード、 絵具等	2023		作家蔵



## 陶芸館ギャラリー企画 コレクション展 Part1 「華開く近代京都の陶芸—宇野三吾と河井寛次郎」展

### ■趣 旨

近代京都の窯業界は明治維新による旧来の社会構造の変革や需要の喪失、あるいは京焼を代表する名工が相次いで没したことにより、急速な近代化の必要性に直面していました。そのような状況下にあった窯業界の求めに応じ、陶磁器産業の振興や技術の向上、人材育成を目的として明治29(1896)年に京都市陶磁器試験所が設立されました。

宇野三吾(1902-1988)と河井寛次郎(1890-1966)は、京都市陶磁器試験場で当時最先端の技術を研究・習得し、異なる立場と思想から、近代京都の陶芸界において重要な足跡を残しました。京焼の名工・宇野仁松の四男である宇野三吾は、古典的な茶陶や数物などを手がける一方、前衛陶芸の先駆けとして知られる四耕会を結成するなど、様々な場面で自由な精神を生かした異色の存在でした。

また河井寛次郎は、東京高等工業学校を卒業後、京都市陶磁器試験場の技師を経て、京都の五条坂に窯を構え、思想家・柳宗悦とともに民藝運動を展開しました。無名の工人が手がけた民芸品に影響を受け、実用性を重視した作陶を土台に、「用」を超えた陶彫や幅広い素材を扱い「すべてのものは自分の表現」と述べた表現者でした。

本展は、近年当館に寄贈された逸品の中から、多様な陶芸表現が広がった日本の近代陶芸を、2パートに分けて紹介する企画です。パート1として、近代京都において非常に重要な人物で、滋賀とゆかりのある宇野三吾と河井寛次郎の作品を通じて、華開いた近代を見つめ直しました。

■会 期 3月2日(土) - 3月31日(日) 26日間

※休館日 月曜日

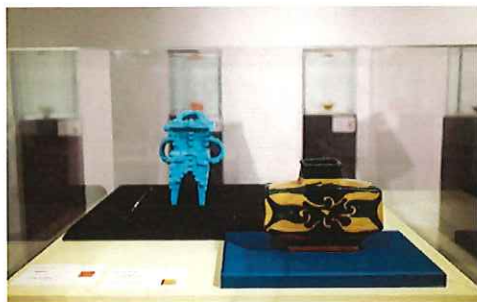
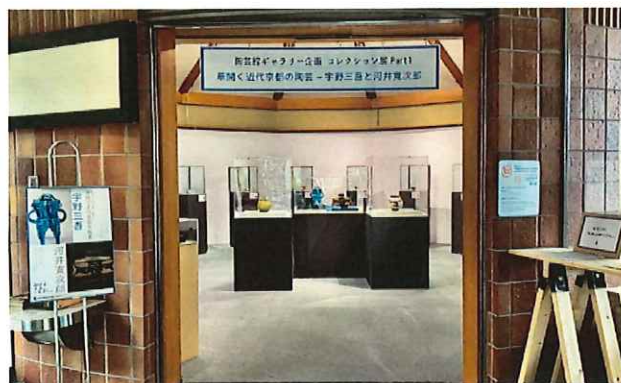
■主 催 滋賀県立陶芸の森

■出品点数 作品24点 \*別添リストに記載

■観 覧 料 無料

■入場者数 11,128人(428人/日)

■掲載記事 3月17日(日)「近代陶芸の多様な展開感じて—宇野三吾と河井寛次郎展」中日新聞(滋賀総合)



陶芸館ギャラリー企画 コレクション展Part1  
「華開く近代京都の陶芸—宇野三吾と河井寛次郎」展 出品リスト

2024年3月2日(土)～3月31日(日)  
※所蔵はすべて滋賀県立陶芸の森陶芸館

作者(窯・産地)名	作者等英名	作品名	作品英名	材料	銘/その他	制作年	サイズ(cm)	寄贈者等	作品画像
1 宇野 宗壺(初代)	UNO Soyo(1st)	青磁瓦文香合	Celadon Opened Roof Tile Shaped Incense Case	磁土	印銘 = 宗共箱(箱書・表 = 青磁瓦文/香合、裏 = 宗壺印)	1951-1954 / 昭和26-昭和29年	高3.3 × 径6.3	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
2 宇野 宗壺(初代)	UNO Soyo(1st)	青磁桔梗形香合	Celadon Opened Bellflower Shaped Incense Case	磁土	印銘 = 宗共箱(箱書・表 = 青磁桔梗/香合、裏 = 無形文化財 宗壺印)	1951-1954 / 昭和26-昭和29年	高4.5 × 幅6.0 × 奥行6.0	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
3 宇野 宗壺(初代)	UNO Soyo(1st)	鈎窯茄子形香合	Celadon Opened eggplant Shaped Incense Case, Chun ware type	陶土	印銘 = 宗共箱(箱書・表 = 鈎窯茄子/香合、裏 = 宗壺印)	1952 / 昭和27年	高4.0 × 幅8.0 × 奥行4.0	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
4 宇野 三吾	UNO Sango	碧釉尊壺	Blue Glazed Jar	陶土	共箱(高33.5 × 23.9 × 23.9)、箱書(碧尊壺 三吾造印)	1955-1964 / 昭和30-昭和39年	高30.0 × 幅21.0 × 奥行18.0	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
5 宇野 三吾	UNO Sango	織部釉芋頭水指	Tubercle Shaped Fresh Water Container, Oribe Type	陶土	印銘 = 三吾 / 共箱(箱書 = 水指 織部)、塗蓋	1955-1964 / 昭和30-昭和39年	19cm × 12cm × 16cm	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
6 宇野 三吾	UNO Sango	赤楽茶碗 象嵌銘「香月庵」	Aka-Raku Tea Bowl, Inlay Named "Kougetsuan"	陶土	共箱(箱書 = 茶鉢 / 赤楽 / 三吾造印)	1940(昭和15)年	高6.3 × 口径12.0 × 底径5.0	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
7 宇野 三吾	UNO Sango	富士茶碗	Fuji Tea Bowl	陶土	印銘	1940 / 昭和15年	高7.0 × 口径10.0・10.6 × 胴径11.6 × 底径3.9	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
8 宇野 三吾	UNO Sango	刷毛目平茶碗	Tea Flat Bowl with Brush Pattern, White Slip	陶土	印銘 / 共箱(箱書 = 平茶碗 刷毛目 三吾造印)	1949 / 昭和24年	高5.0 × 口径16.0 × 底径5.6	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
9 宇野 三吾	UNO Sango	楽焼火被平茶碗	Raku Flat Tea Bowl	陶土	共箱(箱書 = 平茶碗 楽焼火被 三吾造印)	1949-1954 / 昭和24-昭和29年	高5.0 × 口径13.8 × 底径5.3	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
10 宇野 三吾	UNO Sango	黄瀬戸釉平茶碗	Flat Tea Bowl, Ki-Seto Type	陶土	共箱(箱書 = 茶碗 黄瀬戸 三吾造印)	1955-1964 / 昭和30-昭和39年	高6.0 × 口径14.0 × 底径5.2	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
11 宇野 三吾	UNO Sango	赤楽光悦写茶碗	Aka-Raku Tea Bowl, Koetsu Type	陶土	共箱(箱書 = 茶碗 赤楽 三吾造印)、箱裏 = 「30年5月」× 毛あり	1955 / 昭和30年	高9.0 × 口径13.0 × 底径5.2	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
12 宇野 三吾	UNO Sango	青釉茶碗	Blue Glazed Tea Bowl	陶土	共箱(箱書 = 茶碗 青釉 三吾造印)	1949-1954 / 昭和24-昭和29年	高6.8 × 口径14.0 × 底径6.0	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
13 宇野 三吾	UNO Sango	青白釉平茶碗	Blue and White Glazed Tea Bowl	陶土	共箱(箱書 = 茶碗 三吾造印)	1949-1954 / 昭和24-昭和29年	高6.5 × 口径14.0 × 底径6.0	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
14 宇野 三吾	UNO Sango	二彩釉平茶碗	Two-color Glazed Flat Tea Bowl	陶土	印銘 / 共箱(箱書 = 二彩釉 茶碗 楽 三吾造印)	1955-1964 / 昭和30-昭和39年	高6.5 × 口径14.7 × 底径5.6	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
15 宇野 三吾	UNO Sango	素陶手捻茶碗	Tea Bowl, Tebineri Type	陶土	印銘「三吾」/ 共箱(箱書 = 素陶 茶碗 三吾印)	1955-1964 / 昭和30-昭和39年	高8.0 × 口径13.0 × 底径5.8	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
16 宇野 三吾	UNO Sango	紅釉金彩黄葉文紅茶用碗・皿	Tea bowl and Dish with Yellow Leaf Design, Overglaze Enamels and Gold	磁土	6客のうち、1客展示	1948 / 昭和23年	茶碗 = 高4.5 × 幅11.4 × 奥行9.4 × 底径5.0 皿 = 高2.0 × 口径14.0 × 底径8.1	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
17 宇野 三吾	UNO Sango	灰釉菱形向付	Aoi Shaped Footed Bowls, Ash Glaze	陶土	10客のうち、2客展示	1955-1964 / 昭和30-昭和39年	高2.5 × 幅14.4 × 奥行10.3	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
18 宇野 三吾	UNO Sango	灰釉鳥形向付	Bird Shaped Footed Bowls, Ash Glaze	陶土	10客のうち、2客展示	1955-1964 / 昭和30-昭和39年	高2.3 × 幅12.5 × 奥行9.7	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	

	作者(高・産地)名	作者等英名	作品名	作品英名	材料	銘/その他	制作年	サイズ(cm)	寄贈者等	作品画像
19	宇野 三吾	UNO Sango	葡萄葉形菓子皿	Grape Leaf Shaped Sweets Dish	陶土		1955-1964 / 昭和30-昭和39年	高5.0×幅28.0×奥行18.6	平成30年度 / 山村昭氏寄贈	
20	河井 寛次郎	KAWAI Kanjiro	青葉抜蠟菱花扁壺	Bluish Green Glazed Flat Jar with Water Caltrop Design	陶土	証紙貼付「日本陶磁器工業組合聯合會/2/合格」	1941-1944 / 昭和16-19	高19.9×口8.8・7.4×幅26.5×奥行11.8×底15.4・6.4	令和3年度 / 信楽窯業技術試験場より移管	
21	河井 寛次郎	KAWAI Kanjiro	白地草花図壺	White Jar with Grass and Flower Design	陶土	砂目跡あり	1930s / 昭和前期	高20.0×口径13.6×胴径19.8×底径9.2	令和5年度 寄贈作品	
22	河井 寛次郎	KAWAI Kanjiro	呉須辰砂菱花蓋物	Cobalt Blue and Copper Red Casket with Water Caltrop Design	陶土		1941-1944 / 昭和16-19	高9.8×口10.9・12.1×幅・奥行12.2・13.4×底7.1・7.6	令和5年度 / 信楽窯業技術試験場より移管	
23	河井 寛次郎	KAWAI Kanjiro	呉須辰砂笹絵碗	Cobalt Blue and Copper Red Bowls with Bamboo Grass Design	陶土	6客のうち、1客の底にラベル貼付「二八六」 / 共箱箱書「笹繪碗 河井寛」	1930s / 昭和前期	1客: 高6.3×口径9.9×底径5.0	令和5年度 寄贈作品	
24	河井 寛次郎	KAWAI Kanjiro	呉須辰砂草花文六方皿	Cobalt Blue and Copper Red Dishes with Bamboo Grass Design	陶土	3客	1930s / 昭和前期	1客: 高2.6×幅・奥行11.3-16.0	令和5年度 寄贈作品	

※作品番号は会場での展示順とは一致してお

りません。

## 陶芸の森「SNS 広告の運用について」

### ■趣 旨

当館は、平成 25(2013)年より SNS 広報媒体として Facebook や Twitter を利用し、情報発信をしてきました。さらに、令和 1(2019)年 Youtube の利用に加え、令和 3(2021)年からは Instagram を用いた情報発信も開始しました。本年度は、展覧会と関連イベントにおいて集客効果を図るため、近年広報手段として注目されている SNS (Instagram/X(twitter)) を利用した有料広告の展開を初めて取り組みました。

広告配信における訴求内容としては、①陶芸の森の展覧会 (令和 5 年の「岡本太郎 アートの夢」展・川田知志「太郎の色とカタチ×パブリック」展、令和 6 年の「リサラーソン」展・コレクション展 Part1「宇野三吾と河井寛次郎」展)、②展示関連ワークショップ「カタチで描くフレスコ画」(川田氏展示)、③展示関連グッズ(「リサラーソン」展)、④陶芸館 3D デジタルアーカイブ等、主に陶芸館の展覧会内容をベースにしなが、新規ユーザー獲得・ビューの回数増加を狙いながら、最終的に当館への誘導を目的としました。

その結果、Instagram 広告において、導入前よりフォロワー数が 100 人ほど増え (令和 6(2024)年の 3 月末時点)、また SNS をきっかけに入館した方が 3 倍ほどあったという効果を得られました。さらに、関連ワークショップの広告は、参加者の半分以上が SNS をきっかけに講座を知ったという回答があり、イベント的な広告にも効果的であることを分かりました。一方、X (twitter) は、媒体の性格上、グラフィックのバナー広告には効果的ではなく、令和 6 年(2024)年のリサラーソン展からは Instagram 広告のみ行いました。今回の結果を踏まえて、紙媒体の広報と併せて今後も通年とおして内容に強弱を付けて続けることを検討しています。

### ■内 容

#### 【岡本太郎展】

・展示会PR 2023.10/28~31 2023.11/7~9  
2023.12/1~10  
・3DデジタルPR 2023.12/1~10  
エリア：滋賀・京都・大阪・岐阜・名古屋  
ターゲット：男女  
年齢：18~65歳以上  
ターゲットワード：アート・フィギュア  
配置：ストーリーズ、フィード  
種類：上2枚は画像、下は動画



↓動画 (フィードサイズ)



#### 【リサラーソン展】

・展示会PR 2024.3/2~31  
・グッズPR 2024.3/8~31  
エリア：滋賀・京都・大阪・岐阜・愛知  
ターゲット：女性  
年齢：18~49歳  
ターゲットワード：アート・北政半雲・陶芸  
配置：ストーリーズ  
種類：上2枚は画像、下のグッズは動画



↓動画 (ストーリーズサイズ)



#### 【ギャラリー展 川田氏ワークショップ】

・イベントPR 2023.11/3~12  
2023.11/17~19  
エリア：滋賀・京都・大阪・名古屋・岐阜  
ターゲット：男女  
年齢：18歳以上~上限なし  
ターゲットワード：芸術・美術館  
配置：ストーリーズ・リール・フィード  
種類：動画



動画→ (フィードサイズ)



#### 【ギャラリー展 所蔵品の逸品展】

・イベントPR 2024.3/3~31  
エリア：滋賀・京都・大阪・名古屋・岐阜  
ターゲット：男女  
年齢：18歳以上~上限なし  
ターゲットワード：陶芸・美術館  
配置：フィード  
種類：画像



## 陶芸の森「陶芸館 3D デジタルアーカイブ」

### ■趣 旨

本年度は、秋の特別展「岡本太郎 アートの夢～陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」展のページを制作しました。岡本太郎「犬の植木鉢」（当館蔵）とフィギュア造形の大島雅人「お化けごっこ」の3D映像を、会期中の2023年11月30日（木）より公開。また、展示室内でも本物を鑑賞しながら、作品を様々なアングルからご覧いただける機会を提供しました。（※OP 頁を参照）

さらに、同展パート2の【シーン4】川田知志「太郎の色とカタチ×パブリック」の展示空間を「パノラマVRツアー」として、2024年3月31日（日）より公開しました。（※次年度に継続）

今後も信楽窯業技術試験場の協力のもと、デジタルコンテンツの充実を図り、収蔵品の活用と当館の魅力に努めていきます。

### ■内 容

1. 特別展「岡本太郎 アートの夢」の詳細ページと、出品作品2点の3D映像を追加
2. 川田知志「太郎の色とカタチ×パブリック」展の〈パノラマツアー〉ページを追加

<p>1 見逃し展覧会プレイバック VR of the Exhibiton Work</p>  <p>川田知志「太郎の色とカタチ×パブリック」（特別展「岡本太郎 アートの夢」パート2【シーン4】） Satoshi Kawada's Taro no Iro to katachi x Public ("Taro's Color and Form x Public") 2023 (令和5) 年 9月30日 (木) - 12月17日 (日) 滋賀県立陶芸の森 信楽窯ギャラリー</p> <p>特別展「岡本太郎 アートの夢～陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」 Special Exhibition "Taro Okamoto, Dreams of Art" Part1 2023年 7月15日 (土) - 9月24日 (月) Part2 2023年 9月30日 (土) - 12月17日 (日)</p> <p>特別展「静中動：韓国のスピリットをたどる一開かれた陶のアート」 Special Exhibition "Shizuka: Tracing the Spirit of Korea. 2022年 9月17日(土) - 12月18日 (日)</p>	<p>2 川田知志「太郎の色とカタチ×パブリック」（特別展「岡本太郎 アートの夢」パート2【シーン4】） Satoshi Kawada's Taro no Iro to katachi x Public ("Taro's Color and Form x Public") 2023 (令和5) 年 9月30日 (木) - 12月17日 (日) 滋賀県立陶芸の森 信楽窯ギャラリー</p> <p>パノラマVRツアー</p> 
<p>3D VR</p>  <p>岡本太郎「犬の植木鉢」 Dog shaped Planter Pot. Made by OKAMOTO, Taro</p>  <p>大島 雅人「お化けごっこ」 Playing Ghost. Made by OHAMA, Masao</p>	

- ### ■会 期
1. 令和4（2023）年11月30日（木）より公開
  2. 令和5（2024）年3月31日（金）より公開

■公開場所 陶芸館 3D デジタルアーカイブ → <https://digital-museum.sccp.jp>

■撮影・技術協力 滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場

■ VR体験パネル 展示室内のパネルで掲示（QRコード形式）



■ 掲載記事 「陶芸の森 陶芸館 3D デジタルアーカイブへの技術支援」『陶 (No. 38)』滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場情報誌、2024（令和6）年3月、4頁

■ SNS 広報 出品作品の 3D 映像から展覧会へ誘導する形でインスタグラムの有料広告を行いました。当館インスタでも併せてフィート投稿をした結果、他の投稿より高評価を得て、展覧会や陶芸館 3D デジタルアーカイブについて多く周知していただいた。



〈SNS 広告様子 12/1 時点〉



〈当館インスタグラムのフィート投稿の様子〉

## 収蔵品収集・管理事業

県の収蔵品収集方針に基づき質の高い収蔵品収集に向けて、収蔵品収集審査会および価格評価委員会の審議を受け、購入作品2点、寄付作品30点の県収集に寄与しました。

○作品貸出実績 9館49件    ○調査協力8件（美術館等）

## 博物館実習

陶芸館では、博物館学芸員資格取得のための実習生の受け入れを、平成7年度より行っています。令和5年度は、関西の大学より2人を受け入れました。

当館での博物館実習では、各施設や特別展の見学を行い、展覧会企画と教育普及事業についての講義を行いました。また、実習では、やきもの作品の梱包方法や作品の取り扱い方を学び、調査台帳作成の仕方を実習や当館 Instagram や Facebook を利用した SNS 広報実習を行いました。

そして、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館を機に、新たに導入した陶芸の森のデジタルコンテンツ事業の展開について紹介しました。

### ■内 容

8月22日(火)

オリエンテーション／陶芸の森施設見学／特別企画展の鑑賞    講義1. 教育普及事業について

8月23日(水)

実習2. 作品の取り扱いおよび梱包、調書作成

8月24日(木)

講義2. デジタルコンテンツの活用について／講義3. SNS を利用した広報活動について  
／実習3-1. 当館 SNS で広報（園内の野外作品と陶芸館の展覧会）

8月25日(金)

講義4. 展覧会事業について／総括

■期 間    令和5年8月22日（火）～ 25日（金）、4日間

■会 場    滋賀県立陶芸の森内 視聴覚室および陶芸館

■受入大学    佛教大学                    1名  
                  京都外国語大学            1名

## 陶磁ネットワーク会議の開催

〈陶磁ネットワーク会議〉は、陶芸若しくは陶磁を専門とする、県立の博物館と美術館8館で組織された。陶芸文化の発展と館活動の活性化、また加盟館相互の交流や情報交換を進めることや、また、共同企画展の開催をはじめ共同の研究や広報、そして各館所蔵品の相互利用、緊急時の協力体制の強化などを目的に、平成20年に設立されました。令和5年度は山口県立萩美術館・浦上記念館が幹事館として、「第16回陶磁ネットワーク会議」を開催されました。

- 日程 令和5年5月23日(火)～5月24日(水)
- 会場 山口県立萩美術館・浦上記念館
- 参加館 愛知県陶磁美術館(瀬戸)、茨城県陶芸美術館(笠間)、岐阜県現代陶芸美術館(美濃)、佐賀県立九州陶磁文化館(有田)、滋賀県立陶芸の森(信楽)、兵庫陶芸美術館(丹波)、福井県陶芸館(越前)、山口県立萩美術館・浦上記念館(萩)
- 出席者 8館20人
- 議題 1. 「展示照明」について  
2. その他意見交換 自由討議
- 見学 1. 展示見学(普通展示「東洋の美 青磁」、「三輪龍氣生 陶の世界」、「茶陶の近現代」他)  
2. 須佐唐津古窯跡群  
3. 須佐歴史民俗資料館「みこと館」  
4. 須佐歴史民俗資料館・別館の萩市指定文化財(建物)「益田館」

## 調査研究活動

三浦 弘子

### 1. 出講・委嘱等

- ・兵庫陶芸美術館 収蔵作品価格評価委員
- ・滋賀次世代文化芸術センター委員
- ・甲賀市指定無形文化財信楽焼保持者認定検討委員会委員
- ・信楽伝統産業会館運営委員会館蔵品委員会

### 2. 著作

- ・「赤絵九谷の極致」展(2025年に当館開催) 「飯田屋八郎右衛門が影響を受けた『方氏墨譜』と湖東焼の図柄についての一考察」
- ・「リサ・ラーソンと信楽の関わり」『陶説』5月号
- ・「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界ークラシックな名作とともに」『滋賀民報』4月28日付

### 3. 発表・講義

- ・膳所高等学校「北大路魯山人」1年



## 鉤 真一

### 1. 調査協力

- ・甲賀市教育委員会 信楽在住作家調査 令和5年11月～令和6年2月

### 2. 著作執筆

- ・「湯呑茶碗ー日本がこよなく愛したやきもの」『陶説 (No. 837)』 令和5年4月  
公益社団法人日本陶磁協会
- ・「知って楽しいアートー湯呑茶碗で、ちょっとレトロな日本の旅を」『小原流挿花』  
令和5年6月 一般財団法人小原流
- ・「収蔵品紹介ー鉄描銅彩「富貴」火鉢 滋賀県立信楽窯業試験場・富本憲吉絵付  
1951 (昭和26)」『陶 (No. 38)』令和6年3月 滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場

## 斐 洙淨 (ベ スジョン)

### 1. 出講・委嘱等

- 京都造形芸術大学 2023年度学位(博士)審査審査員(副査)  
令和4年8月29日(火) 10:00～12:00 (予備審査)  
令和5年1月22日(日) 10:00～12:00 (本審査)

### 2. 発表・講義

- ・「博物館における資料研究」関西大学博物館実習公開講演会、令和4年12月15日、関西大学博物館実習室
- ・「学芸員の仕事について」東亜大学(韓国・釜山)夏季特講、令和4年5月14日、日本でZoomにて参加

## 収蔵品貸出実績

作家・窯名	作品名	号	申請者	展覧会名	会期
宇野三吾	土偶形花器	J-029	〈巡回会場〉 京都国立近代美術館/岡山県立美術館/岐阜県美術館/菊池寛実記念智美術館	「前衛陶芸の誕生 走泥社とその時代」展	2023(令和5)年7月19日~2024(令和6)9月1日
宇野三吾	ハニワ形花器	J-080			
岡本素六	花器	J-113			
藤田 作	トルソ形花器	J			
中西美和	抽象形花器	J-057			
鈴木 治	上を向く馬	J-			
三島喜美代	Package'74	C-029	岐阜県現代陶芸美術館	「三島喜美代—遊ぶ 見つめる 創りだす」	2023(令和5)年9月16日~2023(令和5)年11月26日
三島喜美代	Package '78	C-080			
三島喜美代	Copy'78-80	C-113			
三島喜美代	Column-2(付属台)	C			
日根野作三 デザイン	花器	J-057	三重県立美術館	「日根野作三展」	2023(令和5)年7月1日~9月24日
日根野作三 デザイン	鮫肌釉花器	J-			
日根野作三 デザイン	花器	J-			

日根野作三 デザイン	植木鉢	J-			
日根野作三 デザイン	汽車土瓶	J- 057			
湖東焼	「青磁陰刻牡丹唐 草文耳付花入」	SO- 010	小松市美術館	「加賀の国九谷 焼」	2023(令和5)年10 月14日～11月26 日
湖東焼	「色絵菊花図平 鉢」	SO- 007			
湖東焼	「染付鯉桜花図手 桶形鉢」	SO- 044			
圓山湖東焼	染付笹図小皿	SO- 008			
湖東焼	色絵雲鶴文蓋付 向付	SO- 085			
梅林焼	三彩茄子形徳利	SO- 036			
梅林焼	三彩蜜柑手付盃	SO- 052			
梅林焼	三彩茄子手付盃	SO- 053			
梅林焼	三彩瓢箪手付盃				
梅林焼	三彩法螺貝手付 盃				
梅林焼	三彩烏瓜手付盃				
梅林焼	三彩松茸手付盃				
梅林焼	三彩胡瓜手付盃				
梅林焼					

三島喜美代	Package '74	J-115	練馬区立美術館	「三島喜美代—未来への記憶」展	2023(令和6)年5月19日～7月7日)*貸出は2024年2月
三島喜美代	Package '78	J-078			
三島喜美代	Column-2(付属台)	J-158			
三島喜美代	Comic Book '80	J-118			

## 特別観覧実績

作家・窯名	作品名	分類番号	申請者	出版物・番組名	発行日・放送日
ピーター・ヴォーコス	スタック	FW-029	畠山耕造	日本ガラス工芸学会誌『GLASS』68号論文の図版として	2023年発行
古信楽	大壺 椀垣文壺	SO-035 SO-037	株式会社ハ ウフルス	“ひみつのケンミンshow”読売テレビにて放送	3月14日21時
神山清子	信楽大筒	SC-63	公益社団法人 日本陶磁協会	『陶説』847号追悼文	2024年3月発行

# 創作事業

## アーティスト・イン・レジデンス事業

やきものの産地である信楽でレジデンス事業を行っているメリットを最大限に活かし、世界中から来たアーティストに制作環境と宿泊施設を提供しています。国内の陶芸作家にとっても国内にいながら世界に触れる場であり、制作面でも挑戦ができる環境であるように努めています。本年度は新型コロナウイルス感染症前に計画を建てていたアーティストをようやく受け入れられるようになり、未来を見据えてレジデンスを改めて考え始めることができた年でした。

### ■スタジオ・アーティストの受け入れ

アーティスト・イン・レジデンス事業の中核である「スタジオ・アーティストの受け入れ」では16カ国、延べ40人を受け入れました。

受入実績 総数 40人（延べ40人）（16カ国）

国内 12人（延べ12人）

うち滋賀県：1人

海外 28人（延べ28人）

（内訳）アイルランドー1人、アメリカ合衆国ー5人、イスラエルー1人、イタリアー1人、イランー1人、インドー1人、オーストラリアー1人、スイスー1人、スペインー1人、ドイツー1人、ハンガリーー1人、フランスー4人、ロシアー1人、香港ー1人、台湾ー5人、中国ー2人

### 受入名簿

・氏名 西澤 伊智朗 NISHIZAWA, Ichiro（日本）

<滞在期間>令和5年4月1日令～令和5年4月2日（2日間）〈前年度から継続〉

・氏名 矢部 俊一 YABE, Syunichi（日本）

<滞在期間>令和5年4月1日令～令和5年5月25日（55日間）〈前年度から継続〉

・氏名 橋本 知成 HASHIMOTO, Tomonari（日本）

<滞在期間>令和5年4月1日令～令和5年7月10日（101日間）〈前年度から継続〉

・氏名 伊藤 尚子 ITOU, Naoko（アメリカ合衆国）

<滞在期間>令和5年4月1日令～令和5年4月30日（30日間）

・氏名 リカルド・ボネット・フェルナンデス・トラジーロ Ricardo Bonnet Fernandez Trujillo  
（スペイン）

<滞在期間>令和5年4月1日令～令和5年6月29日（90日間）

- ・氏 名 エレオノール・スワン Eleanor Swan (アイルランド)  
 <滞在期間>令和5年4月9日令~令和5年6月30日(83日間)
- ・氏 名 ピーター・フロップ Peter Fulop (ハンガリー)  
 <滞在期間>令和5年4月28日令~令和5年6月28日(62日間)
- ・氏 名 デビ・ウォーレイ Debi Worley (アメリカ合衆国)  
 <滞在期間>令和5年5月7日令~令和5年7月8日(63日間)
- ・氏 名 岩城 晴男 IWAKI, Haruo (日本)  
 <滞在期間>令和5年5月9日令~令和5年6月10日(33日間)
- ・氏 名 プリヤンカ・シャルマ Priyanka Sharma (インド)  
 <滞在期間>令和5年5月11日令~令和5年7月6日(57日間)
- ・氏 名 リャン・イェットチン(ジョイス) Lung Yuet-ching (Joyce) (香港)  
 <滞在期間>令和5年5月16日令~令和5年6月16日(32日間)
- ・氏 名 山本 万菜 YAMAMOTO, Mana (日本)  
 <滞在期間>令和5年6月15日令~令和5年10月26日(134日間)
- ・氏 名 ニキル・パラド Nikhil Paladugu (アメリカ合衆国)  
 <滞在期間>令和5年6月1日令~令和5年8月27日(88日間)
- ・氏 名 徐 子涵 Hsu Tzu-han (台湾)  
 <滞在期間>令和5年6月1日令~令和5年8月25日(86日間)
- ・氏 名 ホン・チャンリャン Hong Zhang-liang (中国)  
 <滞在期間>令和5年6月15日令~令和6年1月31日(231日間)
- ・氏 名 諸角 拓海 MOROZUMI, Takumi (日本)  
 <滞在期間>令和5年6月15日令~令和5年8月31日(78日間)
- ・氏 名 葉 怡利 Yeh Yi-Li (台湾)  
 <滞在期間>令和5年7月4日令~令和5年12月28日(178日間)
- ・氏 名 マリア・テレサ・ロード Rode Maria Teresa (アメリカ合衆国)

＜滞在期間＞令和5年7月5日令～令和5年9月4日（62日間）

・氏名 ギヨーム・タルビ Guillaume Talbi （フランス）

＜滞在期間＞令和5年7月6日令～令和5年9月26日（83日間）

・氏名 ソニア・コチナ Sonia Kochina （ロシア連邦）

＜滞在期間＞令和5年7月14日令～令和5年8月19日（37日間）

・氏名 宮岡 貴泉 MIYAOKA, Takami （日本）

＜滞在期間＞令和5年7月28日令～令和5年11月5日（101日間）

・氏名 ミリット・ウェインストック Mirit Weinstock （イスラエル）

＜滞在期間＞令和5年7月14日令～令和5年8月27日（45日間）

・氏名 馬 瑜蔚 Ma Yuwei （中国）

＜滞在期間＞令和5年7月25日令～令和5年8月31日（38日間）

・氏名 アテナ・ヤハンティ Athena Jahantigh （イラン）

＜滞在期間＞令和5年9月1日令～令和5年9月30日（30日間）

・氏名 ルー・チャオチー Lu Chiao-Chi （台湾）

＜滞在期間＞令和5年9月1日令～令和5年12月28日（119日間）

・氏名 ヤエル・ブラハ Yael Braha （イタリア）

＜滞在期間＞令和5年9月6日令～令和5年12月28日（114日間）

・氏名 竹内 紘三 TAKEUCHI, Kouzo （日本）

＜滞在期間＞令和5年9月8日令～令和5年10月25日（48日間）

・氏名 ステファニー・マリー・ローズ Stephanie Marie Roos （ドイツ）

＜滞在期間＞令和5年10月1日令～令和5年12月18日（79日間）

・氏名 安部 正兼 ABE, Masakane （日本）

＜滞在期間＞令和5年10月1日令～令和6年3月31日（183日間）

・氏名 葉 晴恩 Yeh Ching En （台湾）

＜滞在期間＞令和5年10月3日令～令和5年12月21日（80日間）

- ・氏名 ファビアン・クラーク Fabian Clerc (スイス)  
＜滞在期間＞令和5年10月11日令～令和5年12月13日(64日間)
- ・氏名 ジャネッタ・ケール・グラント Janetta Kerr-Grant (オーストラリア)  
＜滞在期間＞令和5年11月1日令～令和5年11月30日(30日間)
- ・氏名 ベルトランド・セクレット Bertrand Secret (フランス)  
＜滞在期間＞令和5年11月5日令～令和5年12月14日(40日間)
- ・氏名 松田明子 AKIKO, Matsuda (日本)  
＜滞在期間＞令和5年11月16日令～令和5年12月14日(29日間)
- ・氏名 アリエル・ゴート Ariel Gout (フランス)  
＜滞在期間＞令和6年1月4日令～令和6年3月31日(88日間)
- ・氏名 アネッテ・ロウダー Annette Lowder (アメリカ合衆国)  
＜滞在期間＞令和6年1月16日令～令和6年3月15日(60日間)
- ・氏名 木村芳郎 KIMURA, Yoshiro (日本)  
＜滞在期間＞令和6年1月10日令～令和6年3月31日(82日間)
- ・氏名 宮下サトシ MIYASHITA, Satoshi (日本)  
＜滞在期間＞令和6年1月11日令～令和6年3月26日(76日間)
- ・氏名 ケイト・ストラカン Kate Strachan (台湾)  
＜滞在期間＞令和6年1月10日令～令和6年3月31日(82日間)
- ・氏名 シルヴィー・オーヴレイ Sylvie Auvray (フランス)  
＜滞在期間＞令和6年2月22日令～令和6年3月26日(34日間)



## ■ゲスト・アーティストの招へい

受入実績 8人、うち2人1組が2組、(国内1人)

### 受入名簿

・氏名 広瀬 菜々、永谷 一馬 (日本/ドイツ在住)

<滞在期間>令和5年4月1日~令和5年5月28日 (58日間)

令和6年3月21日~令和6年3月31日 (11日間)

《令和6年度に継続》

<活動概略>身近にある食料品、果物、日用品など身近で見慣れたものを石膏で型取りし、磁器土の鑄込みで成形した。ドイツで使用している原料の再現を試みた。



・氏名 檜木野 淑子 (大阪府)

<滞在期間>令和5年4月1日~4月15日 (15日間)

令和6年1月10日~3月31日 (82日間)

《令和6年度に継続》

<活動概略>「華やかさや豊かさ生命力が溢れ出る歓び」をテーマに、大きいもので1m角の立方体の作品を複数制作した。



・氏名 マチュー・マンシュ Matthieu Manche (フランス/東京在住)

<滞在期間>令和5年4月2日~6月30日 (90日間)

令和5年9月4日~3月31日 (210日間)

《令和6年度に継続》

<活動概略>モダニズム彫刻、70年代インテリアなど幅広い分野から形を抽出、再構築し、機能性があるように見えてない、所属の曖昧な形を作成した。



・氏名 カプチャ あさみ、サンドロ Capcha, Asami Capcha Sandro (日本・ペルー/ペルー在住)

<滞在期間>令和5年6月25日~10月19日 (117日間)

<活動概略>古代ペルー土器から影響を受けた動物と人をモチーフにした大型作品を制作した。



・氏名 プリヤ・サンダラバリ Sudharsan Sundaravalli (Priya) (インド在住)

<滞在期間>令和5年7月1日～令和5年10月19日（117日間）

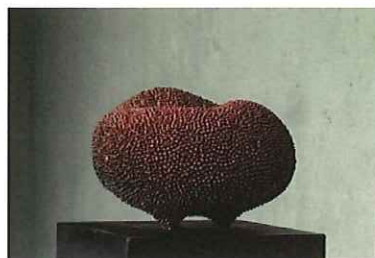
<活動概略>生命の力から受けた影響を形にした。インドの神話をモチーフにした作品や、うつわ、釉薬の研究等、多岐にわたる活動をした。



・氏名 ミアズヴェージェワ・ハンナ Miadzvedzeva Hanna（ベラルーシ／ポーランド在住）

<滞在期間>令和6年3月11日～3月31日（21日間） 《令和6年度に継続》

<活動概略>化粧土をスポイトで押し出し、造形作品を制作した。



### ■ オープンスタジオ、陶芸館ギャラリー展覧会の開催

#### ■ オープンスタジオ

開催日：令和5年5月27日（土）13：30～16：00

会場：視聴覚室、創作研修館スタジオ

講師：広瀬菜々・永谷一馬（ドイツ在住／R4 ゲスト・アーティスト）

内容：ドイツでの学生時代から今に至るまでの活動。「問うこと」をテーマにした作品発表について。信楽での滞在ではドイツよりも素材の持つ歴史・文化の重みを感じた。

開催日：令和5年9月9日（土）13：30～16：00

会場：視聴覚室、創作研修館スタジオ

講師：カプチャあさみ・サンドロ（ペルー／R5 ゲスト・アーティスト）

内容：私たちは南米ペルーでアートスタジオを構え生活しています。それぞれ別々のアーティスト活動をしています。そこでは私たち2人（もしくはグループ）でのワークショップがメインです。その他にデザイン、アートディレクション、受注、イベント等、幅広く行っており、今年で8年目になります。

開催日：令和5年10月9日（月祝）13：30～16：00

会場：視聴覚室、創作研修館スタジオ

講師：Sudharsan Sundaravalli (Priya)（インド／R5 ゲスト・アーティスト）

内容：私は南インドの国際的な実験的かつ歴史的なオーロヴィルという街に住んでいます。学歴は薬学と工業工学にあり、10年間中学校高等学校で講師をしながらジャーナリストとしても働いていました。2012年に陶芸に専念し始め、オーロヴィルにある自身のスタジオ「Pottery Sipapu」で土と、そして自分自身と向き合いながら制作しています。私の

作品は、人生の喜びと美しさ、そして生きていることへの感謝をテーマにしています。

## ■国内外のレジデンス機関との連携

### I. 国外機関との連携

国外機関からスタジオ・アーティストとして受入れ

#### ・台湾文化センター

受入者：徐子涵（フ ツーハン）

期 間：令和5年6月1日～令和5年8月25日

受入者：葉 怡利（イエ イーリー）

期 間：令和5年7月4日～令和5年12月28日

#### ・香港バプディスト大学

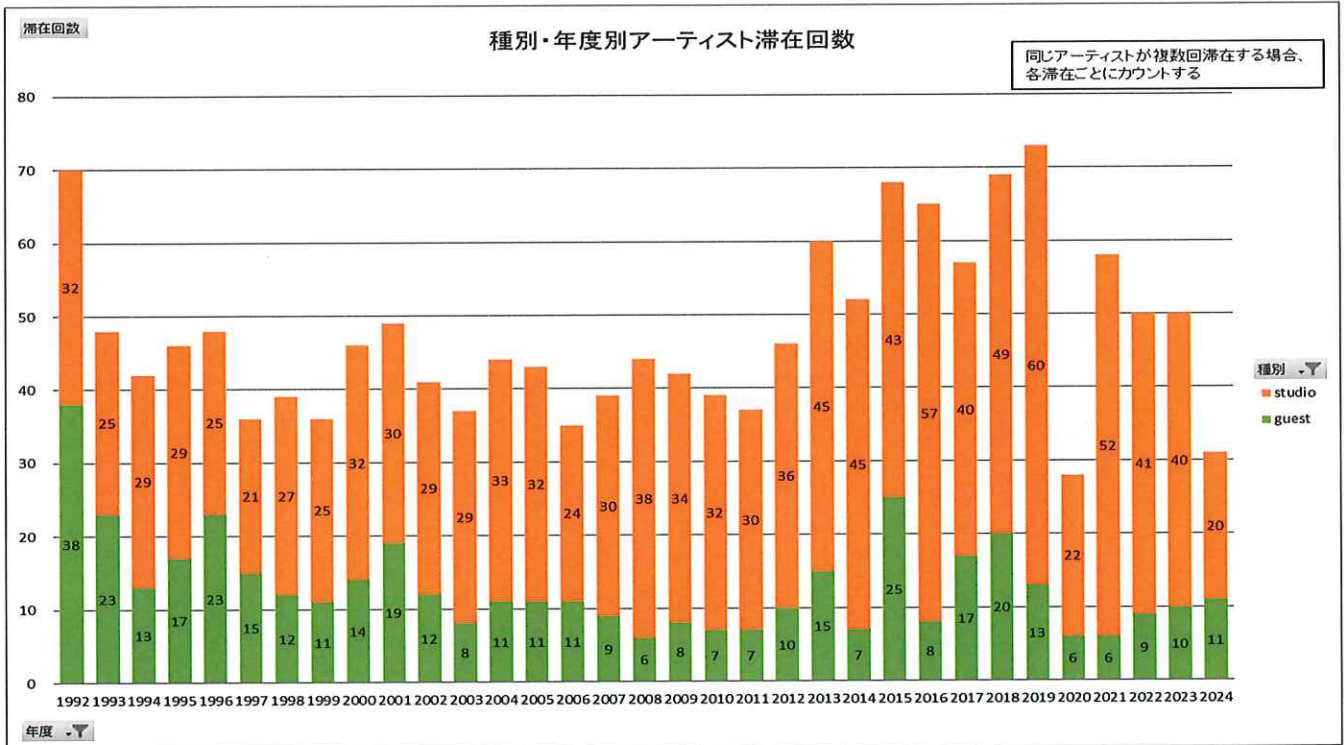
受入者：LUNG Yuet Ching

期 間：令和5年5月16日～6月16日

### Ⅲ. 国別・年度別アーティスト滞在回数

滞在回数	年度																											総計										
国名(日本語)	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	総計				
アイスランド													1	1	1	1			1															5				
アイルランド											1								1														1	3				
アメリカ合衆国	8	11	7	7	6	1	5	4	2	6	2	7	1	7	4		2		1	3	6	4	5	4	4	6	4	11		1		5	5	139				
アルゼンチン	1					2																		1	1	2	1							8				
イギリス	1	1	1	2	1	1		2	4		2			3	1		2		1			2	4	3	1		5	2			3		42					
イスラエル							1																										1	2				
イタリア	2			2	1	1									1	1						1	1	1		1	1						1	15				
イラク													1																					1	2			
イラン																																			1			
インド																	1				1		1											2	5			
インドネシア																		1	1			1													3			
ウクライナ																																	1		1			
エストニア																			1	1															2			
オーストラリア	1				1	1		1			2				1	1	1	2		1	1		1	2	2		2	1					1	3	25			
オーストリア																																	1		1	2		
オランダ	1		1	1		1				1			2	1		1	1	1				1		1		2	2	1	2					20				
ガーナ																																				1		
カザフスタン									1																											1		
カナダ				1						1		3								2		1		4	4	1	3	2	2						24			
カンボジア																	1																			1		
ギリシャ																												1								1		
グアテマラ																											1									1		
コロンビア																																				1		
ジャマイカ																												1								1		
シンガポール													1				1											1	2		1					6		
スイス	1				1		1				2	1	2	4	1																				16			
スウェーデン						1		1					1	1		1									1	1	1	4							12			
スペイン					1			1	1	1	2	2		2																					1	10		
セルビア				1																																1		
タイ										1																										5		
チエコ				1				1																												7		
チリ																																				1		
デンマーク				1		2	1		2				2	1	1	1	1				2	1		1	3										19			
ドイツ								3	3	1	3	2	1										1	1		2		1					2	3	2	25		
ニュージーランド																																				4		
ノルウェー				1		1											4								1		1									8		
パキスタン														1																					1	2		
ハンガリー							1	1	1					1						1																7		
ハンガリー	1																																			1		
フィリピン																																					1	
フィンランド				1	1			1	2	1			3	2	1	1	1	1						1				1	1	1					2	22		
ブラジル																																					1	
フランス					1								2	3	1	2	5	5	1	4	3	3	4	5	7	3	3	6	1	4	3	6	5	7	77			
ベラルーシ																																				1	2	
ベルー								1																												2	4	
ベルギー																																					1	
ポーランド							1																														1	
ポリア																																					3	
ポルトガル		1	1											1																							3	
ミャンマー																																					1	1
メキシコ						1																					1										2	
ヨルダン													1																								1	
ラオス																																					2	
ルーマニア									1		1																										2	
ロシア連邦																																					2	
香港																																					3	
台湾	1						1	3	1				2	3																							60	
大韓民国	3	2	1	2	2	3	3	3	1	2	4	1			2	1	3	1	1																	58		
中国			1		1																																27	
日本	50	32	31	26	32	18	22	21	27	32	21	17	20	15	19	20	17	17	22	21	24	40	17	27	36	26	30	24	24	47	32	14	4	827				
総計	70	48	42	46	48	36	39	36	46	49	41	37	44	43	35	39	44	42	39	37	46	60	52	68	65	57	69	73	28	58	50	50	31	1,668				

#### IV. 種別・年度別アーティスト滞在回数



滞在回数 年度	種別		総計
	guest	studio	
1992	38	32	70
1993	23	25	48
1994	13	29	42
1995	17	29	46
1996	23	25	48
1997	15	21	36
1998	12	27	39
1999	11	25	36
2000	14	32	46
2001	19	30	49
2002	12	29	41
2003	8	29	37
2004	11	33	44
2005	11	32	43
2006	11	24	35
2007	9	30	39

滞在回数 年度	種別		総計
	guest	studio	
2008	6	38	44
2009	8	34	42
2010	7	32	39
2011	7	30	37
2012	10	36	46
2013	15	45	60
2014	7	45	52
2015	25	43	68
2016	8	57	65
2017	17	40	57
2018	20	49	69
2019	13	60	73
2020	6	22	28
2021	6	52	58
2022	9	41	50
2023	10	40	50
2024	11	20	31
総計	432	1,136	1,568

## つつっこプログラムー子どもやきもの交流事業ー

「つつっこプログラム」は、「子どもやきもの交流事業」と陶芸の森内で活動を行う「世界にひとつの宝物づくり事業」からなる体験事業で、本年度21年目を迎えました。古琵琶湖層からの贈り物である信楽の「土」を用い、地域の陶芸家やボランティア、学校などと協働して子どもたちにもものをつくる喜びや感動、本物の芸術を体感できる教育プログラムを提供することで、子どもたちの豊かな心を育むとともに、滋賀ならではの本物体験・感動体験を通して次代を担う人材育成に努めています。第3期滋賀県教育振興基本計画においても第「滋賀ならではの学習の推進」の中で「陶芸文化を通じた次世代の心豊かな人材育成」として位置づけられています。位置づけられています。つつっこプログラムは年間12,000人を超える児童・生徒の方々にご参加いただいています。

### 本物と出会うー総合学習プログラム 出張授業（連携事業）

小・中・高等学校を対象に学校へのお出張授業を進めています。

#### 【令和5年度 子どもやきもの交流事業 実績】

番号	講座形態	実施件数	参加者数	備考
1	出張授業	121件	6,567人	※すべて 県内小中高等学校 このうち 美ココロ 8件 191人 特別支援学級 9件 163人 特別支援学校 9件 131人
2	ねんどと遊ぶ	4件	139人	一般の親子
3	研修会	1件	40人	連携授業関係者夏季美術館研修会 56人
合 計		126件	6,746人	幼児～高校生 6,688人 大人(ねんどと遊ぶ・研修会) 58人 講座平均人数 53.5人



小児保健医療センター ねんどであそぼう



安土小学校シーサー制作



速野小学校土面制作



### 世界にひとつの宝物づくり

[滋賀県負担金、参加者負担金、その他の収入より運営]

「世界にひとつの宝物づくり実行委員会」が行っているこの事業は、「つつっこプログラム」の中でも、より「滋賀ならではの」体験ができるプログラムです。ここ陶芸の森で、地元陶芸作家や地域ボランティアの協力により、地元の「土」という素材を用い、陶芸家の技に触れ、ものをつくることの喜び

や感動が体感できます。特別支援学校生を含む幼児から大学生などの団体を随時受付し、鑑賞、見学、創作体験を組み合わせた活動を行いました。学校・美術館・文化ボランティア・陶芸家の四者連携プログラムです。

特徴的な取組として、甲賀市立雲井小学校6年生の子どもたちの社会科文時代の学習の一環として出張授業と来園制作を組み合わせたプログラムを実践しました。

事前学習では、陶芸家による縄文土器の話の後、地元企業大塚オーミ陶業株式会社製造の高精細複製「国宝火焰型土器」を子どもたちに触れてもらう授業を行い、翌日の来園制作では「世界にひとつの令和土器をつくろう！」というテーマで縄文から想像力を働かせ、現代の土器づくりに挑戦しました。



国宝を復元した縄文土器を触って学ぶ

【令和5年度 世界にひとつの宝物づくり事業 実績報告】

番号	講座形態	実施件数	参加者数	備考
1	来園制作 (学校)	44 件	1,781 人	内訳) 県内学校 38 件 1,662 人 県外学校 3 件 80 人 県内特別支援学校 3 件 39 人
	(団体)	7 件	113 人	内訳) 県内団体(放課後等デイ) 2 件 37 人 県内団体(学童) 2 件 14 人 県外団体 3 件 62 人
2	来園見学	30 件	2,617 人	内訳) 県内学校 27 件 2,230 人 県内団体 1 件 20 人 県外学校 2 件 367 人
3	出張授業	7 件	201 人	内訳) 雲井小 6 年生事前授業 1 件 19 人 ルシオール 1 件 109 人 守山市教育委員会(市民講座) 3 件 23 人 草津市立玉川こども園 1 件 24 人
4	特別講座	5 件	130 人	一般の親子
5	信楽窯業技術試験場との連携講座	2 件	34 人	一般の親子
6	研修会、研究会など	9 件	133 人	研修会内訳) つちっこプログラム陶芸家 1 件 15 人 レイカディア大学 1 件 25 人 夏季研修会(教職員) 1 件 12 人 雲井小学校教員研修 1 件 19 人 研究会内訳) 守山市教育委員会(下之郷史跡公園) 4 件 40 人 ユニバーサルミュージアム研究会 1 件 22 人
合計		104 件	5,009 人	幼児～大学生 4,816 人 大人 193 人 講座平均 48.1 人



陶芸の森で令和の土器づくり



穴窯焼成見学(大石小学校 4 年)



展覧会の鑑賞 膳所小学校 4 年生

## 産業の振興に関する事業

### 信楽窯業技術試験場との連携事業

#### (1) 試験場移転記念展に併せた取組み

移転記念展の開催を機に、かつて八木一夫や熊倉順吉らが試験場でデザインを手掛けた干支を商品化し、再生産に繋げる試作（ガチャガチャグッズ）に着手しました。

#### (2) 試験場研修生に対する滞在アーティスト等による講座の開催

滞在アーティストのトークショーに試験場研修生等を招き、アートやデザイン感覚の向上を図る機会を提供するなど、相互交流の場を設けて連携を深めました。

- ・アーティストトークショー（陶芸の森主催：計3回） <試験場参加者> 延8人
- ・窯元見学等／釉薬講義（試験場主催：計1回） <陶芸の森参加者> 延5人

## 人材育成事業

### 滋賀県立信楽高等学校への支援事業

信楽高等学校の各学年生徒に対し、陶芸の森で各種体験授業を行い、信楽高等学校地域支援協議会等の地域団体と連携して、地域での人材育成に努めました。

実施回数：5回 受講者数：142人

#### ア. 作家指導によるやきもの制作

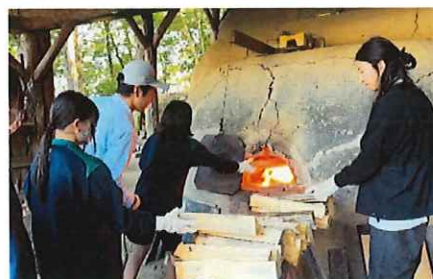
- <実施日>令和5年9月21日（木）
- <参加者>21人 セラミック系列2年
- <講師>山中 勇人

講師が設定したテーマ（植木鉢）で、植木鉢の制作をおこないました。作家から造形、制作に関する考え方を学びました。

#### イ. 登り窯焼成実習

- <実施日>令和5年10月26日（木）
- <参加者>23人 セラミック系列2年

伝統的で大規模な登り窯の焼成を体験することで、陶芸作品に対する理解と作陶活動に対する意欲の向上を図りました。





### ウ. デザイン系列絵付け実習

<実施日>令和5年11月10日（金）

<参加者>14人デザイン系列 3年

<講師>織田 阿奴

3年生デザイン系列を対象とした、作家の指導による陶椅子への絵付け実習をおこないました。



### エ. 陶芸の森 施設見学

<実施日>令和5年11月14日（火）

<参加者>58人 1年生

1年生を対象に陶芸に関する知識と関心を高めるために、職員による講義をおこないました。その後、グループに分かれて陶芸の森の施設見学をおこない、陶芸文化への理解を深めました。



### オ. 野焼き体験実習

<実施日>令和5年10月19日（木）

<参加者>26人 セラミック系列2年

産業社会と人間で学んできた陶芸史の内容を実体験することで、陶芸に対する理解を深めました。作陶や造形、焼成作業をとおして野焼きについて学びました。



## 若手陶器産業後継者への支援事業（デザイン活性化事業）

陶芸館ミュージアムショップのがちゃがちゃの商品開発を目的に、作品の公募をおこないました。36点の応募があり、入賞3点を選びました。入賞作品は、陶芸の森ミュージアムショップのがちゃがちゃで販売しデザインの啓発の一環としました。

- 主 催 滋賀県立陶芸の森
- 後 援 信楽陶器工業協同組合、信楽陶芸作家協会
- 募集期間 令和5年9月12日～12月24日
- 応募点数 105点
- 審査結果 金賞 永田 真菜実（静岡県）、銀賞 峯 果音（福岡県）  
銅賞 佐藤 好男（岡山県）

金賞



銀賞



銅賞



## 信楽産業展示館運営事業

展示会の開催（甲賀市が信楽焼振興協議会に委託）

期 間	展示内容	担 当	入館者数
令和 5年 4月 1日 令和 6年 3月 31日	信楽焼産業総合展	信楽陶器卸商業協同組合	85,722 人
			85,722 人 (81,059 人)

※入場者数の（ ）書きはR4年度の実績

### 企画展 ギャラリー展示

期 間	テ ー マ	担 当
令和 5年 4月 1日 令和 5年 5月 21日	ほろ酔いうつわと地酒展	企画事業委員会
令和 5年 5月 27日 令和 5年 7月 23日	信楽焼ビアカップ展	企画事業委員会

## その他の事業

### 陶芸の森ミュージアムショップ6センス

「岡本太郎 アートの夢-陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」展では、岡本太郎グッズをはじめ、出品作家によるガレージキットやアートホーロー作品、過去の陶芸の森がちゃがちゃデザインコンペ入賞者による陶製フィギュアなどを販売しました。展覧会出品フィギュア原型師全13名が展覧会のためにデザインしたトイカプセル「手のひらガレージキット」も展覧会限定で販売しました。

また、今年度3回目となる「がちゃがちゃデザインコンペ2022」の入賞者の作品をガチャガチャマシンで販売しました。

#### ■特集企画内容

- 「湯呑茶碗-日本人がこよなく愛したやきもの」展（令和5年度会期 74日間）

売上合計 1,262,261円（17,058円/日）

- ・関連企画として、滋賀県茶業会議所と連携し、近江茶の賞味会サービスを実施するとともに、ショップで近江銘茶「極煎茶比叡」「琵琶湖かぶせ」や、滋賀県産の丹波黒豆を使用した豆菓子、また「ちょっとレトロが新しい」をテーマに、レトロかわいい雑貨を販売。

- 「岡本太郎 アートの夢-陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」展

パート1（会期 62日間）売上合計 4,906,254円（79,133円/日）

パート2（会期 68日間）売上合計 3,806,535円（55,978円/日）

- ・岡本太郎グッズ、出品作家の作品や関連書籍、展覧会出品フィギュア原型師によるガレージキットのトイカプセルを展覧会限定で販売。

- 「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界」（令和5年度会期 26日間）

売上合計 25,290,608円（972,716円/日）

- ・展覧会限定商品をはじめ、リサ・ラーソンによるヴィンテージ作品、陶器作品、様々なグッズを販売。



「岡本太郎 アートの夢」展のミュージアムショップ

## 資 料

収蔵品収集実績						
収蔵年度	区分	海外の現代陶芸	日本の現代陶芸	滋賀ゆかりの陶芸	クラフトと 陶磁デザイン	計
平成元年～ 21年度	購 入	143	191	173	17	524
	寄 付	181	148	228	135	692
	計	324	339	401	152	1,216
平成23年度	購 入	0	0	0	0	0
	寄 付	22	6	63	0	91
	計	22	6	63	0	91
平成25年度	購 入	0	0	0	0	0
	寄 付	3	17	92	11	123
	計	3	17	92	11	123
平成26年度	購 入	0	1	0	0	1
	寄 付	0	0	0	0	0
	計	0	1	0	0	1
平成27年度	購 入	0	0	1	0	1
	寄 付	11	5	31	7	54
	計	11	5	32	7	55
平成29年度	購 入	0	0	1	0	1
	寄 付	23	10	42	0	75
	計	23	10	43	0	76
平成30年度	購 入	0	0	5	0	5
	寄 付	17	35	11	1	64
	計	17	35	16	1	69
令和元年度	購 入	0	0	8	0	8
	寄 付	3	2	10	1	16
	計	3	2	18	1	24
令和2年度	購 入	0	3	2	0	5
	寄 付	1	11	1	0	13
	計	1	14	3	0	18
令和3年度	購 入	0	0	5	0	5
	寄 付	0	16	8	3	27
	窯試(移管)	0	11	20	15	46
	計	0	27	33	18	78
令和4年度	購 入	0	0	3	0	3
	寄 付	2	9	0	6	17
	窯試(移管)	0	0	0	33	33
	計	2	9	3	39	53
令和5年度	購 入	1	0	1	0	2
	寄 付	9	16	5	0	30
	計	10	16	6	0	32
合 計	購入合計	144	195	198	17	555
	寄付合計	272	275	491	164	1,202
	窯試(移管)	0	11	20	48	79
総 計		416	481	710	229	1,836

1. 購入候補 2件

分類番号	作業者	作品名	制作年代	寸法 (cm)	数量	画像	備考
SO-317	坂・井伊直繁	美熟宝珠手製茶碗	19C後半/ 江戸後期	高7.7×口径9.6×底径8.0	1		刻銘「(花押)」、共箱箱蓋(裏表)「赤茶碗/宝珠之圖/御 露軒(花押)」、共箱裏面貼札「大正五年三月/赤小茶碗/宝 珠之圖」
W-181	スーザン・ホルズ	ラビット・ファミリー	2020/令和2	高29.0×幅9.0×奥行11.0 (cm) ほか	9		*ドロ잉ング (縦29.0×横35/平成23) ① ② 「Susan Halls 2020」、③ 「Susan Halls 2019」 ドロ잉ング「ウサギ」2011/平成23

2. 寄附候補 30件

No.	作業者	作品名	制作年代	寸法 (cm)	数量	画像	備考
J-422	河井 寛次郎	白地草花図壺	1930s/昭和前期	高20.0×口径13.6×胴径19.8×底径9.2	1		
J-423	河井 寛次郎	呉須画掛軸	1930s/昭和前期	高22.6×口5.3・6.0×幅17.0×奥行11.4 ×底9.3・9.3	1		共箱箱蓋「画懸 河井寛」、砂目跡あり
J-424	河井 寛次郎	呉須画掛軸	1930s/昭和前期	高33.4×口3.9・3.8×幅16.0×奥行15.4 ×底8.5・8.5	1		
J-425	河井 寛次郎	鉄絵草花文蔵物	1930s/昭和前期	高7.3×幅11.0×奥行7.3	1		
J-426	河井 寛次郎	白地草花文壺	1930s/昭和前期	高16.0×口径3.0・2.8×胴径8.7・8.0×底 5.4・5.0	1		
J-427	河井 寛次郎	白地呉須画砂香合	1930s/昭和前期	高3.1×径4.2・3.7×底3.7・3.3	1		
J-428	河井 寛次郎	呉須画砂草花文六方皿	1930s/昭和前期	高2.6×幅・奥行11.3・16.0	3		
J-429	河井 寛次郎	呉須画砂掛軸	1930s/昭和前期	高6.3×口径9.9×底径5.0	6		共箱箱蓋「皆建祝 河井寛」 6客のうち、1客の底にラベル「二八六」
J-430	林 康夫	陶板	1960/昭和35	縦19.8×横65.0×厚5.1 (木製ベース 付)	1		60 三浦省吾との二人展 (マロニエ画廊)、『60 傑展 (美濃里画廊)』
J-431	林 康夫	Entrance A	1990/平成2	高27.7×幅36.5×奥行37.8	1		刻銘「90 yasuo」 贈送空間：海星の三次元シリーズ (1980s-1990s) 2006 林康夫-オブジェ陶の幻燈 (パラミタミュージアム)
J-432	林 康夫	萬念「設計の図」	2008/平成20	高30.5×幅47.0×奥行25.0	1		刻銘「08 yasuo」 萬念シリーズ (2000s-)、2008 林康夫展 (高島屋京都店)
J-433	林 康夫	萬念「行夢」	2008/平成20	高37.6×幅53.5×奥行17.8	1		刻銘「08 yasuo」 2008 林康夫展 (高島屋京都店)
J-434	林 康夫	萬念「図の記憶14-1」 2014	2014/平成26	高27.0×幅24.0×奥行19.7	1		刻銘「14 yasuo」 萬念シリーズ (2000s-)、2014 林康夫展 (純をん小西)
SC-299	武田 洸	ニライカナイ	2012/平成24	縦18.4×横49.6×厚1.5 (木製ベース付 =縦30.5×横91.5×厚2.8)	1		2016 傑展 (現代美術画廊)
SC-300	武田 洸	絹陀落	2016/平成28	高35×幅43.3×奥行38	1		2016 傑展 (現代美術画廊)
SC-301	武田 洸	シーサー (陶箱)	2016/平成28	高38.5×幅21.0×奥行18.0	2		2016 傑展 (現代美術画廊)
SC-302	武田 洸	雷鼓ナマズ図皿	2017/平成29	高7.0×幅30.1×奥行31.3	1		刻銘「洸」/底にラベル「12」 2017 傑展 (ギャラリー・マロニエ)
SC-303	武田 洸	現球赤絵皿 (2種類)	2017/平成29	高4.3×幅35.3×奥行18.3	2		刻銘「洸」 2017 傑展 (ギャラリー・マロニエ)
J-435	菅倉 良雄	花器	1950s/昭和中期	高46.5×幅33.0×奥18.0、高71.0×幅 31.0×奥19.0、高41.0×幅37.5×奥20.0	3		
W-182	ピーター・ヴォーコス	Plate	c.1973/昭和48年 頃	高12cm×径49cm	1		鉄絵銘「Voukos 73」
W-183	アンソニー・カロ	Great Jones s Landscape	1989/平成元	高20.5×幅96.5×奥48.0 (台座木製: 幅 91.4×奥56.7)	1		同作品目録、[ANTHONY CARO] (TERRY FENTON, Thames and Hudson, 1986) 114 番に掲載
FW-235	日野 照展	恒星 Fixed Star	2014-2020/ 平成16-令和2	高184.0×幅83.0×奥行49.0	1		2020年度 ゲストアーティスト
FW-236	李 承辰 (イ・スンヒ)	TAO_Shigaraki_1	2023/令和5	幅41×奥行41	1		貸出: 縁刻「No.111 超大地土+3号型号 (黄土)」、[TAO 李 2023 (サイン)」、 2022年度ゲストアーティスト 制作研修局にて制作
FW-237	李 承辰 (イ・スンヒ)	TAO_Shigaraki_2	2023/令和5	幅39×奥行40	1		貸出: 色絵「No.30 僅美水短土」、[2023 TAO 李 (サイ ン)」、 2022年度ゲストアーティスト 制作研修局にて制作
FW-238	李 承辰 (イ・スンヒ)	TAO_Shigaraki_3	2023/令和5	幅39×奥行40	1		貸出: 縁刻「陶板土+型号 (黄土)」、[2023 TAO 李 (サイ ン)」、 2022年度ゲストアーティスト 制作研修局にて制作
FW-239	李 承辰 (イ・スンヒ)	TAO_092502	2022/令和4	高2.6 (陶板6m+バネル2cm)×径58 外箱 (幅65×62×高さ6.2cm)	1		右下: 縁刻「[2022 092502]」、寛書「TAO 李」 景徳鎮にて制作/台座の野中船高(22)の出品作品
FW-240	アー・ソティグラフ バ (Aor Suthiprapha)	INTERNAL DIALOG(Group)	2019/令和元	黄=高18.0×直径24.0、赤=高14.0×直 径19.0、白=高16.0×直径24.0	1		色絵銘「[a]18」 2018年度ゲストアーティスト 制作研修局にて制作
FW-241	アー・ソティグラフ バ (Aor Suthiprapha)	ORIGINS	2023/令和5	高35.0×幅43.0×奥行39.0	3		2018年度ゲストアーティスト 制作研修局にて制作
FW-242	アー・ソティグラフ バ (Aor Suthiprapha)	BREATH WITH ME, I AM INSIDE YOU	2023/令和5	高80.0×直径65.0	1		2018年度ゲストアーティスト 制作研修局にて制作
FW-243	秋永 邦洋	麋鹿 (山羊)	2023/令和5	高84.0×幅23.0×奥行72.0	1		2019年度 ゲストアーティスト 制作研修局にて制作

# 施設利用実績

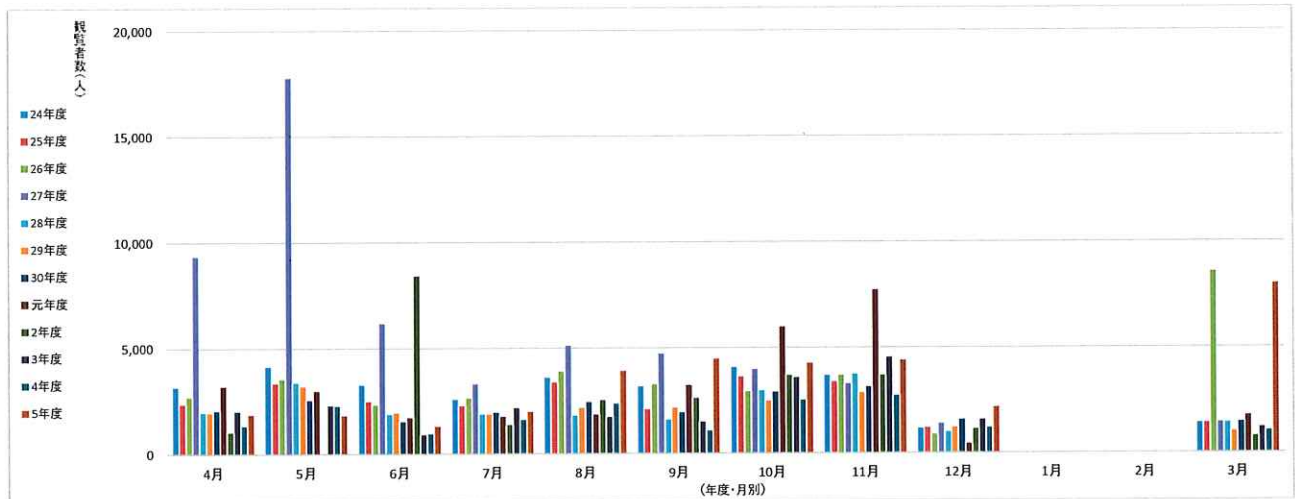
## 陶芸の森 年度別・月別入園者数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1ヶ月平均
平成15～23年度	276,460	357,135	197,590	197,202	214,066	270,071	492,772	307,237	130,582	99,403	143,458	180,846	2,866,822	26,545
24年度	24,902	39,253	19,453	18,772	23,856	22,288	53,241	39,380	17,772	13,793	16,279	24,130	313,119	26,093
25年度	31,090	51,404	26,371	21,131	25,777	28,047	55,580	36,874	17,039	12,052	13,247	19,779	338,391	28,199
26年度	27,903	52,863	21,987	21,522	23,390	28,955	48,100	40,276	12,544	11,406	15,256	32,188	336,390	28,033
27年度	39,836	73,243	29,028	25,346	27,845	37,850	58,307	35,315	17,601	13,201	17,855	24,811	400,238	33,353
28年度	28,390	58,906	22,453	24,009	33,151	32,853	63,790	42,067	20,890	13,885	18,182	28,485	387,061	32,255
29年度	32,741	56,846	26,342	24,921	29,880	27,222	46,184	35,737	18,851	13,312	16,511	25,234	353,781	29,482
30年度	31,960	54,517	24,324	20,129	27,459	23,614	49,910	36,170	19,258	14,468	17,476	26,879	346,164	28,847
令和元年度	33,588	67,724	23,730	22,173	24,597	47,034	48,296	69,062	26,434	28,992	36,528	20,399	448,557	37,380
2年度	16,552	10,075	34,672	26,676	29,955	56,347	39,741	42,579	20,092	15,960	22,400	24,843	339,892	28,324
3年度	29,720	31,126	24,564	44,035	21,200	26,815	37,754	61,861	18,746	15,072	16,716	24,550	352,159	29,347
4年度	29,638	65,025	25,335	24,817	25,698	26,987	40,440	47,370	17,598	0	16,189	27,057	346,154	28,846
5年度	31,746	69,704	23,052	25,721	26,761	45,767	34,446	40,651	19,085	13,912	17,587	34,142	382,574	31,881
合計	634,526	987,821	498,901	496,454	533,635	673,850	1,068,561	834,579	356,492	265,456	367,684	493,343	7,211,302	388,585

※合計は入園者の計測開始年度（平成15年度）以降の計

## 陶芸館 年度別・月別観覧者数

年度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
平成3～23年度	入場者数	76,099	115,143	81,733	86,071	116,053	95,736	115,347	122,087	36,340	22,253	29,200	55,911	982,151	173
	開催日数	510	512	480	503	548	473	545	519	347	274	286	442	5,674	
24年度	入場者数	3,152	4,131	3,274	2,576	3,600	3,170	4,067	3,666	1,152	0	0	1,390	30,178	128
	開催日数	26	27	26	22	26	22	26	26	14	0	0	20	235	
25年度	入場者数	2,356	3,343	2,481	2,268	3,371	2,083	3,605	3,380	1,194	0	0	1,385	25,466	109
	開催日数	26	27	20	26	28	19	28	26	13	0	0	20	233	
26年度	入場者数	2,687	3,535	2,305	2,634	3,882	3,258	2,917	3,674	868	0	0	8,562	34,322	146
	開催日数	26	28	20	27	27	24	23	26	13	0	0	21	235	
27年度	入場者数	9,336	17,767	6,172	3,292	5,110	4,715	3,955	3,284	1,375	0	0	1,425	56,431	251
	開催日数	26	27	20	27	26	21	24	25	12	0	0	17	225	
28年度	入場者数	1,958	3,365	1,865	1,864	1,790	1,596	2,969	3,741	994	0	0	1,414	21,556	94
	開催日数	26	26	21	27	26	20	29	26	10	0	0	18	229	
29年度	入場者数	1,954	3,187	1,951	1,866	2,154	2,161	2,470	2,848	1,199	0	0	1,003	20,793	90
	開催日数	26	26	20	26	27	21	26	26	15	0	0	19	232	
30年度	入場者数	2,032	2,539	1,519	1,940	2,428	1,930	2,889	3,130	1,569	0	0	1,437	21,413	93
	開催日数	26	26	21	26	27	21	22	26	17	0	0	18	230	
令和元年度	入場者数	3,192	2,961	1,710	1,748	1,836	3,208	5,972	7,706	431	0	0	1,747	30,511	150
	開催日数	26	27	20	26	26	19	26	26	1	0	0	6	203	
2年度	入場者数	1,017	0	8,397	1,367	2,529	2,600	3,683	3,665	1,116	0	0	764	25,138	154
	開催日数	9	0	24	12	26	20	25	25	12	0	0	10	163	
3年度	入場者数	1,994	2,281	901	2,162	1,717	1,488	3,563	4,521	1,561	0	0	1,182	21,370	98
	開催日数	26	26	8	27	24	16	27	25	17	0	0	23	219	
4年度	入場者数	1,318	2,255	946	1,596	2,346	1,067	2,508	2,726	1,186	0	0	1,024	16,972	78
	開催日数	26	26	13	27	26	15	26	26	16	0	0	18	219	
5年度	入場者数	1,855	1,812	1,290	1,974	3,900	4,466	4,258	4,376	2,155	0	0	7,975	34,061	149
	開催日数	26	26	22	14	27	22	26	26	14	0	0	26	229	
合計	入場者数	108,950	162,319	114,544	111,358	150,716	127,478	158,203	168,804	51,140	22,253	29,200	85,219	1,320,362	1,713
	開催日数	805	804	715	790	864	713	853	828	501	274	286	658	8,326	



## 陶芸館展覧会別観覧者数

### 収蔵品展・特別企画展

年度	展覧会名	会期	開催日数	観覧者数	一日平均
平成3年度	世界の現代陶芸展	H3.7.20～12.15	128	41,006	320
	世界の現代陶芸展Ⅱ	H4.2.12～3.19	32	6,179	193
	世界の現代陶芸展Ⅲ	H4.5.12～9.30	121	35,717	295
4年度	世界の現代陶芸展	H4.9.18～9.30	11	4,141	376
	朝日陶芸展'92	H4.12.1～H5.3.19	78	9,785	125
5年度	世界の現代陶芸展	(H5.3.2～3.14)	82	20,043	244
	世界の現代陶芸展	H5.6.1～9.3	104	17,072	164
6年度	世界の現代陶芸展	(H6.3.1～3.13)	83	18,667	225
	世界の現代陶芸展	H6.6.12～9.15	75	7,141	95
7年度	世界の現代陶芸展	(H7.2.25～3.10)	35	7,353	210
	世界の現代陶芸展	H7.6.3～7.13	78	23,407	300
8年度	パプアニューギニアの土器展	H7.7.18～10.15	90	11,377	126
	世界の現代陶芸展	H7.11.25～H8.3.17	38	9,803	258
9年度	陶芸の森新館蔵品展	(H8.3.5～3.17)	65	21,652	333
	陶芸の森 館蔵品展	H8.5.25～7.7	74	6,955	94
10年度	陶芸の森 館蔵品展	(H9.2.5～3.7)	34	6,332	186
	新・収蔵品展	H9.5.31～7.9	55	14,185	258
11年度	変貌する陶芸展	H9.7.13～9.14	108	16,585	154
	陶の表現展	(H9.11.1～H10.3.15)	25	3,766	151
12年度	新・収蔵品展	H10.6.6～7.4	88	17,597	200
	滋賀やきもの探訪・やきもの動物の森展	H10.9.12～12.23	59	5,817	99
13年度	陶芸の美展	(H11.2.3～3.14)	32	5,612	175
	美の所産展	H11.5.29～7.4	68	13,483	198
14年度	陶芸..使うこと・味わうこと展	H11.7.10～9.26	77	5,835	76
	アーティスト・イン・レジデンス90年代の歩み展	H11.12.5～H12.3.11	44	7,356	167
15年度	滋賀やきもの探訪「信楽焼 - 伝統の技」	H12.5.20～7.9	56	10,257	183
	滋賀やきもの探訪「陶芸の森コレクションから」	H12.7.15～9.17	61	3,868	63
16年度	「陶芸 - 最前線」	H12.12.23～H13.3.11	63	10,074	160
	陶芸の森10年の歩みⅠ - 世界の現代陶芸	H13.7.14～9.24	43	4,361	101
17年度	女性たちの陶芸展 - 女流陶芸と吹米作家たちとの競演	H13.12.1～H14.1.27	44	4,542	103
	陶芸の森10年の歩みⅡ - 滋賀ゆかりのやきもの・日本の現代陶芸	H14.2.2～3.31	74	12,189	165
18年度	特別企画展「ルーシー・リー展 ～静寂の美～」	H14.4.6～6.30	96	6,123	64
	収蔵品によるテーマ展「古くて、新しい表現...陶の可能性」	H14.12.3～H15.3.30	121	20,270	168
19年度	企画展「まぼろしのやきもの - 滋賀の郷土」	H15.4.4～8.22	10	1,122	112
	特別企画展「神々の形象 パプアニューギニアの土器」	H16.3.20～3.31	104	13,161	127
20年度	特別企画展「神々の形象 パプアニューギニアの土器」	H16.4.1～7.30	20	3,106	155
	特別企画展「信楽のやきものとともに - 寒六窯と遊陶人」	H16.11.23～12.15	85	10,038	118
21年度	特別企画「日本の現代陶芸・海外の現代陶芸 - 迫力の時代」	H17.6.19～9.25	72	7,924	110
	特別企画「信楽を訪れた594人の陶芸家たち - アーティスト・イン・レジデンスの軌跡」	H18.7.4～9.24	92	10,771	117
22年度	特別企画「魅せられる...今、注目される日本の陶芸」	H19.6.10～9.24	95	15,935	168
	特別企画「やきもの動物パラダイス」&「滋賀のやきもの」展	H20.9.21～3.31	11	1,561	142
23年度	特別企画「やきもの動物パラダイス」&「滋賀のやきもの」展	H21.4.1～4.12	62	8,694	140
	特別企画展「陶の“うつわ”と“かたち”」	H21.4.19～6.28	60	7,812	130
24年度	Part 1 使ってみよう! 愉しみの“うつわ” / 心を潤す 癒しの“かたち”	H21.7.5～9.12	66	8,053	122
	特別企画展「陶の“うつわ”と“かたち”」	H22.6.26～9.10	27	1,889	70
25年度	Part 2 華やかと味わいの“うつわ” / 驚きと発見! コーテラスな“かたち”	H23.3.1～3.31	15	1,307	87
	特別企画展「わくわくミュージアム - ちよっと不思議で楽しい“やきもの”」	H23.4.1～4.17	142	20,019	141
26年度	特別企画展「近江に花開いたやきもの - 街道とともに...」	H23.6.30～12.11	85	8,947	105
	特別企画展「近江に花開いたやきもの - 街道とともに...」	H25.6.18～9.23	20	1,385	69
27年度	特別企画展「あれもやきもの これもやきもの」	H25.3.8～3.30	73	8,323	114
	「陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス20年のあゆみ」	H26.4.1～6.22	78	9,978	128
28年度	特別企画展「現代イギリスの陶芸 - パーナード・リーチから若手作家まで」	H26.6.29～9.28	88	14,974	170
	特別企画展「信楽焼の美 - 炎が作り出す野趣溢れる肌合い」	H27.6.14～9.23	83	6,314	76
29年度	特別企画展「現代イギリスの陶芸 - パーナード・リーチから若手作家まで」	H28.6.19～9.23	18	1,414	79
	特別企画展「信楽焼の美 - 炎が作り出す野趣溢れる肌合い」	H29.3.11～3.31	62	6,217	100
30年度	特別企画展「葉まれ! 奇想天外な“やきもの”たち」	H28.4.1～6.11	84	7,056	84
	特別企画「土・祈り・イマジネーション...岡本太郎の言葉とともに」展	H29.6.20～9.24	19	1,003	53
31年度	特別企画展「インサイド×アウトサイド - 陶芸の森アート・クルーズ」	H30.3.10～3.31	67	5,773	86
	特別企画「うつわ」ドラマチック展	H30.4.1～6.17	77	6,615	86
令和元年度	特別企画「うつわ」ドラマチック展	H30.6.24～9.24	18	1,437	80
	特別企画「陶の花 FLOWERS」展	H31.3.12～3.31	78	8,645	110
2年度	特別企画「陶の花 FLOWERS」展	H31.3.12～R元.6.9	69	4,552	66
	特別企画「交流と実験 - 新時代の(やきもの)をめざして」展	R元.6.18～9.6	58	6,496	112
3年度	特別企画「湖国・滋賀の陶芸 - 風土と伝統そして交流のなかで」展	R2.7.18～9.22	23	1,182	51
	信楽窯業技術試験場移転記念展「ジャパン・スタイル - やきものXデザインX生活」	R4.3.5～3.31	60	4,181	70
4年度	信楽窯業技術試験場移転記念展「ジャパン・スタイル - やきものXデザインX生活」	R4.4.1～6.9	79	7,159	91
	特別企画「静中動: 韓国のスピリットをたどる - 開かれた陶のアート」	R4.9.17～12.18	18	1,024	57
5年度	特別企画「湯呑茶碗 - 日本人がこよなく愛したやきもの」	R5.3.11～3.31	74	4,957	67
	特別企画「湯呑茶碗 - 日本人がこよなく愛したやきもの」	R5.4.1～6.25	4,334	637,574	147
合計					



## 陶芸館展覧会別観覧者数

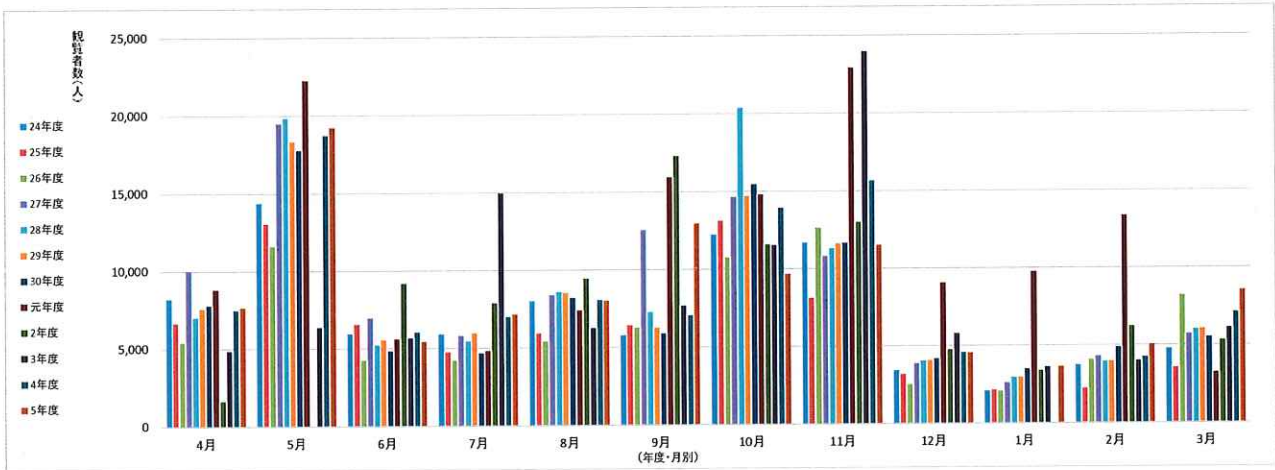
### 特別展・公募展

年度	展覧会名	会期	開催日数	観覧者数	一日平均
平成 3年度	おしゃべりなディポット展	H4.1.5～2.11	32	4,265	133
	近江のやきもの展	H4.3.20～3.31	10	2,786	279
4年度	近江のやきもの展	H4.4.1～5.10	35	10,943	313
	現代イタリア陶芸展	H4.10.10～11.23	39	8,389	215
5年度	熊倉順吉とその仲間たち	H5.3.20～3.31	10	1,355	136
	熊倉順吉とその仲間たち	H5.4.1～5.30	52	9,058	174
	八木一夫が出会った子供たち	H5.9.4～10.31	50	7,840	157
6年度	エイドリアン・サックス展	H6.3.20～3.31	10	1,180	118
	エイドリアン・サックス展	H6.4.1～6.5	57	6,724	118
	近江のやきもの展	H6.9.20～11.27	60	12,094	202
7年度	現代イギリス陶芸展	H7.3.19～3.31	11	1,300	118
	現代イギリス陶芸展	H7.4.1～5.28	50	7,494	150
	トプカプ宮殿の名品展	H7.10.21～11.19	26	10,650	410
8年度	漂 - 現代の陶芸美	H8.3.23～3.31	8	1,774	222
	漂 - 現代の陶芸美	H8.4.1～5.19	42	12,445	296
	明治のやきもの 画家たちのやきもの	H8.9.29～11.24	49	14,794	302
9年度	画家たちのやきもの	H9.3.15～3.31	14	2,580	184
	画家たちのやきもの	H9.4.1～5.25	48	11,053	230
	バーナード・リーチ展	H9.9.20～10.26	32	11,125	348
10年度	つくり手たちの原像展	H10.3.21～3.31	9	1,918	213
	つくり手たちの原像展	H10.4.1～5.31	53	10,782	203
	セールブル名品展	H10.7.11～9.6	50	11,407	228
11年度	なんてき・れい・いなんて不思議展	H11.3.20～3.31	10	1,892	189
	なんてき・れい・いなんて不思議展	H11.4.1～5.23	46	12,417	270
	やきもの20世紀	H11.10.2～11.28	50	14,147	283
12年度	アル・ヌーヴォーとアール・デコの陶芸展	H12.3.19～3.31	11	1,866	170
	アル・ヌーヴォーとアール・デコの陶芸展	H12.4.1～5.14	38	8,514	224
	「熊倉順吉ジャズの響きをやきものにした作家」	H12.9.23～12.17	74	9,155	124
13年度	「イタリア陶磁器の伝統と革新 - ジョリ展」	H13.3.18～3.31	12	1,418	118
	「イタリア陶磁器の伝統と革新 - ジョリ展」	H13.4.1～5.20	43	10,730	250
	「ドイツ陶芸の100年 - アール・ヌーヴォーから現代作家まで」	H13.5.27～7.8	37	6,234	168
14年度	「大信楽展～焼締めの美への憧れとその軌跡～」	H13.10.2～11.25	48	11,195	233
	特別展「スイスの陶芸 - ルネッサンスから現代まで」	H14.7.9～9.8	54	8,005	148
	特別展「暮らしに美を求めて - 陶磁器試験場の技術とデザイン」	H14.9.15～11.24	61	8,552	140
15年度	特別展「桃山陶に魅せられた七人の陶芸家 - 陶片に学んだ技と美」	H15.8.30～10.13	39	7,698	197
	特別展「ロシア・アヴァンギャルドの陶芸 - モダンデザインの実験」	H15.10.21～11.30	37	6,514	176
16年度	特別展「デンマーク王室の陶磁コレクション - ロイヤル・コペンハーゲン」	H16.8.8～11.14	85	15,261	180
	特別展「北欧のスタイリッシュ・デザイン - フィンランドのアラビア窯」	H17.3.19～3.31	11	1,706	155
17年度	特別展「北欧のスタイリッシュ・デザイン - フィンランドのアラビア窯」	H17.4.1～6.12	63	13,586	216
	特別展「湖国を彩るやきもの - 滋賀の陶芸家たち」	H17.10.2～12.18	67	10,330	154
	特別展「人のかたち - もうひとつの陶芸美」	H18.3.18～3.31	12	1,104	92
18年度	特別展「人のかたち - もうひとつの陶芸美」	H18.4.1～6.25	75	8,431	112
	特別展「近江のやきものがたり」	H18.10.1～12.17	67	9,737	145
	特別展「ようこそ！ ためき御殿へ - おもしろき日本の狸表現」	H19.3.17～3.31	12	2,482	207
19年度	特別展「ようこそ！ ためき御殿へ - おもしろき日本の狸表現」	H19.4.1～6.3	56	13,301	238
	特別展「ジャポニズムのテーブルウェア - 西洋の食卓を彩った“日本”」	H19.10.2～12.24	73	9,025	124
20年度	特別展「近江の商家のくらしとやきもの」	H20/3.15～3.30	14	1,960	140
	特別展「近江の商家のくらしとやきもの」	H20.4.1～6.29	80	12,935	162
	特別展「世界に誇る和製テーブルウェア - オールドブリタケと懐かしの洋食器」	H20.7.6～9.15	62	10,141	164
21年度	特別展「没後50年 北大路魯山人」	H21.9.19～12.13	75	23,496	313
	特別展「ハンス・コバー展 - 20世紀陶芸の革新」	H21.3.13～3.31	16	1,340	84
22年度	特別展「ハンス・コバー展 - 20世紀陶芸の革新」	H22.4.1～6.17	68	8,389	123
	特別展「しがらきやき - 直方の茶陶 春斎の壺」	H22.9.18～12.12	82	14,004	171
23年度	特別展「ウィリアム・ド・モガン - 楽しい生活を彩るタイルと陶器」	H23.4.23～6.19	50	6,501	130
	特別展「陶芸の魅力×アートのドキドキ」	H24.3.3～3.31	25	2,192	88
24年度	特別展「陶芸の魅力×アートのドキドキ」	H24.4.1～7.6	84	11,222	133
	特別展「明治・大正時代の日本陶磁 - 産業と工芸美術」	H24.7.14～8.26	43	5,511	128
	特別展「しがらきやきII - 大西忠左と勲旨の名工たち」	H24.9.6～12.16	88	12,055	137
	特別展「フランス印象派の陶磁器1866-1886ジャポニズムの成熟」	H25.3.9～3.31	20	1,390	69
25年度	特別展「フランス印象派の陶磁器1866-1886ジャポニズムの成熟」	H25.4.1～6.9	61	6,955	114
	特別展「酒器の玉手箱」	H25.10.2～12.15	66	8,179	124
26年度	特別展「やきものって何ダ? - 陶芸美術館 8 館の名品に学ぶ」	H26.10.5～12.14	61	7,459	122
	特別展「北欧スウェーデンの動物のやきもの リサ・ラーソン展」	H27.3.7～3.31	21	8,562	408
27年度	特別展「北欧スウェーデンの動物のやきもの リサ・ラーソン展」	H27.4.1～6.7	59	31,418	533
	特別展「信楽への眼差し」	H27.10.4～12.13	61	8,614	141
28年度	公募展「マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今 - 伝統と革新」	H28.3.12～3.31	17	1,425	84
	公募展「マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今 - 伝統と革新」	H28.4.1～6.12	63	6,124	97
29年度	特別展「珠玉の湖東焼」	H28.10.1～12.11	65	7,704	119
29年度	特別展「粋な古伊万里 - 江戸好みの器デザイン」	H29.10.1～12.17	67	6,517	97
30年度	特別展「信楽に魅せられた美の巨匠たち」	H30.10.6～12.20	65	7,588	117

年度	展覧会名	会期	開催日数	観覧者数	一日平均
令和	特別展「北大路魯山人 古典復興—現代陶芸をひらく」	R元.9.14～12.1	67	17,004	254
元年度	特別展「リサ・ラーソン—創作と出会いをめぐる旅」	R2.3.25～3.31	6	1,747	291
2年度	特別展「リサ・ラーソン—創作と出会いをめぐる旅」	R2.4.1～6.28	33	9,414	285
	特別展「奇跡の土—信楽焼をめぐる三つの景色」	R2.10.3～12.13	62	8,464	137
	特別展「神楽ニッポン 明治のやきもの—幻の横浜焼・東京焼」	R3.3.20～3.31	10	764	76
3年度	特別展「神楽ニッポン 明治のやきもの—幻の横浜焼・東京焼」	R3.4.1～6.6	58	5,097	88
	特別展「Human and Animal 土に吹きこまれた命 21世紀陶芸の最先端」Part1 子どもたちとともに	R3.6.29～9.5	58	4,276	74
4年度	特別展「Human and Animal 土に吹きこまれた命 21世紀陶芸の最先端」Part2 アーティストたちに迫る	R3.9.18～12.19	80	10,815	135
	特別展「土に託されたきらめき—子どもたち×アーティスト／セラミクス最先端」	R4.6.25～9.4	62	4,608	74
5年度	特別展「岡本太郎 アートの夢—陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」パート1	R5.7.15～9.24	61	10,177	167
	特別展「岡本太郎 アートの夢—陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」パート2	R5.9.30～12.17	68	10,952	161
	特別展「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界—クラシックな名作とともに」	R6.3.2～3.31	26	7,975	307
合 計			3,732	658,230	176

### 信楽産業展示館 年度別・月別観覧者数

年度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
平成3～23年度	入場者数	168,939	275,471	134,822	176,697	197,209	147,902	261,360	260,821	77,446	55,062	82,484	132,991	1,971,204	305
	開催日数	536	560	540	494	583	533	539	545	508	509	533	579	6,459	
24年度	入場者数	8,193	14,371	5,938	5,899	8,004	5,774	12,219	11,661	3,428	2,063	3,726	4,739	86,015	276
	開催日数	26	27	26	28	30	26	26	26	23	23	24	27	312	
25年度	入場者数	6,655	13,025	6,536	4,727	5,920	6,409	13,111	8,103	3,154	2,125	2,216	3,540	75,521	245
	開催日数	26	27	26	26	28	24	29	26	23	23	24	26	308	
26年度	入場者数	5,406	11,578	4,217	4,200	5,390	6,245	10,722	12,601	2,501	2,049	4,043	8,181	77,133	251
	開催日数	26	28	25	27	27	25	27	26	23	23	24	26	307	
27年度	入場者数	10,018	19,459	6,955	5,794	8,364	12,527	14,636	10,784	3,839	2,596	4,279	5,717	104,968	341
	開催日数	26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308	
28年度	入場者数	7,009	19,817	5,201	5,448	8,573	7,245	20,346	11,295	4,017	2,924	3,956	5,994	101,825	330
	開催日数	26	26	26	27	26	26	29	26	23	23	24	27	309	
29年度	入場者数	7,566	18,303	5,534	5,952	8,528	6,243	14,683	11,606	4,054	2,948	3,953	6,034	95,404	312
	開催日数	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	24	27	306	
30年度	入場者数	7,763	17,752	4,825	4,655	8,186	5,876	15,441	11,639	4,152	3,463	4,844	5,492	94,088	307
	開催日数	26	26	26	26	27	26	26	26	23	23	24	27	306	
令和元年度	入場者数	8,795	22,227	5,586	4,792	7,374	15,917	14,767	22,901	9,033	9,740	13,330	3,230	137,692	481
	開催日数	26	27	26	26	27	25	27	26	23	23	24	6	286	
2年度	入場者数	1,619	0	9,166	7,876	9,438	17,279	11,561	12,969	4,729	3,363	6,208	5,299	89,507	346
	開催日数	5	0	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	259	
3年度	入場者数	4,832	6,334	5,660	14,944	6,236	7,650	11,516	23,953	5,767	3,600	3,982	6,101	100,575	331
	開催日数	26	26	26	27	24	26	27	25	23	23	24	27	304	
4年度	入場者数	7,452	18,699	6,004	6,980	8,037	7,043	13,914	15,656	4,552	0	4,206	7,113	99,656	356
	開催日数	26	26	26	27	26	25	26	26	23	0	22	27	280	
5年度	入場者数	7,613	19,209	5,411	7,137	7,985	12,922	9,653	11,504	4,534	3,615	5,007	8,518	103,108	337
	開催日数	26	26	26	26	26	26	26	26	23	23	25	27	306	
合計	入場者数	251,860	456,245	205,855	255,101	289,244	259,032	423,929	425,493	131,206	93,548	142,234	202,949	3,136,696	312
	開催日数	827	852	849	814	903	840	862	854	786	764	820	879	10,050	



### 信楽ホール・会議室利用件数

(単位：回)

催事内容	平成3～23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	計
式典・総会等	174	4	2	3	4	3	7	3	4	1	5	3	5	218
芸能・音楽発表会等	486	9	15	10	14	13	10	5	9	5	9	11	16	612
講演会・シンポジウム等	87	1	2	3	3	2	9	3	4	1	0	3	1	119
研修・映画会等	136	4	5	7	4	1	2	2	4	1	1	3	1	171
計	883	18	24	23	25	19	28	13	21	8	15	20	23	1120

## 沿革と記録

---

- 昭和 60 年（1985 年）4 月 陶芸の森設置の検討（商工労働部商工課経済対策係）
- 昭和 61 年（1986 年）3 月 滋賀県立陶芸の森整備基金条例の公布（基金 10 億円）
- 平成元年（1989 年）3 月 建築工事着手  
7 月 公園工事着手
- 平成 2 年（1990 年）4 月 財団法人滋賀県陶芸の森設立  
6 月 竣工・プレ世界陶芸祭開催（6 月 2 日～6 日）
- 平成 3 年（1991 年）4 月 世界陶芸祭開催（4 月 20 日開幕）  
5 月 世界陶芸祭中止（5 月 15 日閉場）  
7 月 平常業務再開（7 月 20 日）
- 平成 4 年（1992 年）7 月 創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業開始
- 平成 7 年（1995 年）10 月 開設 5 周年記念シンポジウム「今日のうつわを考えるー用と美の対立を超えて」開催
- 平成 11 年（1999 年） オランダのフェンロ市立美術館で初めて海外での陶芸の森のコレクション「日本の現代陶芸ー前衛の動向ー」展を開催
- 平成 13 年（2001 年）10 月 ・開設 10 周年記念イベント鼎談「土と炎と創作とー21 世紀の陶芸を見すえてー」開催  
・10 周年記念展として陶芸館で特別展「第信楽焼展ー焼締めの美への憧れとその軌跡」を開催
- 平成 14 年（2002 年）1 月 ・陶芸館入館者数 60 万人記録  
・創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受入者の延べ人数が 500 人を超える  
・信楽産業展示館入館者数 100 万人記録
- 平成 16 年（2004 年）10 月 文部科学省「子どもの居場所づくり」キャンペーン事業「本物と出合うー森・もり！やきもの大作戦」開始
- 平成 17 年（2005 年）3 月 中世穴窯／金山遺跡の再現事業で「金山再現窯」完成
- 平成 18 年（2006 年）4 月 指定管理者制度に基づき財団法人滋賀県陶芸の森が滋賀県立陶芸の森の指定管理者となる  
6 月 創立 15 周年記念特別企画展「信楽を訪れた 594 人の陶芸家たち展」を開催

平成 19 年 (2007 年)	7 月	『近江やきものがたり』京都新聞出版センターより出版
	11 月	天皇皇后両陛下を御迎えする
平成 22 年 (2010 年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開設 20 周年記念特別展「しがらきやき—直方の茶陶 春斎の壺—」を開催</li> <li>・ 開設 20 周年記念シンポジウム「芸術・産業・観光から 活力あるしがらきの未来を考える—やきものが信楽を創造する—」を開催</li> <li>・ 創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受入者の延べ人数が 800 人を超える</li> </ul>
平成 24 年 (2012 年)	4 月	公益法人制度改革により公益財団法人滋賀県陶芸の森に移行
平成 25 年 (2013 年)		陶芸館累計入館者数 100 万人達成
平成 27 年 (2015 年)	10 月	<p>開設 25 周年事業として、「25 周年記念事業—国際陶芸ワークショップ・シンポジウム アーティスト・イン・レジデンスを視点として「信楽から世界を見る 世界から信楽を見る」を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創作研修館でのアーティスト・イン・レジデンス事業での受入者の延べ人数が 1,000 人を超える</li> </ul>
平成 28 年 (2016 年)		文化庁補助事業として、海外のレジデンス機関への陶芸家の派遣をはじめめる
平成 29 年 (2017 年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 陶芸館累計入館者数 120 万人達成</li> <li>・ つちっこプログラム累計参加者数 10 万人達成</li> <li>・ 信楽長野地区の商店街の中に陶芸の森地域連携拠点として、「FUJIKI」をオープン</li> </ul>
平成 30 年 (2018 年)		信楽産業展示館累計入館者数 240 万人達成
令和元年 (2019 年)		年間入園者数が 448,557 人となり、入園者の計測を開始した平成 15 年以降で最大となる
令和 2 年 (2020 年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開設 30 周年記念事業として「薪窯の魅力を語る会×薪窯ワークショップ」、特別展「奇跡の土—信楽焼をめぐる三つの景色」を開催</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症流行による緊急事態宣言の発令に伴い、休園や陶芸館の臨時休館をおこなう</li> </ul>
令和 3 年 (2021 年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理第 4 期 (5 年間) の初年度として、新たに第 4 期中期経営計画を策定</li> <li>・ 信楽窯業技術試験場の令和 4 年度の隣接移転を見据えて、記念展「JAPAN STYLE—信楽クラフトデザインのあゆみ」を開催</li> </ul>

令和4年(2022年)

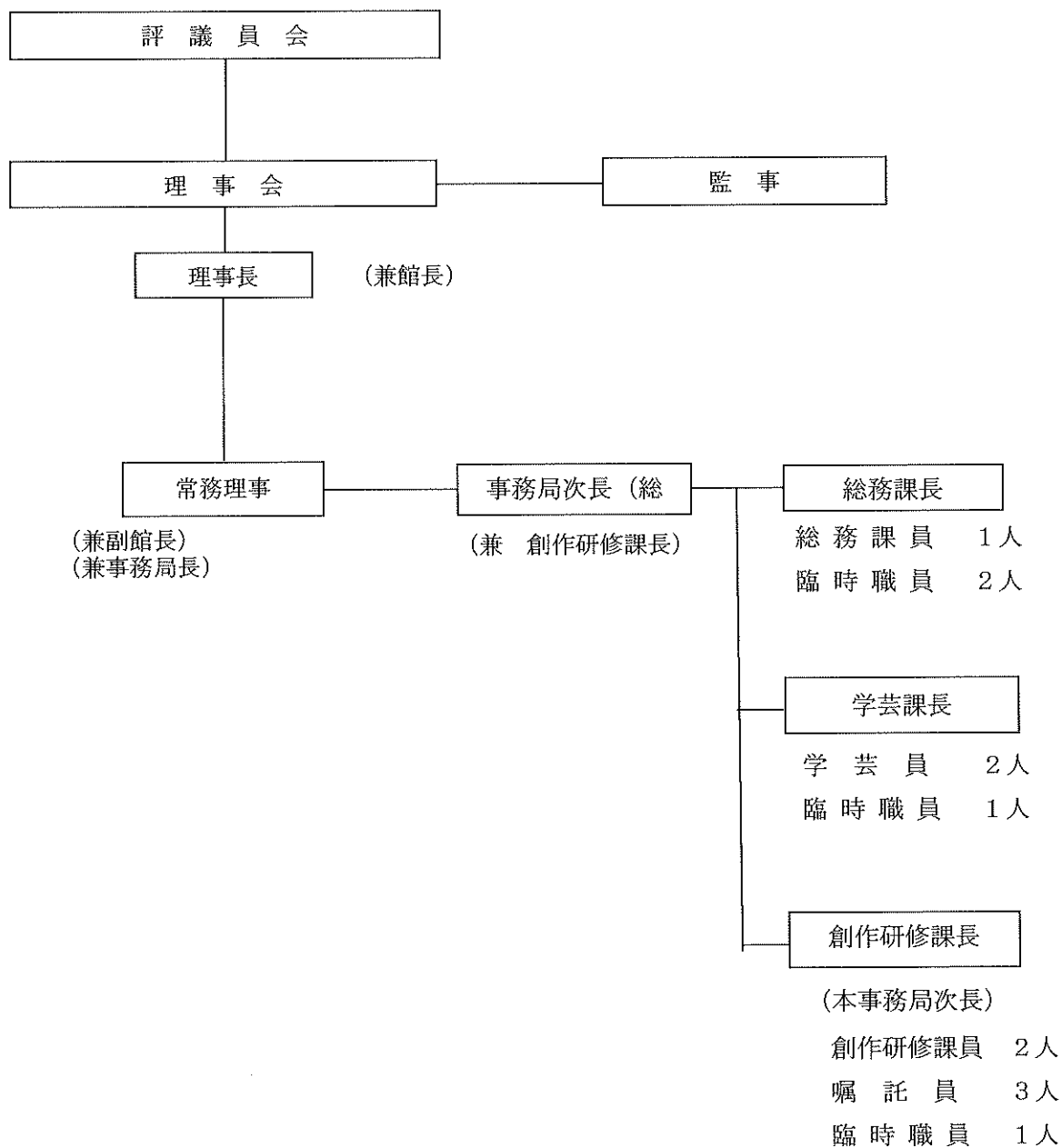
- ・令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の流行も年度半ばから収束傾向が見られ、入園者は概ねコロナ禍前に回復。
- ・施設修繕工事で1か月間の臨時休園があったものの、入園者数は、目標値の35万人に迫る346,154人を達成。

令和5年(2023年)

- ・5月からコロナ5類に移行したこともあり、ゴールデンウィーク中の作家市にも多数の来園があった(4日間45,296人)。
- ・展覧会(特別展「岡本太郎アートの夢～陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」や特別展「リサ・ラーソン展」)が好評だったこともあり、入園者数は、目標値の35万人を上回る382,274人を達成した。

組織・名簿 (R5年度)

組織



公益財団法人滋賀県陶芸の森評議員名簿

令和5年4月1日現在

役職	現職名	氏名	備考
評議員	滋賀県商工観光労働部長	林 毅	
評議員	甲賀市産業経済部長	黒田 芳司	
評議員	姫路市立美術館副館長	不動 美里	
評議員	岐阜県現代陶芸美術館顧問	榎本 徹	
評議員	日本工芸会理事	神農 巖	
評議員	信楽陶器工業協同組合理事長	大原 耕造	
評議員	信楽陶器卸商業協同組合理事長	脇阪 昇	
評議員	甲賀市商工会信楽支部長	植西 雄次郎	
評議員	株式会社京都新聞社滋賀本社代表	石川 一郎	
評議員	文筆家・編集者	成実(村松)美賀子	

任期 令和2年6月17日～令和6年6月まで



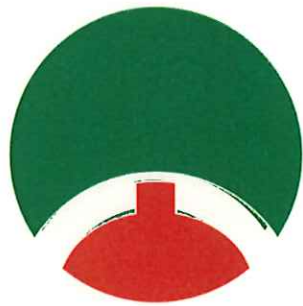
公益財団法人滋賀県陶芸の森理事および監事名簿

令和5年6月14日現在

役職	現職名	氏名	備考
理事	滋賀県商工観光労働部モノづくり振興課長	森野 実知子	
理事	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場長	中島 孝	
理事	甲賀市産業経済部商工労政課長	桶井 幸一	
理事	滋賀県立美術館館長	保坂 建二郎	
理事	滋賀県立安土城考古博物館館長	青木 幸一	
理事	陶芸作家（六代 上田直方）・日本工芸会会員	上田 光春	
理事	京都芸術大学教授	服部 滋樹	
理事	滋賀県立陶芸の森館長	松井 利夫	
理事	同 副館長	青田 朋恵	
監事	滋賀銀行信楽支店長	竹川 清貴	
監事	中小企業診断士	三宅 裕之	

任期 令和4年6月22日～令和6年6月





**陶芸の森**  
**The Shigaraki Ceramic**  
**Cultural Park**